

ニヨリ、又處ニヨリテ其說ヲ異ニスルヲ以テ、ソノ真正ナル意義ヲ十分ニ確認セシトスルガ如キハ、モトヨリ困難ノコトタルニ相違ナシト雖モ、予ハ先ヅソノ知り得ベク、且ツ違シ得ベキモノナリトノコトヲ許サシ。然モ功利教ガ主張スル「最大幸福ナルコト」ニ至リテハ、其意義ノ漠然トシテ、捕捉シ難キモノナルコトヲ感セザルヲ得ザルナリ。予ハ功利論者ニ問ハシ、予ガ唱フル所ノ「最大幸福」ナルモノハ現時ノ「最大幸福」カ。將タ未來ノ「最大幸福」カ。現時ノ「最大幸福」ナリトセバ、コレガ爲メニ未來ノ「不幸」ヲ生スルコトアルモ、意トスルニ足ラズトスルカ。未來終局ノ「最大幸福」ナリトスルカ、コレガ爲メニ現時ノ「不幸」ニ甘ンズルモ、マタ功利主義ニ適合シタルモノトスルカ。若シ二者ノ孰レニモアラストセバ、現時ヨリ未來、永遠ニ亘リタル「最大幸福」ナルモノトスルカ。若シ果シテ然リトセバ、斯クノ如キハ、唯ダ之ヲ口ニスルヲ得ルニ過キズシテ、如何ナル行爲ガ果シテ斯クノ如キ條件ヲ有スルモノナルカニ至リテハ、吾人ノ到底之ヲ知り得ベキモノニアラザルベシト信ズ。功利論者ハ此等ノ疑問ニ對シテハ、到底明確ナル答辭ヲ與フルコト能ハザルベシ。若シ大膽ナル論者アリテ、コレガ明確ナル答辭ヲ與フルコトアリトストモ、コハ唯ダ駁論者ヲシテ

益、功利教ヲ痛擊スルノ資料ヲ得セシムルニ止マリ、決シテ其「最大幸福論」ヲシテ完美ナルモノヲラシムルコトナカルベシ。且ツ「最大幸福」ニ加フルニ「最大數」ナルコトヲ以テスルニ至リテハ、マタ一層曖昧タルノ度ヲ増長セシムルモノナリ。其故他ニアラズ、「最大數」トハ全ク相違セル二個ノ觀念ナリ。決シテ必然的ニ相連接セザルベカラザルモノニアラズ。唯ダ功利論者ガ之ヲ連接セシメタルニ過ギザルナリ。即チ一方ハ幸福ヲ受クベキ人員ヲ示スモノニシテ、他方ハ人ノ受クベキ幸福ノ分量ヲ示スモノナリ。此等ノ二者常ニ相調和シ、最大數ノ受クベキ幸福ハ、必ず「最大幸福」ナルモノナルコトノ確定セルモノナランニハ、モトヨリ不可ナルコトナカルベシト雖モ、若シ然ラズシテ、二者ノ相調和スルコト能ハザル場合アリトセバ、如何ン否ナ、事實ニ於テ此種ノ場合ノ頻繁ナルヲ如何ニセントスルカ。此場合ニ於テハ、二者ノ中何レヲ以テ主要ナル標準トセント欲スルカ。幸福ノ分量ノ最大ナランニハ、之ヲ受クル人員ハ、必ずシモ最大タルヲ要セズトスルカ。若シクハ之ヲ受クル人員ノ最大ナランニハ、其幸福ノ分量ハ、必ずシモ最大タルヲ要セズトスルカ。ベンザム氏ト云ヒ、ミル氏ト云ヒ、又ハ其他

ノ功利論者ト云ヒ、此等ノ點ニ關シテハ、モトヨリ明確ナル解説ヲ施シタルモノニアラザルナリ。從ヒテ斯クノ如ク曖昧タルモノヲ以テ實際上ニ於ケル倫理上ノ判別ヲ爲サントスルガ如キハ、甚ダ困難ナルモノトイハザルヲ得ザルナリ。

(二) 快樂ノ大小ノミヲ以テ善惡ヲ判定シ難キコト又其性質ヲ考フルトキハ、快樂ガ善惡ヲ判定スル根本的標準ナリトスルヲ得ザルコト。功利論者ハ幸福ハ即チ快樂ニシテ、不幸福ハ即チ苦痛ナリトナセルモノナリ。故ニ其快樂ノ大小即チ分量ニヨリテ善惡ヲ判定シ得ベシトナセルヲ一般トス。是レモトヨリ謬見ナラズトイフベカラズ。ミル氏ノ如キハ、其性質ヲモ考察中ニ入ル、ニ至リタリト雖モ、コハマタ反リテ功利説ヲシテ軟弱タラシメシモノトイフベシ。請フ少シク此等ノ理由ヲ陳述セシ。

今快樂ナルモノヲ探リテ之ヲ吟味スルニ、ミル氏ノ説ケルガ如ク、其分量ニ異同アルト共ニ、マタ其性質ニモ異同アルコトヲ發見スルモノナリ。サレドモ功利論者ハ一般ニ快樂ガ大ナルニ從ヒテ、善良ノ度ニ於テモ、マタ大ナルモノト考ヘタルモノナリ。故ニ大ナル快樂ヲ生スル行爲ハ善行ノ上位ニアルモノニシテ、小ナル快樂ヲ

生スル行爲ハ善行ノ下位ニ在ルモノトナシ、モノナリ。サレドモ快樂ナルモノハモトヨリ、其性質ニ於テ異同アルモノナリ。吾人ガ之ヲ求ムルノ大ニ倫理的ナルモノアルト共ニ、又反リテ不倫理的ナルモノナキニアラザルナリ。又ハ必ズシモノノ孰レトモ云フテ要セザルガ如クナルモノナキニアラザルナリ。若シ此等ノ區別ヲ認識スルコトナカラシカ、縱令ヒ非常ニ卑陋ニシテ、吾人ガ不倫理的ナリト公認スルモノヲ以テ之ヲ快樂ナリトスルモノアリトストモ、吾人ハ決シテ倫理上ニ於テ之ヲ非難スルコト能ハザルニ至ルベシ。豈ニ非理ノ極ニアラズトイハシヤ。若シ此言ニシテ誤ラズトセバ、單ニ快樂ノ大小ノミヲ以テ善惡ノ標準トナスベカラザルヤ、實ニ明白ナルコトトイフベシ。從ヒテ快樂中ニ於テ倫理的ナルモノノミニ限ラザルヲ得ザルノ困難ニ陷ルベキナリ。是レ功利論者ガ一般ニ快樂ノ大小ノミヲ見テ、其性質ヲ考ヘザリシ缺點ニ基ケルモノトイフベキナリ。

然ラバミル氏ノ修正説ハ大ニ功利主義ヲシテ完美タラシメシモノカト云フニ、是レマタ決シテ然ラザリシモノナリ。若シ快樂ノ性質ヲ見テ、或ルモノハ高尙ナリ、又ハ卑陋ナリ、或ルモノハ善ナリ、又ハ惡ナリ、若シクハ倫理的ナリ、不倫理的ナリトイ

フカ如キコトアリトセバ、是レ既ニ快樂ノホカニ其善惡高卑ヲ判別シテ、倫理的ナリ、不倫理的ナリト指示スルガ如キモノ、存在スルコトヲ許容スルモノトイフベシ。何トナレバ單ニ快樂ヲノミ見タランニハ、吾人ハ唯ダ其分量ニ大小アルコトヲ認め得ベキニ止マリ、其性質ノ良否ノ如キニ至リテハ、決シテ快樂其自身ノ指示スルコトアルモノニアラザレバナリ。斯クノ如クナルヲ以テ、快樂ナルモノハ、實際上或ル範圍内ニ在リテハ、善惡ヲ判別スルヲ得ベキガ如キコトアルニモセヨ、決シテ一般ノ倫理上ニ於ケル根本的標準ナリトスルヲ得ザルモノトイフベキナリ。故ニミル氏ノ所説ノ如キハ、功利教ヨリ論ズレバ、毫モ修正説トシテ尊崇スベキ價值ヲ有セザルモノトイヒテ、不可ナカルベシ。

(三) 行爲ノ結果ノミヲ重ンズルノ不可ナルコト。功利教ニ於テハ、結果ニヨリテ行爲ヲ判断スルモノナリ。否ナ、單ニ結果ニノミヨルモノニアラズトストモ、重キヲ結果ニ置クニ至リテハ、ミル氏ノ明言スル所ヲ以テ判然タルベシ。是レ功利教ガ幾多ノ倫理學者ニヨリテ非難セラル、所ナリトス。吾人ハ非常ニ賞賛スベキ意思ヲ以テ爲シタル行爲ニシテ、其結果ノ必ズシモ賞賛スベキモノニアラザルコトアル

ヲ見聞スルモノナリ。又吾人ハコレト背反セル意思ヲ以テ爲シタル行爲ニシテ、其結果ノ反リテ賞賛スベキガ如クナルコトアルヲ明知スルモノナリ。若シ功利的標準ニヨリテ此等ノ行爲ヲ判別セシカ、前者ハ即チ惡行ニシテ、後者ハ即チ善行ナリトイハザルヲ得ザラントス。是レ豈ニ謬見ナラズトイフベクンヤ。

予ハ今少シク普通ニ行爲ノ結果ト稱スルコトニ就キテ予ガ所思ヲ述ブル所ナカルベカラズ、抑モ行爲ノ結果ナルモノハ、單ニ其行爲ヲナス人ノ意思(若シクハ動機)ノミヲ以テ、其原因トナスモノニアラズ、外界ニ於ケル種々ノ事情ガ、マタ其原因中ニ包含セラレツ、アルモノナリ。今若シ竊盜ヲ爲サントスル意思アリテ、之ニ關スル種々ノ用意ヲナシタル人アリトストモ、若シ外界ノ事情ニシテ、其人ヲシテ之ヲ行フコト能ハザラシムルガ如クアリタリトセバ、其人ト雖モ、モトヨリ竊盜ナル結果ヲ實現セシムルコト能ハザルベシ。又若シ困難セル人ヲ救助セントスルノ意思非常ニ強盛ナル惠人アリトストモ、若シ外界ノ事情ガ、其人ヲシテ困難セル人ヲ見聞スルコト能ハザラシメバ、其人ト雖モ、必ズシモ困難セル人ニ對シテ恩惠的行爲ナル結果ヲ示スコトヲ得ル能ハザルベシ。知ルベシ、行爲ノ結果ハ決シテ意思若シ

クハ動機ノミヲ以テ其原因トナスニアラザルコトヲ要スルニ、外界ノ事情ガ能ク其意思ヲ幫助シテコレト合働スルコトアルカ、若シクハ、毫モ之ヲ妨害スルコトナキカニアラザルヨリハ、決シテ意思ト相調和セル結果ヲ實現セシムルコト能ハザルベキヤ、實ニ明白ナリトス。サレバ單ニ實際上ニ現出スル行爲ノ結果ノミヲ見タラシニハ、コハ必ズシモ之ヲナシ、人ノ意思ト相調和スルモノナリト判定スルコトヲ得ザルベキヤ、マタモトヨリ論外ナリトイフベシ。

以上ノ所説ニシテ誤謬ナラズトセバ、予ハ功利論者ガ結果ニヨリテ行爲ヲ判斷スルヲ以テ之ヲ僻説ナリトイフニ躊躇セザルベシ。何トナレバ、若シ結果ニヨリテ行爲ヲ判斷シタラシニハ、其人ノ關與スルヲ必トセザル外界ノ勢力ヲ以テ、マタ其人ノ責任ヲ有セザルベカラザルモノト認定シタルモノトイフヲ得ベクレバナリ。外界ノ勢力ハ必ズシモ常ニ意思ト共働シツ、アラザルベカラザルモノニアラズ。故ニ其人ノ意思ヲシテ爲メニ水泡ニ歸セシムルガ如キ結果ノ現出スルコト、モトヨリコレナキニアラザルナリ。サレドモコハ全ク其人ト離隔セルモノ、作用ナルヲ以テ、必ズシモ其人ノ關與セザルベカラザルモノニアラザルヤ、モトヨリ判然タリ

オス、斯クノ如クナルヲ以テ、行爲ノ價值ヲ判斷セントスルニ當リテハ、宜シク其行爲ヲナシ、人ノ意思(若シクハ動機)ニ重キヲ置キテ之ヲ審査セザルベカラザルナリ。ソノ實際上ニ現出セル結果ノ如キハ、反リテ其參考トスベキニ止マルモノトナサバ、則チ足ルベキモノナリト考フ。

此事ニ就キテ詳密ナル論辯ヲナサント欲セバ、猶ホ陳述スベキモノ、モトヨリコレナキニアラズト雖モ、茲ニハ今コレニ及バザルベシ。

(四) 功利主義ノ採用スベキ理由ノ不備ナルコト。ベンザム氏ハ、功利主義ノ採用スベキ理由ニ就キテハ、吾人ヲ満足セシムルニ足ルノ明解ヲ與ヘザリシモノナリ。ミル氏ハ、各人が自身ノ幸福ヲ願ヒツ、アリトノ事實ヲ根據トシテ、全般ノ幸福ヲ冀フヲ以テ、吾人ノ目的ナリトシ、以テ此主義ノ採用スベキ理由トナシタルモノナリ。サレドモ是レマダ以テ予輩ヲシテ了解スルニ苦マシムルモノトス。氏ハ一般ノ幸福ガ何が故ニ願ハシクアルカヲ説明シテ、

吾人ハ何が故ニ一般ノ幸福ガ願ハシクアルカトイヘルコトニ關シテハ、各人がソノ達シ得ベシト信スル範圍内ニ於テ、ミナ自己ノ幸福ヲ願ヒツ、アルモノナ

リトノコトヲ除キテハ、決シテ何タル理由ヲモ與フルコト能ハザルモノナリ。
 ト曰ヘリ。サレドモコハ甚ダ奇恠ナル辯論トイハザルベカラズ。各人がミナ自身ノ
 幸福ヲ願ヒツ、アリトセバ、其影響ヤ、或ハ他人ノ幸福ヲ害スルコトナキヲ保スベ
 カラザルヤ、予ガ茲ニ詳説スルヲ要セザルベシト信ズ。若シ氏ノ如キ言ヲナサント
 欲セバ、各人が自己ノ幸福ヲ願ヒツ、アルノ事實ガ同時ニ、其自身ニ於テ、一般ノ幸
 福ヲ願ヒツ、アルコトナリトフコトヲ明確ナラシメザルベカラズ。若シ之ヲ明確
 ナラシムルコト能ハザランカ、モトヨリ斯クノ如キコトヲ推度シ得ベキモノニア
 ラザルナリ。故ニ唯ダ各人が自身ノ幸福ヲ願ヒツ、アリトノ事實ノミヲ以テハ、到
 底一般ノ幸福ガ願ハシキモノナリトフコトヲ證明シタルモノトイフベカラザル
 ヤ、モトヨリ瞭然タルコトトイフベシ。氏ノ如キ論理學者ニシテ斯カル論法ヲ用ヒ
 タリシハ、予ノ竊ニ疑惑スル所ナリ。
 斯クノ如クナルヲ以テ、氏ガ功利主義ヲ採用スベシトナセルハ、マダベンザム氏ト
 同ク、吾人ヲ満足セシムベキ明解ヲ與ヘザリシモノト全ク一般ナリトス。故ニ今
 氏ガ此主義ヲ辯護スルノ意ヲ推考スルニ、各自ノ幸福ハ一般ノ幸福中ニ包含セラ

ル、モノナルガ故ニ、吾人ニシテ若シ一般ノ幸福ヲ願ヒタランニハ、事實ノ示スガ
 如キ各自ノ幸福ヲ願フコトモ、マタ同時ニ成就セラル、コトヲ得ベキヲ以テ、吾人
 ハ宜シク最大幸福主義ヲ採ラザルベカラズトスルニ在ルガ如シ、若シ果シテ然リ
 トセンカ、是レマタ前ト同ク其推論中ニ誤謬アルヲ見ルノミナラズ、斯クテハ公
 共的ナル功利教ヲシテ私人的ナルモノト化セシムルニ至ルベキモノトス。是レ予
 ガ功利論者ノ爲メニ大ニ遺憾トスル所ナリ。要スルニ其説明ノ甚ダ不完全ナルニ
 ヨラズンバアラザルベシト信ズ。
 ミル氏ノ説明ハ、他ノ點ヨリシテ之ヲ論ズルモ、マタ反リテ私人的功利教ノ辯護、タ
 ルニ過キザルコトヲ發見スルモノナリ。氏ハ吾人が目的トシテ願望スル所ノモノ
 ハ單ニ幸福ノミニ限レルコトヲ詳述シ、最後ニ至リテ、
 果シテ然リトセバ、幸福ナルモノガ人ノ行爲ノ唯一ナル目的ニシテ、之ヲ獎勵ス
 ルコトガ一切ノ行爲ヲ判定スベキ標準ナリトイフベキナリ。
 トノ結論ヲ與ヘ、之ヲ以テ功利主義ノ採用スベキ理由ヲ盡シ得タリト信シタルモ
 ノナルガ如シ。サレドモ茲ニ大ニ注意セザルベカラザルモノアリ。ソノ所謂「幸福」

ナル語ハ、氏ガ辯陳セル所ヨリ考フルニ、決シテ一般ノ幸福ヲ指シタルニアラズシテ、各自ノ幸福ヲ示シタルモノニ過キザルコト、曩キニ講述セル所ニヨリテ、極メテ明白ナルモノナリ。若シ此事ニシテ果シテ氏ノ真意ナリトセバ、ソノ「幸福」ナル語ハ、之ニ冠セシムルニ各自ノ「ナル語ヲ以テセザルベカラザルベシ。若シ之ヲ冠セシムルコトヲ許サンカ、前記ノ所述ノ如キハ、反リテ私人的功利説ノ採用スベキ所以ヲ説クニ過キズシテ、決シテ其目的トナセル公共的ナル功利説ノ辯護タルコトヲ得ザルベシト信ズ。功利主義ノ駁論者ハ、種々ノ論點ヨリ此主義ヲ研究シテ、功利論者ハ公共ノ幸福ヲ唱道スルニモ關ラズ、知ラズ識ラズノ間ニ於テ、私人ノ幸福ヲ本トシテ立説スルモノナリトナセルハ、蓋シ其當ヲ得タル評言タルベシ。

之ヲ要スルニ、ミル氏ガ單ニ各人が自己ノ幸福ヲ願望シツ、アリトノ事實ヨリシテ、功利主義ノ採用スベキ所以ヲ推論シ得ベシトシタルガ如キハ、實ニ不完全ナル説明ナリトイハザルヲ得ザルナリ。縱令ヒ各人が自己ノ幸福ヲ願望シツ、アルハ、モトヨリ正確ナル事實ニシテ、從ヒテ之ヲ願望セザルベカラザルモノナリトノコトヲ許容スルニモセヨ、單ニ此事ヨリシテ、自己ト他人トニ對シテ、公平無私ノ傍觀

者トナリ、以テ一般人ノ幸福ヲ願望セザルベカラザルモノナリト云フガ如キコトヲ推論シ得ベキ理由ノ存スルコトヲ發見スルコト能ハサルナリ。一般人ノ幸福ヲ願望スルコトヲ以テ善ナリトスルガ如キハ、世人ガ成ルベク利己ヲ去リテ、利他ヲ行フベシトシツ、アル倫理上ノ事實ヲ認メテ、是レヨリ倫理上ノ理想トシテ、之ヲ推論、抽象シ來リタルモノニハアラザルカ、若シ果シテ然リトセハ、其説ノ良否ハ、鬼モ角モ、何が故ニ斯クハ説明スルコトヲセザリシモノゾ、予ハ功利論者ノ意ヲ明知スルニ苦ムモノナリ。

終リニ臨ミテ附言スベキコトアリ。ミル氏ハ功利主義ノ採用スベキ所以ヲ説明スルニ當リ、徳モ、功利主義ニ從ヘバ、其元ハ目的ノ一部分タルニアラズト雖モ、自ラ斯クノ如クナリ得ベキ性質ヲ有シタルモノナリト説キ、唯ダソノ快樂ニ導キ、特ニ苦痛ヲ防クコトアルニヨリテ、之ヲ願望スベキモノトシタルニ過キザリシナリト云ヒ、ソノ遂ニ幸福ノ一部分ヲナスニ至ラザル以上ハ、決シテ其自身ニ於テ目的トシテ願望セラル、コトアルモノニアラザルナリト論結セリ。サレドモ予ハ、徳ナルモノハ、幸福ナル觀念ヲ離レテモ、猶ホ其自身ニ於テ求メラル、コトアルモノナ

リト考フ。吾人ハ唯ダ其德行其自身ヲ目的トスルノホカ目的トシテ更ニ他事ヲ考フルコトナキモノヲ以テ反リテ德行トシテ一層ノ價值アルモノト認メツ、アルニアラズヤ。忠臣ガ節ニ殉シ孝子ガ身ヲ顧ミザルガ如キハ、縱令ヒ國ハ破レ家ハ傾クコトノ豫想セラル、コトアルニモ關セズ、銳意其德行ヲナスニ躊躇セザルコトアルガ爲メニ、倫理上ニ於テ非常ナル賞賛ヲ與フルコトアルニハアラザルカ。知ルベシ、此等ノ人ハ幸福ナルコトヲ離レテモ、猶ホ德其自身ヲ尊重シツ、アルモノナルヲ。果シテ然ラバ、德行ハ多クノ場合ニ於テ幸福ニ達スベキ方便トナリ、又ハ幸福ノ一部分タルコトナキニアラザルコト、實ニミル氏ノ言ノ如クナリトストモ、コハ唯ダ一般ノ場合ニ於テ斯ク概言シ得ルニ過ギズシテ、其實ハ必ズシモ常ニ然ルモノニアラザルコト、幸福ヲ離レテモ、猶ホ其自身ニ於テ德ヲ願望スルコトアルノ事實ヲ以テ之ヲ説明シ得ベキモノナリト信ス。此言ニシテ誤謬ニアラズトセンカ、ミル氏ノ所説ノ如キハ、抑モ其當ヲ得ザルノ辭ニアラザルナキヲ得ルカ。

第五章 科學的倫理說及其批評

茲ニ科學的倫理說ト稱スルハ、狹義ニ於ケル科學一般ガ實驗上ノ事實ヲ本トシテ

立説スルト等シク、倫理上ノ主義ヲ實驗的材料ヨリ抽出セシメテ企ツルモノ、即チ是レナリ。然ルニ此種ノ倫理說ハ、其實驗ニ關スル見解ヲ異ニスルニ從ヒ、マダ種々ノ異説ヲ生ズルコトヲ得ベキモノナリト雖モ、其説ノ發生極メテ輒近ノ事ニ係ルヲ以テ、未ダ其代表者タルスペンセル氏ト對立抗論シテ、旗幟ヲ一方ニ樹ツルコトヲ得ベキモノ、殆ドコレナシトイヒテ不可ナキモノナリ。故ニ予ハ重ニスペンセル氏ノ所説ニ基キテ、茲ニ此説ノ概要ヲ示サントス。マダ己ムヲ得ザレバナリ。此説ハ、進化論ニ基キ生物生存ノ理ヲ本トシテ、倫理上ノ説明ヲ下シタルモノナリ。其意ニ曰ハク、吾人ハ一種ノ生物ナルヲ以テ、吾人ニシテ吾人タルコトヲ全ウシ、能ク其生存ヲ維持シ、以テ幸福ナル生活ヲ送ランコトヲ欲ヒバ、宜シク生物學ノ教フル所ノ條件ニヨリテ、其行爲ヲ指導スル所ナカルベカラズ。然ルニ生物學ハ、生物ニ關スル進化ノ極所ヲ示シテ、生物ガ有スル一切ノ作用ガ能ク其權衡ヲ保ツニ在リト云ヘリ。即チ性質、分量及ヒ聯合ニ於テ異同セル内界ノ作用ガ、完全ナル生活ヲ構成若シクハ維持スル所ノ種々ナル外界ノ活動ニ適應スルコト、即チ是レナリト説クモノナリ。故ニ吾人ハ當ニ斯學ノ教フル所ニ從ヒテ、一切ノ作用ヲシテ斯ク種々

ノ活動ニ適應セシメフコトヲ勉ムベキナリ。斯クノ如クシタラフニハ是レ即チ行爲ノ進化ガ其極所ニ達シタルモノトイフベクシテ即チ善行タルコトヲ得ベキモノトナスベキナリ。故ニ人アリテ一切ノ作用ヲ能ク種々ノ活動ニ適應セシメ其生存ヲ維持シ其生活ヲ幸福ナラシムルコトアランニハ此人ヲ以テ之ヲ徳行家ナリトイフヲ得ベク、斯カル行爲ヲ以テ之ヲ善ナリト呼ブヲ許スベキナリト。倫理ニ關シテ凡テ此種ノ説明ヲ與フルモノ、茲ニ之ヲ科學的倫理説ト稱ス。右ノ外スベンセル氏ハ猶ホ他ノ見解ヨリシテ種々ノ説明ヲ下シタリト雖モモトヨリコレト調和セルモノナルヲ以テ、必ズシモ茲ニ記述スルノ要ナカルベシ。

此説ハ、上述ノ如ク、重ニ進化論ニ基キテ立説スルモノナルヲ以テ、時トシテハ進化的倫理説 (Evolutional Ethics) ト稱セラル、コトアルモノトス。

予ハ是レヨリ、前章ノ例ニ倣ヒテ、科學的倫理説ノ歴史ヲ講述セサルヘカラス。サレドモ此説ハ、既ニ一言セルガ如ク、極メテ輓近ノ發生ニ係リ、未ダ著名ナル大家ヲ輩出セシムルニ至ラズ、唯ダスベンセル氏ノミ、ソノ秀絶セル代表者タルノ觀ヲ呈シ、ソノアルモノニシテ、從ヒテ此説ニ就キテハ未ダ前章ノ如キ記述ヲ與フルコト能

ハザルモノト知ルベキナリ。サレドモ此説ハ必ズシモスベンセル氏ノミノ專有シタルモノニアラザルコト、萬々ナリ。仍リテ予ハ茲ニ此派ニ屬スベキ學者ノ姓名ヲ列記シ、并ビニ此説ニ關スル其著書ヲ紹介シ、以テ此説モマタ漸時氣餒ヲ吐カントスルノ形勢アルコトヲ示サントス。

一ニコムト氏 (Comte) ナリ。千七百九十八年ニ生レ、千八百五十七年ニ死セリ。社會學ノ創立者トシテ頗ル有名ナル人ナリ。Philosophie Positive 及 Systeme de Politique Positive 等ヲ出版セリ。

二ニチャールズ・ダルウヰン氏 (Charles Darwin) ナリ。千八百九年ニ生レ、千八百八十二年ニ死セリ。進化論者トシテハ誰カ氏ヲ知ラザルモノアルベキ。The Descent of Man 及 The Origin of Species 等、非常ニ著名ナル書ナリ。

三ニバレット氏 (Barratt) ナリ。Physical Ethics ト題スル著書アリ。

四ニ、スベンセル氏ナリ。此派ノ學者トシテ特ニ著名ナルモノナリ。種々ノ著書アリト雖モ、斯學ニ關シタルモノハ、即チ Principles of Ethics ナリトス。其一部分ハ既ニ邦語ヲ以テ譯出セラレタリ。就キテ氏ノ説ニ接スルヲ得ベシ。

五ニカ|ル|テ|リ|氏 (Carneri) ナリ。Sittlichkeit und Darwinismus ト題スル書ヲ出版セリ。

六ニワ|ル|ス|氏 (Wallace) ナリ。Contributions to Natural Selection 及 ヲ Darwinism 等ノ著書アリ。

七ニフ|ス|ク|氏 (Fiske) ナリ。The Destiny of Man 及 ヲ Outlines of Cosmic Philosophy 其他猶ホ種々ノ論文アリ。

八ニレ|ー|氏 (Ree) ナリ。Ursprung der Moralischen Empfindungen 及 ヲ Entstehung des Gewissens ヲ出版セリ。

九ニホ|ク|ル|氏 (Hoeckel) ナリ。Anthropogenie 及 ヲ Natürliche Schöpfungsgeschichte 其他種々ノ著書アリ。

十ニス|テ|フ|ン|氏 (Stephen) ナリ。The Science of Ethics ノ著者ナリ。

十一ニロ|ル|フ|氏 (Rolph) ナリ。Biologische Probleme オル書ヲ出版セリ。

十二ニホ|ミ|フ|チ|ン|ク|氏 (Höffding) ナリ。著書ニ Ethik ナリ。

十三ニフ|レ|キ|ザ|ン|デル|氏 (Moral Order and Progress) ヲ著セリ。

倫 理 學

十四ニウ|ィ|リア|ム|ス|氏 (Williams) ナリ。A Review of the Systems of Ethics founded on the Theory of Evolution ヲ著シ此派ノ學說ノ紹介ト批評トヲナセリ。

猶ホ遺漏セルモノアラソ。必ズシモ列舉シ盡シタリトイフニアラザルナリ。

以上諸氏ノ中前屢言ヘルガ如ク、ス|ペ|ン|セル|氏ヲ以テ最モ著名ナル代表者トナスベキカ故ニ是レヨリ専ラ氏ノ所說ヲ畧述シテ以テ科學的倫理說即チ進化論的倫理說ノ何タルカヲ明示セント欲ス。

ス|ペ|ン|セル|氏

其|一| 傳|記

氏ハ英國ノ人ナリ。千八百二十年ヲ以テデ|ル|ビー (Derby) ニ生レ現時猶ホ生存セル大學者ナリ。名ヲヘ|ル|ベル|ト (Herbert) ト稱ス。

父ハデ|ル|ビーノ一教師タリシヲ以テ能ク氏ノ教育ニ注意シタリ。又氏ノ叔父ニト|マ|ス|ス|ペ|ン|セル| (Thomas Spencer) ナルモノアリ。牧師トシテ有名ナル人ナリシナリ。又氏ノ教育ニ與リシナリ。

氏ハ十七歳ノ時土木工學者トナリ、時々其種ノ雜誌ノ投書家タルコトアリシガ、漸

倫 理 學

時文學上ノ趣味ヲ増長シ、殆ド八年ノ後、全ク其職業ヲ廢スルニ至レリ。
是レヨリ氏ハ諸雜誌ノ投書家トナリ、又ハ其記者トナリテ、傍ラ黽勉ニ餘念ナカリ
シナリ。二十二歳ノ時、或ル新聞紙上ニ「政府ノ適當ナル範圍」(Proper Sphere of Govern-
ment)ト題スル論文ヲ續載シテ、其名ノ世人ニ注意セラル、ノ基礎ヲ立ツルニ
至レリ。

是レヨリ氏ノ生活ハ自己ノ哲學ヲ組織スルノ傍ラ、重ニ論文ヲ草シ、著述ヲ爲スコ
トヲ以テ充タサレ、今日ニ至リテモ、猶ホ之ヲ繼續シツ、アルモノナリ、其間ノ詳細
ナル經歷ニ至リテハ、未ダ好良ナル傳記ナキヲ以テ、之ヲ知ルニ困難ナリト雖モ、氏
ノ智力ノ鋭敏ニシテ、不屈、不撓ノ精神ヲ有スルコトニ至リテハ、其著書ニヨリテ容
易ニ之ヲ推知スルヲ得ベキナリ。ミル氏モ嘗テ氏ヲ評シテ、スペインセル氏ハ英國ノ
思想界ニ於ケル最モ强健ニシテ最モ大膽ナル思想家ノ一人ナリト云ヒシコトア
リト云ヘリ。極メテ適切ナル評言タルベシ、氏ハ嘗テ其自傳ヲ著スベシト云ヒシコ
トアリト聞ケドモ、未ダ出版セラレタルノ報道ニ接セサルナリ。
左ニ氏ノ著書ノ有名ナルモノヲ紹介セン。

氏ノ所謂ル綜合哲學(Synthetic Philosophy)ナルモノハ、即チ左ノ如シ。

- (一) 第一原理 (First Principles)
- (二) 生物學原理 (The Principles of Biology)
- (三) 心理學原理 (The Principles of Psychology)
- (四) 社會學原理 (The Principles of Sociology)
- (五) 倫理學原理 (The Principles of Ethics)

吾人ハ此等ノ書ニヨリテ、氏ノ所説ガ進化論ニ根底スルコトヲ知ルベク、マタ以テ
氏ノ學識ガ廣遠ニシテ、且ツ深厚ナルヲ見ルベキナリ。

以上ノホカ、猶ホ有名ナルモノヲ舉グレバ「教育學」(Education)ノ如キ、又ハ社會平權
論 (Social Statics)ノ如キ、共ニ邦人ニヨリテスラ既ニ愛讀セラレタルモノナリ。「記載
的社會學」(Descriptive Sociology)ノ如キハ、非常ノ大著ナリト雖モ、世間未ダ之ヲ歡迎ス
ルノ位置ニ達セザルナリ。「社會學講究法」(The Study of Sociology)マタ有名ナリ。此等ノ
ホカ氏ノ論集アリ。倫理、政治又ハ美學ヨリ、科學、哲學等ニ至ル氏ノ意見ハ、就キテ以
テ之ヲ視フヲ得ベシ。

氏ノ哲學ガコムト氏ノ實驗哲學ニヨリテ喚起セラレタルハ、モトヨリ否定スベカラサル事實ナリト雖モ、マタ自家獨得ノ所見ヲ以テ、之ヲ修正シタルコトアルモ、モトヨリ掩蔽スベカラサル事實ナリトス、サレバ氏ハ世人ガ氏ヲ以テ單ニコムト派ノ一人ナリトスルノ評ヲ甘ンゼズシテ、一文ヲ草シテソノ然ラザルコトヲ辯ゼシコトアリ。蓋シ其當ヲ得タルノ所置ナランカ。氏ノ倫理學ハ其哲學系統ノ最後ニ位スルモノニシテ、其書ハ最近ノ出版ニ係ルモノナリ。

予ハ嘗テ或ル雜誌上ニ於テ氏ニ就キテ左ノ如キ評言ヲ下シタルコトアリキ。世ノ風潮ニ驅ラレテ氏ヲ冷評スルモノヲ難センガ爲メナリシナリ。曰ハク

予ハヘルベルト、スペンセル氏ノ大家たることを信するものなり、氏ノ名聲は嘗て一度東洋の天地に瀾漫したりと雖も、今や遂に氏を忘るゝものあるに至れりといふが如き評言をなせるものありと雖も、こは自ら其定見なきことを發表したるものといふべし。評者も氏の名聲が東洋の天地に瀾漫したるを見て、氏を以て大家なりと認定したるものにあざりしか、今や遂に氏を忘るゝものあるに至れりといふが如きは、また自ら他の學者輩もとより獨逸人なるべしとの所説に

心醉するに至りたるの結果なるにはあざざるか、譽むるものありとも、スペンセル氏はスペンセル氏たることを失はじ、毀るものありとも、スペンセル氏はスペンセル氏たらざることあらじ。スペンセル氏一度大家たるの價值ありし以上は、氏は猶ほ依然として此價值を保有しつゝあるものなり。氏の學識漸時低落して大に大家たるの價值を損するに至れりとは、未だ誰人も之を試験したるものあるを聞かざるなり。

ト、實ニ然リ。予ハ今日ト雖モ猶ホ此意見ヲ有シツ、アルモノナリ。

氏ハ當時七十有九歳ノ高齡ナリ。

其二 倫理說

氏ノ倫理學ハ其著「倫理學原理」ニ在リ。此書別チテ六部トナス。一ニ曰ハク「倫理學ノ材料」ナリ。二ニ曰ハク「倫理學ノ歸納法」ナリ。三ニ曰ハク「個人的生活ノ倫理」ナリ。四ニ曰ハク「正義」ナリ。五ニ曰ハク「消極的恩惠」ナリ。六ニ曰ハク「積極的恩惠」ナリ。此等ノ中氏ノ倫理說ノ根幹ヲ知ルベキハ、實ニ其第一ナル「倫理學ノ材料」ニ在リトス。故ニ予ガ茲ニ講述スル所モ、專ラ此部分ニノミ據ルモノト知ルベシ。

「倫理學ノ材料」(The Data of Ethics)ハ之ヲ分チテ十六章トナシ、首トシテ第一章行爲ナルコト一般ニ就キテ論辯シ、次ギニ(第二章)行爲ノ進化ヨリ、(第三章)善行、惡行ノコトニ論入シ、マタ(第四章)行爲ヲ判斷スル方法ヲ論テ、コレニ關スル(第五章)物理學的見解、(第六章)生物學的見解、(第七章)心理學的見解、及ヒ(第八章)社會學的見解ヲ説明シ次ギニ(第九章)批評及ヒ説明ヲナシ、ソレヨリ(第十章)苦痛并ビニ快樂ノ相對的ナルコトヲ説キ、進ミテ(第十一章)利他ニ對スル利己ヨリ、(第十二章)利己ニ對スル利他ヲ論テ、(第十三章)其審判及ヒ相讓ヨリ、(第十四章)調和ノコトニ論入シ、次ギニ(第十五章)絶對的倫理學及ヒ相對的倫理學ナルコトヲ説キ、最後ニ於テ(第十六章)倫理學ノ範圍ニ就キテ説述シタルモノナリ。

是レヨリ其大意ヲ摘述セシ。此部分ハ「道德原論」又ハ「倫理原論」ト稱スル譯書アルヲ以テ、就キテ猶ホ詳細ナルコトニ接スルヲ得ベキナリ。

氏ハ首トシテ行爲ナルコトニ就キテ論述シタルモノナリ。其意ニ曰ハク、凡ソ何如ナルモノヲ問ハズ、其一部ニ就キテ研究セント欲セバ、宜シク先ヅ其全部ノコトニ就キテ悉知スル所ナカルベカラズ。例ヘバ太陰ノコトニ就キテ明知セント欲セバ、

先ヅ太陽系ノ何タルカヲ理解スルコトナカルベカラズ。適當ニ一句ノ意義ヲ解釋セント欲セバ、宜シク其全篇ノ意義ヲ知了スルコトナカルベカラザルナリ。行爲ニ就キテモ、マタコレト同一ナルコトヲ言フヲ得ベシ。單ニ行爲ト稱スルトキハ、有機體ニヨリテ成就セラル、所ノ所業ヲ指スモノニシテ、其概念中ニハ、倫理上ニ於テ善又ハ惡ト稱スルモノ、ホカ、マタ善惡ニ無關係ナルモノヲモ悉ク包含シツ、アルモノナリ。即チ倫理學ニ於テ處理スル所ノ行爲ハ、行爲全體ヨリ見レバ、モトヨリ其一部分ヲ構成シツ、アルモノニ過ギザルナリ。故ニ倫理學ニ於テ關與スル所ノ行爲ナルモノヲ會得セントスルニ當リテハ、宜シク先ヅ行爲ナルコト一般ニ就キテ會得スル所ナカルベカラザルナリト。

是レヨリ氏ハ行爲ヲ定義セントテ試ミテ曰ヘラク、行爲ハ所業ト殆ト同一ナル外延ヲ有スト雖モ、必ズシモ全然符合スルモノトイフヲ得ザルナリ。彼ノ痼疾ノ發作セル時ニ於ケル無目的ナル所業ノ如キハ、吾人ハ決シテ之ヲ行爲ナル概念中ニ包含セシメザルモノナリ。故ニ此種ノ所業ヲ除キタランニハ、他ノ一切ノ所業ヲ以テ、之ヲ行爲ナリト稱スルヲ得ベキナリ。從ヒテ行爲ナルモノハ、之ヲ定義シテ次ギ

ノ如クイフヲ得ベシ。曰ハク、
行爲トハ目的ニ適合シタル所業ナリ、

若シクハ

行爲トハ所業ノ其目的ニ適合スルコトナリ

ト。サレバ廣義ヨリ考フレバ、苟モ所業ノ其目的ニ適合スルモノナランニハ、假令ヒ
簡單ナルニモセヨ、複雑ナルニモセヨ、其特性ノ如何ナルモノナルニモセヨ、個々ニ
考ヘラル、ニモセヨ、合同シテ考ヘラル、ニモセヨ、悉クミナ之ヲ行爲中ニ包含ス
ルモノトナスヲ得ベキナリト。

次ギニ氏ハ一二ノ例證ヲ舉グテ、善惡ノ名稱ヲ附與スベキ行爲ガ、コレニ無關係ナ
ル行爲ヨリ、徐々ニ發達シ來リタルモノナルコトヲ説キ、吾人が倫理的判斷ノ目的
物タル行爲ノコトニ就キテ考ヘントスルニ當リテハ、宜シク先ヅ此等ノ他ノ行爲
ヲモ研究セザルベカラザルモノトシ、且ツ行爲ナルコトニ就キテ完全ニ會得スル
所アラント欲セバ、單ニ人間ノ行爲ノミヲ研究シテ足ルベキモノニアラズ、此等ハ
一般ノ行爲即チ總テノ動物ガ表示スル行爲ノ一部ナルヲ以テ、吾人ハ先ヅ十分ニ

其全躰ノコトニ就キテ研究スル所ナカルベカラザルモノナリトシ、コレニ加フル
ニ單ニ現在ノ情態ノミヲ以テハ、モトヨリ不十分ナルヲ以テ、現在ノ情態ヲ生ゼシ
メタル進化セザル行爲ヲモ研究セザルベカラザルノ必要アルモノトシ、吾人ハ是
非トモ行爲ノ進化ナルコトヲ考察セザルベカラザルモノナリト論及セリ。

是レヨリ氏ハ行爲ノ進化ヲ説キテ、總テノ有生動物ノ行爲ヨリ吾人ノ行爲ニ至ル
マデノ實例ヲ以テ、漸次ソノ進化セル情態ヲ示シタリ。其意ニ曰ハク、下等ナル動物
ニ在リテハ、其行爲痲疾ノ發作セル時ニ於テ見ルガ如ク、殆ド無目的ニシテ、眞ニ行
爲ト稱スルノ價值ナキガ如クナリト雖モ、漸次高等ナル動物ニ至ルトキハ、或ル種
類ノ目的ニ適合シタル所業ヲナシツ、アルニ至ルモノナルヲ認ムベキナリ。サレ
ドモ其始ヤ單ニ自身ノ生命ヲノミ維持セントスルノホカ、殆ド他ノ目的ナク、且ツ
其適合ノ如キモ極メテ不完全ノモノタルニ過ギズシテ、完全ニ其目的ヲ成就スル
コト、能ハザルガ如クナルモノ、實ニ一般ナリトス。サレドモ進ミテ猶ホ一層高等ナ
ルモノトナルニ從ヒ、遂ニ種族即チ子孫ノ生命ヲモ維持セントスルノ目的ニ向ヒ
テ、其所業ヲ適合セントスルコトアルニ至ルモノナリ。サレドモ其始ハ其適合極メ

テ不完全ニシテ、又爲メニ第一ノ目的ヲ傷害スルガ如キコトヲモ生スルコトアルモノナリ。人ニ在リテハ、既ニ此等二種ノ目的ニ向ヒテ其所業ヲ適合セントシツ、アルモノナリト雖モ、野蠻人ニ在リテハ、其適合猶ホ未ダ不完全タルヲ免レズシテ、文明人トナルニ從ヒテ漸時能ク其目的ヲ成就スルコトアルヲ見ルベキモノナリ、サレドモ行爲ノ能ク進化シタルモノトイフベキハ、單ニ此等二種ノ目的ニノミ適合シタルモノニアラズシテ、マタ他人ヲシテ能ク此等ノ目的ヲ達セシメントスルノ目的ニ向ヒテ其所業ヲ適合セシメタルモノナラザルベカラズシテ、斯クノ如キハ文明人ニ於テ比較的ニ能ク發表セラレツ、アルヲ見ルモノナリ。兎モ角モ、以上三種ノ目的ニ適合スルニ至リタル所業ヲ以テ、行爲ノ最モ能ク進化シタルモノナリトイフヲ得ベキモノニシテ、吾人人類ノ行爲ニ於テ始メテ能ク之ヲ發見スルコトヲ得ベキモノナリト。

氏ハ行爲ノ進化ヲ説了シテ、遂ニ左ノ如ク言ヘリ。
倫理學ガ處理スル所ノ行爲ハ、一般ノ行爲ノ一部ナルヲ以テ、此一部ノコトニ就キテ、特別ニ理解セントスルニ當リテハ、先ヅ全部ノ行爲ニツキテ、一般ニ理解ス

ル所ナカルベカラズトノ眞理ニ指揮セラレ、猶ホマタ全部ノ行爲ヲ理解セントスルニハ、其進化ヲモ理解セザルベカラズトノ他ノ眞理ニ教導セラレ、吾人ハ遂ニ倫理學ナルモノガ其研究ノ主題トスル所ノモノハ、一般ノ行爲ガ其進化ノ最後ノ段階ニ於テ占有スル所ノ形態ヲ有シタル行爲ナルコトヲ發見スルニ至リタルモノナリ。而シテ吾人ハマタ行爲ノ進化ニ於テ、最後ノ段階ナルモノハ、生物ノ最モ高尚ナルモノガ、其員數ノ増加ニヨリ、漸時其同胞ト共ニ社交的生活ヲ爲サルベカラザル時ニ表示スルモノナルコトヲモ斷定スルコトヲ得ルニ至リタルモノナリ。是レヨリシテ、吾人ハマタ次ギノコトヲ知り得タルモノナリ。曰ハク、世ノ戰爭時代ヲ經過シテ、工藝時代トナルニ從ヒ、吾人ノ活動ガ互ニ損傷又ハ妨害ヲナスノ必要ナク、反リテ共働及ビ互濟ニヨリテ構成若シクハ幫助セラ

ル、ニ至ルノ比例ニ從ヒ、漸時其行爲ガ倫理的制裁ヲ得ルニ至ルモノナリト。

次ギニ氏ハ善行及ビ惡行ヲ論マテ次ギノ如ク言ヘリ。吾人ガ善キ刀善キ家、若シクハ惡シキ傘、惡シキ靴トイフコトアル所以ノモノハ、此等ノ物品ガ或ル規定セル目的ニ能ク適合スルト否トノ存スルニ基ケルモノナリ。行爲ノコトニ就キテモ、吾人

ハ其^〇所^〇業^〇ノ能^〇ク目的^〇ニ適合^〇スルト否^〇トニヨリテ之^〇ヲ善^〇行^〇又ハ惡^〇行^〇ト稱^〇シツ、ア
 ル^〇モ^〇ナ^〇ル^〇ヲ認^〇ム^〇ル^〇モ^〇ト^〇ス^〇サレドモ行^〇爲^〇ノ場^〇合^〇ニ於^〇テハ此^〇事^〇ノ稍^〇ヤ變^〇態^〇セ^〇ル
 コトアル^〇モノナリ^〇社^〇會^〇上^〇ノ關^〇係^〇ハ頗^〇ル^〇復^〇雜^〇ニシテ或^〇ル^〇所^〇業^〇ガ屬^〇自^〇己^〇種^〇族^〇若^〇シク
 ハ同^〇胞^〇ニ對^〇シテ同^〇時^〇ニ種^〇々^〇ノ影^〇響^〇ヲ與^〇フル^〇コトアル^〇モノナリ^〇故^〇ニ一^〇ノ目^〇的^〇ヲ成
 就^〇ス^〇ル^〇ニ適^〇シタル^〇所^〇業^〇ト雖^〇モ他^〇ノ目^〇的^〇ヲ成^〇就^〇ス^〇ル^〇ニ於^〇テ妨^〇害^〇ヲナ^〇ス^〇コト往^〇々^〇ニ
 シテコレアリ^〇從^〇ヒテ善^〇又ハ惡^〇トシテ所^〇業^〇ヲ判^〇斷^〇セ^〇ントス^〇ル^〇ニ當^〇リテ大^〇ニ混^〇雜^〇ヲ
 生^〇ス^〇ル^〇コトアル^〇モノトス^〇サレドモ今^〇若^〇シ此^〇等^〇ノ關^〇係^〇ヲ離^〇レテ行^〇爲^〇ヲ判^〇斷^〇シタラ
 ノニハ兎^〇毛^〇角^〇モ一^〇ノ目^〇的^〇ヲ成^〇就^〇ス^〇ル^〇行^〇爲^〇ハ之^〇ヲ相^〇對^〇的^〇ニ善^〇トイ^〇フ^〇ベ^〇ク其^〇目^〇的^〇ヲ
 成^〇就^〇ス^〇ル^〇コト能^〇ハザ^〇ル^〇行^〇爲^〇ハ之^〇ヲ相^〇對^〇的^〇ニ惡^〇トイ^〇フ^〇ヲ得^〇ベ^〇キナリ^〇即^〇チ能^〇ク自^〇己^〇
 ヲ維^〇持^〇ス^〇ル^〇ノ目^〇的^〇ヲ成^〇就^〇ス^〇ル^〇所^〇爲^〇若^〇シクハ能^〇ク子^〇孫^〇ヲ維^〇持^〇ス^〇ル^〇ハ目^〇的^〇ヲ成^〇就^〇ス^〇
 ル^〇行^〇爲^〇又ハ能^〇ク同^〇胞^〇ヲシテ斯^〇クノ如^〇キコトヲ爲^〇サシム^〇ル^〇ノ目^〇的^〇ヲ成^〇就^〇ス^〇ル^〇行^〇爲^〇
 ノ如^〇キハミナ之^〇ヲ善^〇トイ^〇フ^〇ベ^〇キナリ^〇故^〇ニ若^〇シ此^〇等^〇ノ目^〇的^〇ヲ成^〇就^〇ス^〇ル^〇コト能^〇ハザ
 ランニハ斯^〇カル^〇行^〇爲^〇ハミナ之^〇ヲ惡^〇ト稱^〇ス^〇ベ^〇キモノトス^〇
 是^〇レヨリシテ氏^〇ハ次^〇キノ如^〇ク論^〇斷^〇セ^〇リ^〇曰^〇ハク斯^〇クノ如^〇クナル^〇ヲ以^〇テ所^〇業^〇ハ能^〇ク

其^〇目^〇的^〇ニ適^〇合^〇ス^〇ル^〇ヤ否^〇ヤニ從^〇ヒテ常^〇ニ善^〇若^〇シクハ惡^〇ト稱^〇セ^〇ラル^〇モノナリ^〇ト^〇且
 ツ曰^〇ヘラク曩^〇キニ已^〇ニ示^〇セル^〇カ如^〇ク吾^〇人^〇ガ善^〇ナル^〇名^〇稱^〇ヲ與^〇フル^〇所^〇ノ行^〇爲^〇ハ相^〇對^〇
 的^〇ニ多^〇ク進^〇化^〇セル^〇モノニシテ惡^〇ナル^〇モノハ相^〇對^〇的^〇ニ僅^〇カ進^〇化^〇セル^〇行^〇爲^〇ニ與^〇フル
 所^〇ノ名^〇稱^〇ナリ^〇トス^〇然^〇ル^〇ニ行^〇爲^〇ノ進^〇化^〇ナル^〇モノヲ見^〇ル^〇ニ其^〇始^〇ヤ主^〇トシテ自^〇己^〇ノ維
 持^〇ヲ目^〇的^〇トナス^〇モノナリ^〇ト雖^〇モ漸^〇次^〇種^〇族^〇ノ維^〇持^〇ヲ目^〇的^〇トナス^〇ニ至^〇リ進^〇ミテ他
 ノ同^〇胞^〇ヲシテマ^〇タ斯^〇カル^〇コトヲサシム^〇ル^〇コトヲ目^〇的^〇トス^〇ル^〇ニ至^〇ル^〇モノナリ^〇サ
 レバ一^〇ノ行^〇爲^〇ニシテ此^〇等^〇三^〇種^〇ノ目^〇的^〇ヲ同^〇時^〇ニ成^〇就^〇ス^〇ル^〇コトアラ^〇ンニハ之^〇ヲ行^〇爲^〇
 ノ進^〇化^〇ガ其^〇頂^〇點^〇ニ達^〇シタル^〇モノトイ^〇フ^〇ヘ^〇キナリ^〇即^〇チ善^〇ナル^〇行^〇爲^〇ガ若^〇シ同^〇時^〇ニ此
 等^〇三^〇種^〇ノ目^〇的^〇ヲ成^〇就^〇ス^〇ル^〇コトアラ^〇ンニハ遂^〇ニ至^〇善^〇ナル^〇モノト考^〇ヘ^〇ラル^〇行^〇爲^〇タ
 ル^〇ニ達^〇ス^〇ル^〇モノナル^〇ヲ見^〇ル^〇ベ^〇キナリ^〇ト^〇
 次^〇ギニ氏^〇ハ厭^〇世^〇家^〇及^〇ヒ樂^〇天^〇家^〇ハ吾^〇人^〇ノ生^〇活^〇ニ關^〇シテ其^〇意^〇見^〇ヲ異^〇ニス^〇ル^〇モノナリ
 ト雖^〇モ此^〇等^〇ノモノト雖^〇モマ^〇タ共^〇ニ一^〇致^〇ス^〇ル^〇所^〇ノ公^〇準^〇ヲ有^〇ス^〇ル^〇モノトシ^〇孰^〇レモ快
 樂^〇的^〇ナル^〇感^〇情^〇ノ餘^〇剩^〇ヲ與^〇フル^〇ト否^〇トニヨリテ此^〇生^〇活^〇ヲ以^〇テ善^〇又ハ惡^〇ナリ^〇ト判^〇定
 ス^〇ル^〇モノナリ^〇トシ^〇世^〇人^〇ハ此^〇等^〇二^〇論^〇者^〇ノ一^〇ニ屬^〇ス^〇ル^〇モノトナス^〇ヘ^〇キヲ以^〇テ此^〇公^〇準

ハ全般人ノ許容シツ、アルモノト考フルヲ得ベシトシ、進ミテ氏が生活ヲ幫助スル行爲ヲ以テ之ヲ善ナリトシ之ヲ妨害シ又ハ破壊スル行爲ヲ以テ之ヲ惡ナリトスルモ、歸スル所ハ行爲ノ全軀ノ結果ガ快樂的ナルカ又ハ苦痛的ナルカノコトアルニ從ヒテ之ヲ斯ク斷定シツ、アルニ過キザルモノナリト言ヘリ。猶ホ氏ハ屢、コレト同意ナルコトヲ説クリ。今其一ニテ示サン。

若シ吾人が他人ノ生活ヲ幫助スル一切ノ行爲ヲ以テ之ヲ善ト呼ヒ、生活ハ苦難ヨリモ多クノ幸福ヲ與フルモノナリトノ信用ヲ以テ之ヲナスナラハ、吾人ハ一切ノ人ニ及ボス直接及ヒ間接ノ結果ヲ考察中ニ入レテ遂ニソノ善ナルモノハ、全般ニ快樂的ノモノナリトコトヲ否定スルコト能ハザルモノナリ。(P.30)

行爲ノ善及ヒ惡ナルコトニ關スル吾人ノ觀念ハ、吾人が其行爲ガ何處ニカ快樂又ハ苦痛ヲ生スルコトアルノ確乎タルコト(若シクハ蓋然タルコト)ヲ意識スルコトヨリ生ズルモノタルヤ、實ニ疑ヒナキモノナリ。(P.31)

以上ノホカ、氏ハ猶ホ要約シテ左ノ如ク言ヘリ。

以上ノ如クナルヲ以テ、若シ吾人が生活ニ導ク所ノ行爲ヲ以テ之ヲ善ナリト稱

スルナラバ、吾人ハ唯ダソレガ苦痛ヲ超エテ快樂ノ餘剩アラシムルガ如ク導ク所ノ行爲ナルコトノ合意ヲ以テノミ、斯クハ稱スルモノナリトコトヲ見ルベキナリ。(P.31)

以テ氏が歸スル所快樂ヲ與フルモノヲ以テ之ヲ善行ナリトシ、歸スル所苦痛ヲ與フルモノヲ以テ之ヲ惡行ナリトシタルヲ見ルベキナリ。

次ギニ氏ハ行爲ヲ判斷スル方法ニ就キテ論辯シ、能ク因果ノ關係ニ注意セザルベカラザルコトヲ述ベ、神學的、政治的、直覺的及ヒ功利的ノ諸倫理説ガ十分ニ此關係ニ就キテ注意シツ、アルモノト言ヒ難シトノ所以ヲ辯シタリ。今氏が各説ニ就キテ下シタル批評ノ要所ノミヲ示サン。

氏ハ神學的倫理説ニ就キテハ、左ノ如ク言ヘリ。

若シ説述セラレタル若シクハ直覺セラレタル神意ノホカ、善惡ナルコトニ對シテ更ニ他ノ起原ナルモノナシトセバ、若シ神意ナルモノニ就キテ何如ナル知識モナカラシニハ、吾人が今惡トシテ知ル所ノ所業ト雖モ、之ヲ惡ナリトシテ知ルコト能ハザルベキナリ。(P.30)

吾人ハ此說ニ就キテ、全ク原因ナルコトノ概念ヲ缺損シツ、アルコトヲ見ルモノナリ。斯ク斯クノ所業ガ、單ニ神ノ命令ノミニヨリテ善タリ又ハ惡タリトナサル、ガ如キ意見ハ斯ク斯クノ所業ガ事物ノ性質上斯ク斯クノ結果ヲ有スルモノニアラズトスルノ意見ト同様ナルモノナリ。故ニ此說ハ縱令ヒ因果ノコトニ就キテ無意識ナルニアラズトストモ、能ク之ヲ知了シツ、アルモノニアラザルヤ、明ナリ(P.51.)

政治的倫理說ニ就キテハ左ノ如ク言ヘリ。

行爲ハ法律ニヨリテ善又ハ惡タルコトヲ得ザルモノナリ。ソノ善タリ、惡タルコトハ、歸スル所、其結果ガ自然ニ同胞ノ生活ヲ幫助スルカ、又ハ幫助セザルカニヨリテ決定セラル、モノナリ(P.53.)

立法ガ自然ニ有益ナル結果ヲ有スル所業ヲ獎勵シ、自然ニ有害ナル結果ヲ有スル所業ヲ禁止スルコトアルガ如キハ、決シテ其所業ガ立法ニヨリテ始メテ善又ハ惡トナサル、モノニアラズシテ、其立法ガ所業ノ自然ノ結果ヨリ其權威ヲ導キ來リタルモノナルヤ、實ニ明白ナルコトニアラズヤ。此事ヲ認識セザルガ如キ

ハ、是レ即チ此說ガ因果ナルコトニ就キテ何事ヲモ認識セザルコトヲ示スモノトイフベキナリ(P.55.)

直覺的倫理說ニ就キテハ左ノ如ク言ヘリ。

吾人ガ天賦ノ良心ニヨリテ或ルコトヲ正ト知り、或ルコトヲ邪ト覺ルトノコトヲ肯定シ、斯クシテ若シ然ラサランニハ吾人ハ到底正邪ナルモノヲ判知スルコト能ハズトイフガ如キコトヲ默許スルハ、是レ所業ト其結果トノ間ニ存スル自然ノ關係ナルモノヲ默然否定スルモノト全ク一般ナリトイフベシ(P.55.)

此說ニ於テハ、因果ノ概念ハ甚ダ不完全ニ發達シタルモノナリ。一切ノ行爲ニ於テハ原因、結果ノ必然的ナル關係ノ存スルモノニシテ、一切ノ倫理的規則ハ、縱令ヒ直接ニハ倫理的直覺ヨリ抽出セラル、コトヲ得ルニモセヨ、ソノ歸スル所ハ、ミナ此等ノ關係ヨリ抽出セラレタルモノナリトノコトニ就キテハ、唯ダ漠然タル意識アルノミニ過ヤザルモノナリ(P.56.)

氏ハ功利的倫理說ニ關シテハ、他ノ倫理說ニ比スレハ、因果ノ關係ヲ認識スルガ如クナリト雖モ、未ダ以テ缺點アルヲ免レズトナシ、此論者ト雖モ或ル所業ガ惡果ヲ

與へ或ル所業が善果ヲ與フルコトニシテ、單ニ偶然的ナルモノニアラズシテ、現象ノ必然的ナル順序ノ一部ナリトノコトヲ許容スルコトアルニモ拘ラズ、實際上此關係ヲ顧慮スルコトナクシテ満足セルモノトシ、猶ホ此說ニ關シテ、
 功利ナルコトハ、未來ニ至ルモ猶ホ今日ノ如ク、單ニ種々ノ結果ノミヲ觀察スルコトニヨリテ決定セラル、モノナラン。故ニ何如ナル行為ガ有害ナルモノナラザルベカラズシテ、何如ナル行為ガ有益ナルモノナラザルベカラザルカトイフガ如キコトニ至リテハ、到底根本的ナル主義ヨリシテ演繹的ニ之ヲ知ルコトヲ得ベカラザルモノナラン。(P.88)

トノ評言ヲ下シ進ミテ猶ホ自家ノ功利教ニ劣リタルモノトシテ、左ノ如ク辯セリ。
 單ニ歸納法ニヨリテ達セラレタル行為ノ主義ノミヲ認識スル功利教ノ如キハ、生物生存ノ確定セル事情ノ下ニ行ハル、生活ノ進行ヨリ此等ノ主義ヲ抽出スル所ノ功利教ヨリ見レハ唯ダソノ豫備的ナルモノトナスベキノミ。(P.81)

此等ノ批評ノ後、氏ハ遂ニ要約シテ言ヘリ、從來ノ倫理說ハ一ノ普通ナル缺點ヲ有スルモノナリ。彼等ハ、ミナ終局ナル因果ノ關係ヲ顧慮セザルモノナリ。縱令ヒ全然

之ヲ知了セザルニアラズトストモ、ソノ之ヲ認識スルヤ唯ダ偶然タルニ過ギザルナリ。故ニ彼等ハ原因結果間ニ於ケル必然的ナル關係ヲ考明シ、以テコレガ明確ナル說述ヲ與ヘ、コレヨリシテ行為ノ規則ヲ抽出セントスルガ如キコトニ至リテハ、モトヨリ其考究法中ニ設ケザルモノトスト。

是レヨリ氏ハ倫理學トハ集合セル人類ノ行為ニ就キテ論スル學ナリトシ、斯學ヲ研究スルニ當リテハ、豫メ一層單純ナル科學ノ豫備アルコトヲ想像スルモノナリトシ、從ヒテ斯學ガ種々ノ科學的方面ヲ有スルモノナリトシテ、其所以ヲ辯シタリ。即チ勢力保存ノ法則ニ一致スルモノトシテ、人ノ活動ヲ論スルトキハ、之ヲ物理學的ナリトスベク、最高等ナル動物ニ生ズル變化ノ結果ニ關シテ論スルトキハ、之ヲ生物學的ナリトスベク、其主題トスル所ガ智力及ヒ感情ニ關係アル所業ノ集合ナルノ點ヨリシテハ、之ヲ心理學的ナリトスベク、又此等ノ所業ガ直接又ハ間接ニ集合セル人類ニ影響ヲ與フルモノナルノ點ヨリシテハ、又之ヲ社會學的ナリトスベキナリト、而シテ氏ハ猶ホ一步ヲ進メテ、行為ハ此等一切ノ科學ニ共通スル根本的真理ニ於テノミ、ソノ終局的ナル說明ヲ發見スルコトヲ得ベキナリト言ヘリ。

是レヨリ氏ハ此等四種ノ科學的見解ヨリシテ、行爲ノ判斷ニ關スル新奇ナル説明ヲ與ヘタリ。左ニ次ヲ逐ヒテ、各見解ノ、大要ノミヲ講述セン。

物理學的見解 凡ソ何如ナルモノヲ問ハズ、ソノ進化スル時ニ當リテハ、之ヲ構成スル物質及ヒ其物質ノ運動ガ必ズ能ク結合セザル(Incoherent)不確定ナル(Indefinite)單純ナルコト(Homogeneity)ヨリ進ミテ、能ク結合セル(Coherent)確定セル(Definite)複雑ナルコト(Heterogeneity)ニ變更スルニ至ルモノナリ。行爲モマタソノ高尙ナルモノトナルニ從ヒ漸時斯クノ如キ性質ヲ表示スルコトアルモノトス。

吾人ハ不倫理的ト稱スル行爲ヨリモ、倫理的ト稱スル行爲ニ於テ、之ヲ構成スル運動ニ於テ、一層著大ナル結合ノ存スルコトヲ見ルモノナリ。劣等ナル行爲ハ順序ナキ所業ニテ構成セラレ、其部分間ノ關係ハ比較的ニ粗放ナルモノナリ。然ルニ高等ナル行爲ニ至リテハ、其順序整頓シテ能ク一致ト結合トヲナシツ、アルコト、吾人が日常ノ事實ニ於テ、容易ニ之ヲ發見スルコトヲ得ルモノナリ。

行爲ハソノ進化スルニ從ヒテ、漸時確定ナルコトノ度ヲ増シ、活動、靜止ヨリ、其他一切ノ所業ガ、時ト處ト分量トニ於テ、能ク目的ニ從ヒテ確定セルモノトナルモノナリ。倫理的行爲ガ不倫理的行爲ト異ナルハ、實ニ此種ノコトノ有無ニ存セリ。倫理的行爲ハ精密適當ニシテ、能ク比例ヲ失フコトコレナキモノナリ。過不及ガ不倫理的行爲ニ於ケル一ノ特性ヲナシ、中庸ガ一般ニ倫理的行爲ノ特性ヲナセルモノ、是レ實ニ或ル制限ニヨリテ確定セラレタルモノヲ倫理的行爲ナリトナセルモノナルヲ見ルベキナリ。

行爲ハ、ソノ進化シテ善良トナルニ從ヒ、複雑ナルコトノ度ヲ長スルモノナリ。吾人ノ活動ハ吾人が自己ノ心身ニ關シ、自己ニ從屬スル人ノ心身ニ關シ、并ビニ其同胞ノ心身ニ關シテ、能ク生活ノ要求ヲ成就スルコトアルノ度ニ從ヒテ、愈々種々ニ變更スルニ至ルモノナリ。即チ此等一切ノコトヲ十分ニ行フコトアルニ伴ヒテ、吾人ノ運動ハ益々複雑タラザルヲ得ザルニ至ルモノナリ。サレバ若シ行爲ガ一切ノ場合ニ於テ有り得ベキ限リ善良ナリトセバ、其場合ナルモノハ無究ニ變更セラル、モノナルガ故ニ、之ニ適センガ爲メニハ其所業モマタ無究ニ變更セラレザルベカラザルヤ、勿論ナリトス。即チ斯カル行爲ニ在リテハ、運動ノ聯合上ニ於ケル複雑ガ非常ニ著大ナルモノトナルベキナリ。

行爲ハソノ進化スルニ從ヒテ、以上三種ノ性質ヲ表示スルモノニシテ、是レヨリシテ遂ニ平準(Equilibrium)ナルコトニ達スルモノナリ。サレドモ此平準ナルコトハ、死去ノ爲メニ達スルガ如キ平準ニアラズシテ、モトヨリ動搖的平準(Moving Equilibrium)ヲ指スモノナリ。生活ノ維持ナルコトハ、外界ノ勢力ニ對シテ能ク權衡ヲ保チタル内界ナル作用ノ聯合ヲ維持スルコトヲイフモノナリ。故ニ倫理的ト稱セラ、生活ハ動搖的平準ノ維持ガ完全ナル度ニ達シタルモノニシテ、若シ然ラズトモ殆ドソノ完全ナルコトニ近邇シタルモノ即チ是レナリ。吾人が今實際上ニ於ケル世人ノ行爲ヲ調査スルニ、ソノ文明的ノモノトナルニ從ヒテ、外部ナル活動ノ浮沈ガ種々ノ機會ニ於テ、内部ナル作用ノ浮沈ヲ維持セシガ爲メニ、愈々複雑トナリ、益々完全トナリテ、遂ニ一層善美ナル動搖的平準ナルコトニ達スルニ至ルモノナルヲ發見スルモノナリ。

次ギニ氏ハ倫理的行爲ヲ論スルニ當リテ以上ノ如ク物理學的ノ學語ヲ用フルガ如キハ、頗ル奇怪ナルガ如クナルベシト雖モ、行爲ノ吾人ニ智覺シ得ラルベキモノノミヲ考フレバ、實ニ唯ダ運動ノ聯合ノミヲ以テ構成セラル、ヲ發見スルモノナリ

リトシ、且ツ説キテ曰ヘラク、吾人が劣等動物ヨリ順次遡リテ高等動物ヲモ調査スルトキハ、ソノ聯合セル運動ガ漸次結合及ビ確定ナルコトノ度ヲ増シ、進ミテ遂ニ複雑ナルモノトナレルモノナルヲ發見スルモノニシテ、又不倫理的行爲ヨリ倫理的行爲トナルニ從ヒテ、此等ノ進化セル行爲ガ有スル所ノ特性ノ愈々著大ナルニ至ルモノナルヲ見ルモノナリトシ、猶ホ進ミテ左ノ言ヲナセリ。

吾人ハ聯合セル運動ニ於テ増進スル所ノ結合確定及ビ複雑ノ如キハ一層ヨク動搖的平準ヲ維持セシガ爲メノ器械ナルヲ見ルモノナリ。進化ノ少キ所ニ在リテハ、此平準ナルコトガ極メテ不完全ニシテ、直チニ斷絶スルコトアルモノナリト雖モ、發達シタル進化ニ在リテハ、反對ノ作用ニ對シテ、其平準ガ一層強固トナリ、且ツ永續スルニ至ルモノトス。人間社會ニ在リテハ、一般ニ此事ノ比較的ニ正則ニシテ、能ク繼續スルモノナルヲ見ルモノナリ。而シテソノ正則ナルコトハ、ソノ繼續スルコトトハ、人間ノ最モ高尚ナルモノニ於テ最モ著大ナルヲ見ルモノトス(P.74.)

生物學的見解 理想的ニ倫理的ナル人トハ、其人ニ於ケル動搖的平準ガ完全ノ度

ニ違シタルカ、若シ然ラズトモ、殆ド完全ナルコトニ近逼シタルモノヲ云フモノナ
ルガ、今之ヲ生理學上ノ語ヲ以テ改説スルトキハ、其人ニ於ケル一切ノ作用ガ適當
ニ成就セラレ、モノヲ指シテ、之ヲ斯ク稱スベキモノナリ。一切ノ作用ハ、ミナ生活
ノ必要ニ對シテ（直接又ハ間接ニ）或ル關係ヲ有スルモノニシテ、進化ノ結果トシテ
吾人ニ實存セルモノナリ。故ニ之ヲ適當ニ成就セザルガ如キハ是レ即チ完全ナル
生活ニ必要ナルモノヲ成就セザルモノトイフベキナリ。サレバ倫理的ナル人トハ、
其人ノ種々ニシテ異同セル作用ガ、ミナ生活ノ事情ニ能ク適合シタル程度ニ於テ、
其本分ヲ盡シツ、アルヲ云フモノトス。從ヒテ其作用ノ過不及ニ流ル、ガ如キコ
トアラソニハ、斯カル行爲ハ至善ナル行爲即チ完全ニ倫理的ナル行爲ヨリ遠カリ
タルモノトナルベキナリ。

苦痛ハ有機體ニ有害ナル所業ノ相對物ニシテ、快樂ハ有機體ヲ完全ニ導ク所ノ所
業ノ相對物ナリ。後者ハ必ズ生活力ヲ増進セシメ、前者ハ必ズ生活力ヲ減退セシム
ルモノナリ。一切ノ感覺アル生物ガ進化スル所以ノモノハ、實ニ快樂ヲ與フル所ノ
所業ガ、即チ生活ヲ維持スル所ノ所業ナルコトノ事情アルニヨル、ミサレバ今若

シ有機體ガ其作用ヲ適當ニ成就スルコトニヨリテ或ル利益ヲ享クルコトアルト
キハ、コレト同時ニコレト同伴スル所ノ快樂アリテ、又コレガ爲メニ惹起セラレタ
ル作用ニヨリテ、其有機體ガ他ノ利益ヲモ被ルコトヲ得ルモノナリトス。
次ギニ氏ハ倫理上ニ於テ直接ノ結果ヲ蔑視シ、間接ノ結果ヲ注意スルガ如キコト
アルヲ難シテ、ソノ結果タル以上ハ直接タルト間接タルト問ハズ、又一個人ニ及
ボスト多數人ニ及ボストノ論ナク、等シクミナ之ヲ注意セザルベカラザルコトヲ
説キ、生物學の見解ニ從ヘバ、生活ノ法則ナルモノハ、如何ナル事情アルニモセヨ、常
ニ之ヲ守ラザルベカラサルモノナル所以ヲ辯シ、行爲ノ合理的評價ヲ爲サントス
ルニ當リテハ、苟モ此法則ヲ破リタルガ爲メノ苦難ナランニハ、ソノ直接タルト間
接タルトヲ問ハズ、悉ク之ヲ其考案中ニ收メザルベカラザルモノトシタリ。
氏ハ猶ホ進ミテ多クノ倫理説ノ如キハ、人が不完全ナル適合ヲナスガ爲メニ生ズ
ル所ノ社會的生活ニ於テ、快樂ヨリ害惡ヲ生シ、苦痛ヨリ利益ヲ生スルガ如キ顛倒
セル事實アルヲ本トシテ成立セルモノニシテ、唯ダ斯カル社會ニノミ適當シタル
モノナリトシ、且ツ其適合ナルコトハ漸時發達、進歩スベキモノナルニヨリ、斯クノ

如キ事實ハ遂ニ減少シテ、從ヒテ又此種ノ倫理說モ其跡ヲ收ムルニ至ルベキモノナリト論斷シ、遂ニ左ノ如キ言ヲ與ヘタリ。

社會ノ情態ニ對シテ、人生ノ完全ナル適合ノ行ハル、コトアルニ從ヒテ、吾人ハ單ニ未來ノ幸福特殊ノモノタルト一般ノモノタルト之間ハズテ、導クコトノホカ、猶ホ直接ニ快樂的ナルコトアルト、キニノミ、或ル所業ヲ以テ、之ヲ完全ニ正シキモノナリトスルノ真理ヲ認識スルコトヲ得ベク、又唯ダ終局的ナルノホカ、近接的ナル苦痛ガ常ニ邪惡ナル所業ノ同伴者タルコトアルノ真理ヲモ認識スルコトヲ得ベキナリ(P.99)

心理學的見解 下等動物ヨリ人間トナルニ從ヒ、又ソノ劣等ナルモノヨリ高等ナルモノトナルニ從ヒ、單簡ナル感動ヲ複雜ナル感動ニ服從セシムルコトニヨリテ、漸時ソノ自己ヲ維持スルコトヲ増進スルコトアルモノナリ。之ヲ直接ナル感覺ヲ未來ナル感覺ノ觀念ニ服從セシムルニヨルトイフモ、再現的の感情ニヨリテ實現的の感情ヲ支配シ、若シクハ再々現的の感情ニヨリテ再現的の感情ヲ監督スルニヨルトイフモ、モトヨリ同理ナリ。兎モ角モ進歩少キ單簡ナル感情ガ進化多キ複雜ナル感情

ニヨリテ支配セララル、ニ從ヒテ、能ク生活ナルモノヲ維持スルコトヲ得ルニ至ルモノニシテ、文明ノ進歩ニ伴ヒテ、漸時明ニ之ヲ吾人中ニ認識スルニ至ルモノナリ。サレドモ其始ニ於テ此事ノ甚ダ分明ナルコトヲ得サルガ如キハ、モトヨリ辯スルノ必要ナキモノトス。

今倫理的意識ヲ考フルニ、ソノ重要ナル特性トスヘキハ、一種若シクハ數種ノ感情ヲ以テ、或ル他ノ一種若シクハ數種ノ感情ヲ抑制スルコトニ在ルヤ實ニ疑ナキモノナリ。野蠻人ニ於テモ、既ニ幾分カ此種ノコトアリト雖モ、社會進歩シテ人生ノ漸時複雜トナルニ從ヒ、益々單簡ナル感情ヲシテ複雜ナル感情ニ服從セシメサルベカラザルノ必要ニ驅ラレテ、多クノ實例ヲ示スニ至ルモノトス。サレドモ茲ニ少シク注意スベキモノアリ。吾人ハ倫理的ト稱スルモノ、外ニ於テ、之ト同様ナル自制ノ特性ヲ有スルモノナリ。即チ見ルベキ支配者見ルベカラサル支配者及ヒ社會一般ヲ畏ル、コトニ基因シタル抑制、是レナリ。人ガ後日法律上ノ刑罰、又ハ鬼神ノ報仇、若シクハ公衆ノ非難ヲ被ランコトヲ恐レテ、現在ノ願望ガ獎勵スルコトヲ爲スコトヲ制スルガ如キハ、後日身上ニ來ルベキ遙遠ニシテ、一層大

ナル(縱令ヒ稍ヤ確乎ナラサルニモセヨ)苦痛ヲ賭センヨリハ、寧ロ近接ニシテ、確乎タル快樂ヲ服壓スルノ優レルニ若カズトスルニ在ルモノナリ。之ニ反シテ、人ガ或ル現在ノ若痛ニ甘ンズルガ如キハ、後日恐クハ來ルベキ政治的、宗教的、若シクハ社會的ナル快樂ヲ享クルコトアルベシトスルガ爲メナルヤ、マタ明ナリ。故ニ此等三種ノ自制ハ、倫理的の自制ト等シク、複雑ニシテ、一層理想的ナル感情ヲ以テ、單簡ニシテ理想的ナラザル感情ヲ抑制スルモノトイフベキナリ。而シテ此等三種ノモノハ、其始ヤ倫理的ノモノト實際ニ於テ同一ノ外延ヲ有スルモノニシテ且ツ互ニ區別スルコトヲ得ザルモノナリ。唯ダ漸時社會ノ進化スルニ從ヒテ、此等ノモノガ遂ニ分化スルニ至ルモノトス。即チ倫理的の抑制ノ如キモ、コレニ同伴スル概念ト感覺トヲ以テ、一個獨立ノモノタルニ至ルモノナリ。

是レヨリ氏ハ此等ノ抑制ガ分化スル情態ヲ述べ、最後ニ至リテ、遂ニ左ノ言ヲ與ヘタリ。

此等三種ノ抑制政治的、宗教的及ヒ社會的(ハ人ヲシテ種々ニ近接セル満足ヲ遙遠ナル満足ニ服從セシムルモノニシテ、此點ヨリ見ルトキハ、常ニ單簡ナル實現

的感情ヲシテ複雑ナル再現的感情ニ服從セシメ、現在ノコトヲシテ未來ニ延期セシメンコトヲ要求スル所ノ倫理的の抑制ト殆ト同様ナルモノトイフヲ得ベシト雖モ、此等ハ決シテ倫理的の抑制ヲ構成スルモノニアラズシテ、唯ダ其豫備ヲナセルモノニ過ギザルナリ。即チ倫理的の抑制ガ其中ニ於テ進化シ出ヅルコトヲ得ベキ抑制ナルモノトス。(P.118.)

サレドモ氏ハ倫理的の抑制ガ事實上ニ於テハ、未ダ完全ニ他ノ抑制ヨリ分化シ去ラザルモノトナシ、ナリ。故ニ其言ニ曰ヘリ。

今日ト雖モ倫理的の抑制ガ、ソノ進化シ出デタル此等(即チ政治的、宗教的及ヒ社會的)ノ抑制ヨリ、非常ニ不完全ニ分化シツ、アルモノナルコトハ、曩キニ批評シタル諸倫理説ガ屢、此等ノ抑制中ナル、一ト倫理的の抑制トヲ同視スルコトアルノ事實ニ於テ明白ナリトス。何トナレバ或ル倫理學者ノ如キハ主權者、命令ヨリ倫理的規則ヲ抽出シ、他ノ倫理學者ノ如キハ神意ノホカ他ニ倫理的規則ノ起原アルコトヲ認メザルモイナレバナリ。又社會ノ制規ヲ以テ自己ノ指揮トナセル人ノ如キハ、未ダ其教説ヲ制立スルコトコレナシト雖モ、兎モ角モ社會ガ許容スル

所ノ行爲ハ非難スベキモノニアラズトスル信用ノ如キハ、是レ即チ善惡ナルモノハ輿論ニヨリテ斯クノ如キモノト判セラル、モノト考フルモノアルコトヲ示スモノナレバナリ(P.119)

サレドモ氏ハ猶ホ進ミテ適當ニ倫理的ト稱スベキ抑制ハ、其抑制ガ進化シ出デタル他ノ抑制ト同一ニアラズシテ、此等ノ抑制ノ如ク所業ノ外附的結果ニ關スルニアラズシテ、唯ダソノ眞實ナル結果ニノミ關スルモノトシ、吾人ガ倫理上ニ於テ殺人ナルコトヲ恐レテ、之ヲ行ハザルハ、其罪惡ノ爲ニ絞罪ニ處セラルベシトノコトヲ考フルガ爲メニモアラズ、又社會ノ同胞ノ爲メニ恐怖、厭惡セラルベシトノコトヲ考フルガ爲メニモアラザルナリ。唯ダソノ必然的ナル自然ノ結果ヲ考フルコトアルガ爲メナリ、即チ被害者ヲシテ非常ナル苦痛ヲ被ラシメ、彼ヲシテ一切ノ幸福ヲ受クルコトヲ斷絶セシメ、若シクハ彼ニ所屬スルモノヲシテ種々ノ困難ニ陷ラシムル等ノコトヲ考フルコトアルガ爲メナリトシ、猶ホ二三ノ例證ヲ擧ゲテ此事ヲ明白ニシ、遂ニ左ノ如キ言ヲ與ヘタリ。

斯クノ如クナルヲ以テ、倫理的動機ハコレト同伴セル他ノ動機ト異ナリ、所業ノ偶然的ニシテ、且ツ不重要な結果ノ觀念ニヨリテ構成セラル、モノニアラズシテ、其所業ガ自然ニ生出スル所ノ結果ノ觀念ニヨリテ構成セラル、モノナリ。此等ノ觀念ハ、其中或ハ常ニ現存スルモノ、アルニモセヨ、必ズシモミナ明亮ナルモノニアラザルナリ。サレドモ此等ノモノハ個人ノ生活ニ於ケル同様ナル所業ノ結果ヲ經驗スルコトニヨリテ積集セラレタル不明亮ナル觀念ノ團合ヲ作成スルモノニシテ、之ニ重ヌルニ祖先ニ於ケル、斯カル經驗ノ遺傳的結果ヨリ來レル猶ホ一層不明亮ニシテ、然モ厚大ナル意識ナルモノアリテ、爲メニ重厚ニシテ同時ニ漠然タル感情ヲ作成シツ、アルモノナリ(P.121)

是レヨリ氏ハ倫理的ナル感情及ビ抑制ハ政治的、宗教的、若シクハ社會的ナル權威ニ起因セル感情及ビ抑制ニ後レテ徐々ニ發生シ出デタルモノトシ、唯ダ此等ノ抑制ガ相互ノ間ニ於テ不動ナル一致ヲ生スルニ至リタルノ後ニ於テ、所業ノ眞實ナル結果ヲ意識スルコトアルヨリシテ、遂ニ倫理的好惡ヲナスニ至リタルモノナリトシタリ。

氏ハ猶ホ進ミテ吾人が倫理上ノコトヲ直覺スルハ、其實ハ功利ノ集積セル個人的又ハ遺傳的ナル經驗ノ結果ニ外ナラズト雖モ、遂ニ全ク有意的經驗ヲ離ル、ニ至リタルモノトシ、遂ニ直覺教モ功利教モ全ク相一致スベキモノナリトノ調和說ヲ提出シタリ。其言ニ曰ハク、

倫理的知覺力ノ生來ヨリ存セリトノ說ハ、若シ倫理的好惡ガ祖先ニ於ケル快樂的及ビ苦痛のナル經驗ノ結果ノ遺傳ニヨリテ器關的トナサレタルモノナリトノコトヲ見ルトキハ、マタ功利教ト相一致スルモノトナルベキナリ(P.124)

ト。
次ギニ氏ハ如何ニシテ倫理的義務ナル感情ガ發生セシカヲ說キ、コハ抽象的觀念ガ生出セラル、ト同様ナル方法ニ於テ生出セラレタル抽象的ナル情操ナリトシテ、其理由ヲ辯明シタリ。其意ニ曰ハク、吾人ハ巨多ノ經驗ヨリシテ遙遠ニシテ、一般ナル結果ニ關スル感情ニヨリテ指揮セラル、コトガ近接ニシテ、特殊ナル結果ニ關スル感情ニヨリテ指揮セラル、ヨリモ、常ニ能ク安全、幸福ニ導クモノナリトノ意識ヲ有スルニ至リタルモノナリ。而シテ現在ヨリモ未來ノコトニ關係スルガ如

キ感情ハ、ミナ複雑ニシテ再々現的ノモノナルコト、曩キニ已ニ說キタルガ如シ、コレヨリシテ權威アルコトノ觀念ガ此等ノ性質ヲ有スル所ノ感情ト附着セラル、ニ至ルモノニシテ、之ヲ反言スレバ、劣等ニシテ、單簡ナル感情ハ、高等ニシテ、複雑ナル感情ニ對シテ、權威ナルモノナキニ至ルモノナリ。斯カル權威アルコトノ觀念ガ抽象的ナル義務ノ意識ニ於ケル一個ノ成分ナリトス。サレドモ此意識ニ於テハ、猶ホ他ノ成分アルモノナリ。強逼ノ成分即チ是レナリ。此成分ハ政治的、宗教的、又ハ社會的ナル抑制ノ經驗ニ起因スルモノニシテ、禁制セラレタル所業ガ與フル諸種ノ懲罰ナル外、附的の結果ヲ恐ル、コトガコノ強逼ナル感覺ヲ生セシムルノ原因トナルモノナリ。而シテ倫理的動機ハ、重ニ所業ノ眞實ナル結果ニ關係スルモノナリト雖モ、マタ此等三種ノ動機ト等シク共ニ未來ナル結果ノ觀念ヲ以テ構成セラル、モノナルガ故ニ、三者ニ附着セル恐怖ガマタ倫理的動機ニモ附着スルニ至ルモノニシテ、遂ニ漠然タル倫理的強逼ノ感覺ヲ生スルニ至ルモノトス。而シテ倫理的動機ガ此等ノ動機ト分別シテ、コレニ超絶セル權威ヲ有スルニ至ルトキハ、遂ニ、同伴セル意識ヲ失フニ至ルモノニシテ、即チ義務ノ感情ガ始メテ凋落シ去ルニ至

ルモノナリト故ニ氏ノ言ニ曰ヘリ倫理的義務ノ感覺ハ唯ダ暫時的ノモノナリ徳
行ヲナスコトノ増加スルヤ否ヤ直チニ減少スベキモノナリト。

(1100)

是レヨリ氏ハ實例ヲ舉ゲテ今日ト雖モ義務ノ感情ナクシテ善行ヲナシツ、アル
モノアルコトヲ辯シ倫理的義務ノ感情ニ服從シテ行爲ヲナスガ如キハ猶ホ其所
業ニ對スル特殊ナル動機ノ不充分ナルモノトシ行爲ガ能ク進化シテ完全ニ社會
ノ情態ニ適合スルコトアルニ至ルトキハ必要ニ應シテ適當ナル活動ヲナシ得ベ
キガ故ニ義務ト稱スベキ倫理的強逼ノ如キハ遂ニ消失ニ歸シテ通常ノ場合ニ於
テハ決シテ發表シツ、アルコトナキニ至ルベシトノコトヲ論ヲタリ。

茲ニ至リテ氏ハ遂ニ心理學の見解ヲ結ビテ左ノ言ヲナセリ。
倫理的の感情ニヨリテ生セラル、快樂及ヒ苦痛ハ、身體上ノ快樂及ヒ苦痛ト等シ
ク倫理的の行爲ヲシテ自然ノ行爲タラシムルガ如ク必要ニ對シテ其力ノ適合セ
ラレタル鼓舞者及ヒ恐嚇者トナルベキモノナリ(P.131)

社會學の見解 單ニ人類ノミナラズ其他一切ノ動物ト雖モミナソノ正シキ生活
ヲナスノ法則ナルモノヲ有セリサレドモ動物ニ在リテハ唯ダ自己又ハ其種族(即

チ子孫)ノ安全幸福ノホカ他ノ同輩ノコトニ關シテハ其注意殆ド絶無ナリトイヒ
テ不可ナキモノナリ人ニ在リテハコレニ異ナリ野蠻人ヨリ文明人トナルニ從ヒ
社交的關係ノ漸時複雑タルニ至ルヲ以テマタ他人ノ安全幸福ニモ留意セザルベ
カラザルノ必要アルニ至ルモノトス故ニ社會の見解ヨリ考フルトキハ倫理學ナ
ルモノハ一個人及ヒ全般人ノ生活ヲシテ等シク縱横ノ方面ニ於テ成ルヘク最大
ナルモノタラシムルヲ得ルガ如ク能ク此社會ノ情態ニ適當シタル行爲ノ形狀ヲ
正確ニ論述スルモノニ外ナラサルモノトナルヘキナリ。

社會ノ既ニ成立セラル、ヤ其各員ヲ維持センガ爲メノ方法トシテ他ノ同様ナル
團體ニ對シテ其社會ヲ維持スルノ必要ヲ生スルモノナリ即チ各員ヲ維持スルハ
終局ノ目的ニシテ社會ヲ維持スルガソノ直接ノ目的タルニ至ルモノナリ其場合
ニ於ケル有力ナル行爲ノ規則ハ全般ノ生活ヲ維持センガ爲メニ個々ノ生活ノ不
完全ヲモ順ミザルコトアルモノアリサレドモ團體ノ安全ハ大ニ各員ノ安全ニヨ
リテ左右セラル、モノナルヲ以テ此場合ト雖モモトヨリ爲シ得ベキ限リハ個々
ノ生活ヲ維持セントスルノ目的ヲ達セシメントシツ、アルモノトス。社會ノ敵視

(1101)

スルコト漸時減少スルニ及ビテ、個々ノ生活ヲ犧牲トシテ一般ノ生活ヲ獎勵セザルベカラサルノ必要ノ如キモ、マタ從ヒテ減少スルニ至ルモノナリ。故ニ社會ノ平和ナル情態ニ達スルニ至リテヤ、個々ノ生活ヲ獎勵スルコトガ、單ニ終局ノ目的トシテ採用セラル、ニ止マラス、一般ノ生活ヲ獎勵スルコトト等シク、マタ直接ノ目的トシテ採用セラル、ニ至ルモノトス。

(1141)

斯クノ如クナルヲ以テ、未ダ此情態ニ達セザル遷移時代ニ在リテハ、社會ノ要求ヲ確認スル倫理的法典ト個人ノ要求ヲ確認スル倫理的法典トノ間ニ於テ、絶エズ相讓ヲナスノ必要アルモノナリ。サレトモ漸時戰爭ノ廢滅シテ、外部ノ仇敵ニ對シテ強迫的共働ヲナスノ必要ナク、唯ダ隨意的共働ノミヲ存在スルコトアルニ及ビテヤ、コレニ適シタル行爲ノ法典ノミ益、明ニ承認セラル、ニ至ルモノナリ。斯クシテ遂ニ終局ナル永久ノ法典アルニ至ルモノニシテ、此者ノミ唯ダ實驗的倫理學ト對シテ一ノ科學トシテ倫理學ヲ構成スルコトヲ得セシムルモノトス。是レヨリ氏ハ、隨意的共働ヲナストキハ、契約上ニ於テ相互ヲ救助シ、其生活ヲ増進スルコトヲ得ルモノナリト雖モ、若シ進ミテ契約以外ニマテ他人ノ爲メヲ圖ルコ

トアラシニハ、一層ヨク其目的ヲ達シ得ベキモノナリトシ、社會學的ニ最モ完全ナル生活ヲ説明シテ、左ノ如ク言ヘリ。

最モ高尙ナル生活ハ吾人が相互ヲ幫助スルコトノ限定セラレタル方法ニヨリテ人々ノ生活ヲ完全タラシメシメコトヲ助クルノミニ止マラス、猶ホ他ノ方法ヲ以テ、兎モ角モ人々ノ生活ヲ完全タラシメシメコトヲ助クルトキニ於テノミ、始メテ達スルコトヲ得ベキモノナリ。(P.149)

以上ヲ以テ氏ハ倫理ニ關スル諸種ノ科學的説明ヲ了レリ。是レヨリ氏ハ種々ノ倫理學說ヲ批評シテ、遂ニ自家ノ所說ヲ守リタリ。今ソノ煩雜ニ渉ルノ弊ヲ避ケンカ爲メ、單ニ其結論ノミヲ示サシ。(P.171-P.173)ニ記スル所ヲ取ル。

神學的倫理說モマタ眞理ノ一部分ヲ有スルモノナリ。若シ吾人が神ヨリ啓示セラレタルモノト想像セラレタル神意ニ代フルニ、進化ニヨリテ發表セラレタル力ガ向進スル所ノ自然ニ啓示セラレタル目的ヲ以テスルコトアラシニハ、進化するモノハ、過去ヨリ今日ニ至ルモ、猶ホ一層高尙ナル生活ニ向ヒテ働キツ、アルモノナルヲ以テ、最モ高尙ナル生活ノ達セラル、主義ニ一致スルコトハ、即チ

(1142)

(二四四)

其目的ヲ幫助スルコトナリトイフベシ。又、人性ノ完全ナルコト、又ハ秀絶セルコトヲ以テ、吾人ノ追求スベキ目的トセザルベカラズトスル教説ノ如キモ、或ル意義ニ於テハ、マダ真正ナルモノナリ。何トナレバ此説ハ最モ高尚ナル生活ガ包含スルモノニシテ、進化ガコレニ達セントシツ、アル生物ノ理想的ナル形状ヲ默認シツ、アルモノナレバナリ。又徳ガ目的ナラザルベカラズトスル教説ニ於テモ、等シク一ノ真理アルモノナリ。何トナレバ此教説ハ最モ高尚ナル生活ニ達セントスルノ事情ヲ充タスコトヲ以テ目的トセサルベカラズトスル教説ガ其形状ヲ異ニセルモノトイフベクレバナリ。又倫理的能力ノ直覺ヲ以テ吾人ノ行爲ヲ指導セザルベカラズトスルコトノ如キモ、マダ一ノ真理ヲ包含シタル命題ナリトス。何トナレハ此等ノ直覺ハ吾人が上述セル事情ノ眼前ニ於テ生活スル間ニ於テ種々ノ經驗ヨリ徐々ニ組織シ得タル結果タルニ過キザレバナリ。又幸福ガ最上ナル目的ナリトスルコトノ如キハ、論スルマデモナク、モトヨリ正當ナリトス。何トナレバ幸福ナルモノハ、倫理諸説ガ確然若シクハ漠然ト是認シツ、アル所ノ最モ高尚ナル生活ニ同伴シツ、アルモノナレバナリ。

(二四五)

斯ク諸倫理説ノ相對的位置ヲ理解スルトキハ、徳正又ハ義務ヲ以テ主要ナル目的トナセル倫理説ノ如キハ、安全快樂又ハ幸福ヲ以テ主要ナル目的トナセル倫理説ノ補充的ノモノナルヲ見ルヘシ。縦令ヒ倫理的感觸ナルモノガ、文明人が社會的事情ト日々交觸シテ、漸時コレニ適合スルコトヲナスニヨリテ生出セラレ、爲メニ行爲ノ獎勵者及ヒ恐嚇者トシテ無カルベカラザルモノトナリツ、アルニモセヨ、又縦令ヒ此等ノ感觸ニ符合スル所ノ直覺ガ其起原ノ故ヲ以テ、大ニ敬認セラレベキ一般ノ權威ヲ有シツ、アルモノナルニモセヨ、斯クシテ起因シタル同情及ヒ反情ノ如キハ、直覺ノ知識的發表ノモノト共ニ、ソノ原始的ナル形状ニ於テハ、モトヨリ必然的ニ漠然タルモノナリ。故ニ直覺ノ指揮ヲシテ一切ノ要求ニ適セシメントスルニハ、科學ニヨリテ其命令ヲ説明シ、以テ之ヲ正確ナラシメサルベカラズ。即チコレニ對當スルモノニシテ、之ヲ發生セシメタル完全ナル生活ニ必要ナル事情ヲ分解スルコトナカルベカラサルナリ。斯カル分解ヲ行フトキハ、吾人ハ各個人及ヒ全般人ノ幸福ナルモノカ、此等ノ事情ヲ履行スルコトニヨリテ達セラレベキ目的ナルコトヲ認識セザルヲ得ザルモノトス。

斯クノ如クナルヲ以テ適當ナル程度ニ於テ一切ノ倫理說ヲ認識スルトキハ、吾人ノ最モ高尙ナル行爲ナルモノハ、分解的ナル睿智ニヨリテ適當ニ琢磨セラレ、マタ爲メニ精確ナルモノトセラレタル正善ニ關スル生得ノ知覺ヲ以テ其指揮者トナセルモノナルヲ見ルベキナリ。サレドモ吾人ハコレト同時ニ、此等ノ指揮者ガ直接ニ主要的ナルモノトセラル、ハ唯ダ特殊及ビ一般ノ幸福ナル終局ノ主要的目的ニ導クモノナルガ爲メニミ然ルモノナルヲ知ルモノトス。氏ハ是レヨリ苦痛及ビ快樂ノ共ニ相對的ノモノナルコトヲ論シ、人種ニヨリテ異ナリ、各人ニヨリテ異ナリ、又之ヲ感スル瞬時ニヨリテ異ナルモノトシ、更ニ生物全般ニ就キテ概説シテ、有機體ノ大小何如ニヨリ、外部ノ構造何如ニヨリ、神經系統ノ構造何如ニヨリ、又之ヲ感スル部分ノ當時ノ情態何如ニヨリテ感情ノ分量ニ於テ大ニ異同アルコトヲ辯シタリト雖モ、其詳細ノ如キハ必ズシモ茲ニ講述スルヲ要セザルベシ。唯ダ氏が最後ニ於テ快樂ノコトニ就キテ與ヘタル一言ノミヲ示サン、參考トスベキノ價值ナキニアラザレバナリ。

快樂ハ特殊ノ目的ニ適合シタル各種ノ造構ヲ働作セシムルコトニヨリテ生出

セラル、モノナルガ故ニ、吾人ハコレニ必然的ニ包含セラル、コトアルヲ見ルモノナリ。即チ(快樂ト生活ノ維持トハモトヨリ合致スルモノト想像シテ)活動ナルモノハ何如ナル種類ノモノト雖モ、之ヲ繼續スレバ、一トシテ快樂ノ原因トナラザルモノナク、從ヒテ快樂ナルモノハ社會的事情ニヨリテ要求セラレタル所業ノ各種ニハ其局必ズ同伴シツ、アルベキモノナリトノコトノ包含セラル、ヲ見ルモノナリ。(P.106)

是レヨリ氏ハ利己及ビ利他ノコトニ就キテ詳論シ、其審判相讓ヨリ遂ニ調和ノコトニマテ論入セリ。今其大意ノミヲ摘述セン。

吾人ハ利己及ビ利他ノ行爲ヲナスノ性質ヲ有スルモノナリ。利己トハ自己ノ爲メニ生活スルコトニシテ、利他トハ他人ノ爲メニ生活スルコトナリ。今以上ノ二者ニ就キテ精密ナル研究ヲ下ストキハ、實際上ニ於テ相調和スルコトナキニアラズト雖モ、マタ互ニ衝突スルコトアルヲ免レザルモノナリ。故ニ一方ノミヲ以テ行爲ノ主義トナスベキモノニアラザルヤ、萬々ナリ。即チ純粹ナル利己及ビ純粹ナル利他ノ如キハ、共ニ之ヲ不正理ナルモノトイハザルヲ得ザルモノトス。

純粹ナル利己主義ノ不正理ナルコトハ、殆ド茲ニ論評スルノ價值ナカルベシ。何トナレバ毫モ他人ヲ顧慮スルコトナクシテ、無制限ニ自己ノ願望ヲノミ満足セシメントスルガ如キハ、一般ノ衝突ト社會ノ解體トヲ惹起スルモノニシテ、ソノ不正理ナルコト、モトヨリ論外ノコトナレバナリ。純粹ナル利己主義ト雖モ、マダ、コレト等シク不正理ナルモノナリ。功利教ノ如キハ、モト利他(此場合ノ「他」ハ團體ヲ指スモノナレドモ)ヲ主トスルモノナリト雖モ、能ク之ヲ研究スルトキハ、或ル點ニ於テハ、一般ノ幸福ニアラズシテ、全一般ノ正義ヲ標準トスルモノナルヲ見ルヲ得ベク、他ノ點ニ於テハ、ソノ利他ナルモノガ、歸スル所ハ、適當ニ變性セラレタル利己ナルコトヲ見ルヲ得ベキナリ。又純粹ニ他人ノ爲メヲノミ圖ルベシトスル利他主義説ノ如キハ、モトヨリ自家撞着ノモノタルヲ免レザルナリ。何トナレバ他人ノ爲メヲノミ圖リテ、自己ヲ忘ル、コトアランニハ、遂ニマタ他人ノ爲メヲモ圖ルコト能ハザルニ至ルベクレバナリ。

斯クノ如クナルヲ以テ、個人ノ幸福ニ達スルハ、個人ノ幸福ノミヲ以テ直接ノ目的トナスコトニ比例的ナルモノニアラズ。又一般ノ幸福ニ達スルハ、一般ノ幸福ノミヲ以テ直接ノ目的トナスコトニ比例的ナルモノニアラザルナリ。即チ或ル範圍内ニ於テハ、自己ノ幸福ハ他人ノ幸福ヲ獎勵スルコトニヨリテ得ラルベク、一般ノ幸福モ自己ノ幸福ヲ獎勵スルコトニヨリテ得ラルベキナリ。若シ各個人ノ安全ナルコトガ、一部ハ各個人ガ團體ノ安全ヲ注意スルコトニヨリテ達セラル、モノナリトセバ、團體ノ安全ナルコトモ一部ハマタ各個人ガ自己ノコトヲ注意スルコトニヨリテ達セラルベキヤモトヨリ當然タリ。故ニ全一般ノ幸福ハ適當ニ自己ノ幸福ヲ追求スルコトニヨリテ得ラルベク、個人ノ幸福ハ適當ニ一般ノ幸福ヲ追求スルコトニヨリテ達セラルベキモノトイフベキナリ。

社會ノ進化シテ、漸時文明トナルニ從ヒ、吾人ハ益々二者ノ相讓ノ必要ナルヲ感スルニ至ルモノニシテ、從ヒテ事實ニ於テモ、着々此方向ニ進行シツ、アルヲ見ルモノトス。故ニ戰爭時代ヲ經過シテ、人々互ニ契約ヲ以テ隨意的共働ヲナスニ至ルトキハ、同情ノ勢力漸時増長スルニ至ルヲ以テ、遂ニ進ミテ契約以外ニ於テモ、マタ他人ノ爲メヲ圖ルガ如キコトアルニ至ルモノトス。國際間ノ事ニ於テハ、今日ノ情態ニ在リテハ、未ダ利己ト利他トノ間ニ於ケル相讓ナシトイフベキガ如クナリト雖モ、

マタ稍ヤ此方針ニ向ヒテ進行シツ、アルヲ見ルベキモノナリ。
 斯クノ如ク相讓ナルコトヲ説キ來ルトキハ、利己ト利他トノ間ニ於テハ永久相衝
 突スルコトアリトイフガ如ク見ユベシト雖モ、利己ト利他トハ遂ニ相調和スルコ
 トヲ得ルモノナリ。子女ナキモノガ子女ヲ欲シ、時々養子女ヲナスコトアルガ如キ
 ヲ見テモ、或ル利己的満足ヲ達センガ爲メノ要件トシテ、此等ノ利他的活動ヲナシ
 ツ、アルモノナルヲ知ルベキナリ。一般ノ利他ノ如キモ、今日ニ在リテハ未ダ充分
 ノ調和ヲ見ル能ハズト雖モ、マタ殆ドコレト同様ナル位置ニ達セントシツ、アル
 モノナリ。即チ知ラズ識ラス、劣等ナル利己的満足ヲ壓服シテ、利他的ナル活動ヲナ
 シ、以テ高等ナル利己的満足ヲ得ルニ至ルコトノ漸時頻繁ナラントシツ、アルモ
 ノナリ。野蠻時代ヨリ文明時代ニ進ミテ、社交的關係ノ愈々複雑トナリ、同情ノ勢力
 漸時廣大トナルニ從ヒテ、此事ノ益、顯著タルニ至ルモノニシテ、唯ダ自然的ニ同情
 的快樂ヲ追求スルトキハ、自己及ヒ全般人ニ取リテ十分有益ナルコトタルニ至ル
 モノトス。

今最高ナル意義ニ於テ同情的ナリト稱セラル、人ヲ見ルニ單ニ他人ノ受クベキ

快樂ヲノミ考へ、其人ノ爲メニノミ之ヲ追求シツ、アルモノナリト雖モ、其實ハ自
 己ガマタコレニヨリテ利益ヲ受クルコトアルヲ忘却シツ、アルモノナリ。故ニ利
 己ト利他トノ間ニ於ケル調和ナルモノハ、利他的快樂ナルモノガ歸スル所ハ、利己
 的ナルモノニ外ナラザルニモ拘ラズ、意識上ニ於テハ、決シテ利己的ナラザルガ如
 キモノナラザルベカラザルナリ。

社會ノ進歩シテ益、高尚ナル情態トナルニ從ヒテ、自己ヲシテ他人ニ隸屬セシムル
 コト(即チ普通ニ稱セラル、利他)ノ如キハ漸々減少スルニ至ルベキナリ。世人ガミ
 ナ能ク社會上ノ事情ニ適合シタル行爲ヲナスニ近接スルニ至ルニ從ヒ、他人ガコ
 レニ對シテ無用ノ幫助ヲナスガ如キハ、漸時其必要ト機會トノ存セザルニ至ルベ
 キヤモトヨリ論外ナリトス。從テ現時行ハル、純粹ナル利他ノ如キハ、遂ニ變ジテ
 同情ナルモノトナルベキモノニシテ、ソノ最モ能ク發達シタルモノニ至リテハ、他
 人ノ同情的満足ヲ得ルト同時ニ、マタ自己ノ利己的満足ヲ得ルガ如ク、注意スルモ
 ノトナルベキナリ。是レヨリシテ吾人ハ遂ニ純粹ナル利己ヲ行ヒテ、他人ヲシテ不
 適當ナル犧牲タラシムルガ如キコトヲ制スルニ至ルト同時ニ、又純粹ナル利他ヲ

行ヒテ自己ヲシテ不適當ナル犧牲タラシムルガ如キコトヲモ制スルニ至ルベキナリ。

サレドモ茲ニ少シク注意スベキコトアリ。即チ未來ニ至ルマテ猶ホ純粹ナル利他トシテ存在スベキ三種ノ行爲アルコト是レナリ。一ハ家族生活ニ於テ行ハル、モノニシテ父母ガ子女ヲ養育スルコトニ於テ自顧的感情ヲ措キテ他顧的感情ヲ發表スルコトノ如キ又コレニ對シテ子女ガ老衰セル父母ヲ注意スルコトノ如キ實ニ利他ヲ以テ主要トナセルモノナルヲ見ルナリ。サレドモ精密ニ之ヲ論辯スルトキハ其利他ニ對シテ又自己ノ利己的満足ヲ成就スルコトアルモノナルヲ以テ全然調和ナキニアラザルノミナラズ猶ホ漸時ソノ完全ナル調和ニ近接セントシツ、アルヲ見ルモノトス。世人一般ニ對シテハ利他ノ爲メニ利己ヲ抑制スルガ如キ事實ハ常ニ益其範圍ヲ狹隘タラシメツ、アルモノナリ。サントモ吾人ノ性質ハ絶對的ニ能ク萬事萬端ニ適合スルヲ得ベキモノニアラザルヲ以テ疾病其他一般ノ不幸ニ陥ルコトモトヨリコレナキニアラザルナリ。從ヒテマタ吾人が自己ヲ犧牲ニ供スルノ必要アルコトヲ免レザルナリ。洪水大火破船ノ如キコトモマタ世人ノ

免レ難キ天災ナリ。從ヒテマタコレガ爲メニ義舉ヲ行ハシムルノ必要アルモノトス。此等ノ例外ヲ除キタランニハ人生普通ノ事件ニ於テハ漸時利己ト利他トノ調和アルヲ見ルニ至ランコト實ニ明白ナルコトナリトス。

以上ノ如クナルヲ以テ利己ト利他トノ間ニ於ケル表面的ナル衝突ノ如キハ遂ニ一般ニ消滅スベキモノトイフベキナリ。即チ利己ト利他トノ衝動力ニ對シテハ吾人が自ラ其權衡ヲ取りテ相讓ヲ圖ラザルベカラザルノ必要ナク自己ヲ損害スルガ如キ利他ハ漸時減少シテ從ヒテ利他ト利己トノ相衝突スルコトナキニ至ルベキモノニシテ普通ノ意義ニ於ケル利己若シクハ利他ヲ行フニアラスシテ而モ能ク利己ト利他トノ結果ヲ生スルコトアルガ如クニ至ルベキモノトス。

次ギニ氏ハ絶對的倫理學ト相對的倫理學トノ區別ヲ論ヨテ次ギノ如ク言ヘリ。多クノ倫理說ハ正(right)即チ絶對的ナル正ト最小ナル惡(least wrong)即チ相對的ナル正トノ區別アルコトヲ明ニ認識セザルモノナリ。サレドモ此等ノ二者ハ大ニ異點アルコトヲ知ラザルベカラズ。抑モ善行ナルモノハ曩キニ既ニ論シタルガ如ク全體ノ結果ガ快樂ノ餘剩ヲ與フルモノニシテ惡行ナルモノハ全體ノ結果ガ苦痛

ノ餘利ヲ被ラシムルモノヲイフニ在リ。故ニ行爲ノ絕對的ニ善又ハ正ト稱スベキハ、唯ダ純粹ナル快樂ヲノミ生スルモノダラサルベカラザルナリ。從ヒテ苟モ多少ノ苦痛ヲ同伴シ、若シクハ生出スルモノナランニハ、之ヲ幾分カ惡ナルモノトイハザルベカラザルヤ、マダモトヨリ當然タラン。即チ斯カル行爲ニ在リテハ、最も高尚ナルモノト雖也、唯ダ相對的ニ正ナリトイフヲ得ベキニ止マルベキナリ。此等ノ行爲ノ中、ソノ完全ナル行爲ニ就キテ論スルモノ、之ヲ絕對的倫理學ト稱シ、ソノ不完全ナル行爲ニ就キテ論スルモノ、之ヲ相對的倫理學ト稱スルモノトス。

今世人ノ行爲ヲ見ルニ、多クハ絕對的ニ正ナルモノニアラズシテ、唯ダ相對的ニ正ナルモノノミニ過ギザルコト、モトヨリ事實ノ明證スル所タリ。サレドモ予ハ曩キニ最モ完全ナル人(即チ終局ナル人)トハ、其人ノ有スル性質ノ作用ガ、其人ノ社會的生活ニ於ケル一切ノ要求ト完全ニ一致シツ、アルガ如ク進化シ來リタルモノナルコトヲ説ケリ。若シ人ニシテ果シテ斯カルモノアルベシトセバ、完全ニ進化セル社會ニ於テ完全ニ適合セル人ノ行爲ニ關スル理想的法典ノ存在スベキモノナルヤ、モトヨリ明白ナラン。茲ニ所謂ル絕對的倫理學ナルモノハ、即チ其法典ニ外ナラ

ザルモノニシテ、唯ダ其法典ノ命令ノミガ相對的ナル正又ハ最小ナル惡ト異ニシテ、始メテ絕對的ニ正ナルモノト考ヘラル、モノナリ。且ツマダ斯カル理想的ナル行爲ノ系統ノミガ、吾人が現實的行爲ノ問題ヲ解釋スルニ於テ、吾人ヲ指導スベキ標準タルヲ得ルノ用ヲナスモノトス。

斯クノ如クナルヲ以テ、理想的社會ニ於ケル理想的ナル人ノ正則ナル行爲ヲ精確ニ説述スルトキハ、即チ絕對的倫理學ノ成立スルコトヲ得ルモノニシテ、若シ標準ヲ茲ニ取リテ、吾人ノ不適合ニ起因セル苦難多キ現實社會ニ於ケル不正則ナルコトノ性質及ビソノ正則ナル情態ニ達スベキ進路ニ關シテ、真正ナル斷定ヲ與フルコトアルトキハ、即チ相對的倫理學ノ成立スルコトヲ得ルモノトス。

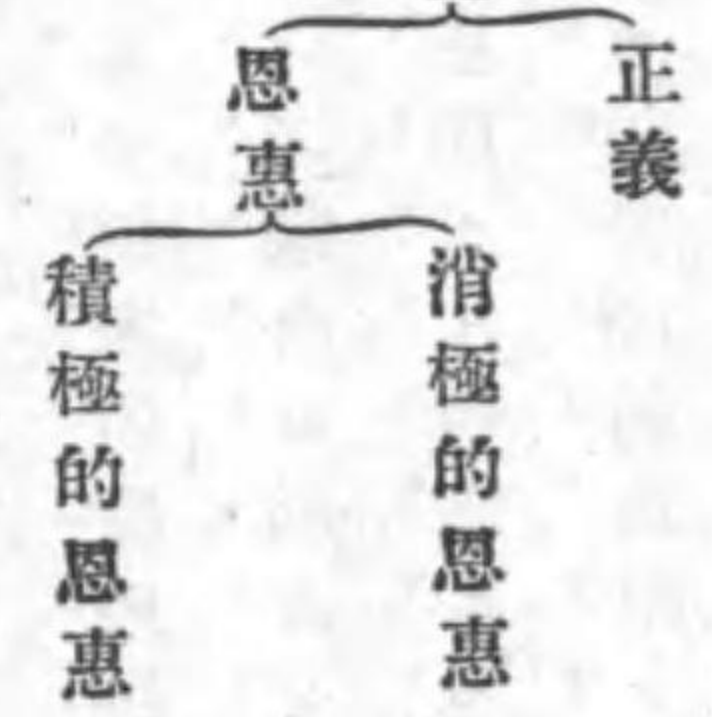
次ギニ氏ハ倫理學ノ範圍ヲ論シテ、倫理學ノ材料ヲ完結シタリ。左ニ唯ダ其要意ノミヲ示サシ。

倫理學ニ於テ研究スル行爲ナルモノハ、一般ノ行爲ノ一部分ニシテ、最も高尚ニ進化セル生物(即チ人間)ガ表示スル所ノ最モ高尚ニ進化シタル行爲、即チ是レナリ。是レ予ガ已ニ本書ノ初ニ於テ、陳述シタル所ナリトス。故ニ予ガ所謂ル倫理學ナルモ

ノハ普通ニ附與セラル、ヨリモ一層廣大ナル範圍ヲ有スルモノニシテ、普通ニ正
 又ハ邪トシテ褒貶セラル、行爲ノホカ、自己又ハ他人ノ安全ヲ獎勵又ハ防遏スル
 所ノ一切ノ行爲ヲモ包含スルモノト知ルベキナリ。
 倫理學ノ範圍ハ、之ヲ左ノ如ク區分スルヲ得ベシ。

(一) 個人的倫理

(二) 社會的倫理



個人的倫理即チ個人的生活ノ倫理トハ、單ニ個人的目的ノ爲メニノミ行ハル、モ
 ノニシテ、其個人ニ與フル幸福ノ如何ニヨリテ、正又ハ邪トシテ判斷セラルベキモ
 ノ、即チ是レナリ。社會的倫理即チ社會的生活ノ倫理トハ他人ト關係シテ行ハル、
 モノニシテ、重ニ他人ニ與フル結果ノ如何ニヨリテ、正又ハ邪トシテ判斷セラルベ
 キモノ、即チ是レナリ。此種ノ所業ハ、之ヲ二大別スルヲ得ベシ、正義及ヒ恩惠即チ是

レナリ。正義トハ共存ノ爲メニ相互ノ所業ヲ限定シ、又共働ヲ以テ其目的ヲ成就ス
 ルガ如キ個人ノ間ニ存スル平等ナル關係ナリ。恩惠トハ、何如ナル方法ヲ問ハズ、
 他人ヲ幫助シテ、其生活ヲ完全ナラシムルコトヲイフモノニシテ、コレニマダ二種
 アリ、消極的恩惠及ヒ積極的恩惠、即チ是レナリ。消極的恩惠トハ他人ニ苦痛ヲ與フ
 ルコトヲ避ケンガ爲メニ自己ヲ服壓スルモノヲ云ヒ、積極的恩惠トハ他人ニ快樂
 ヲ與ヘンガ爲メニ自己ノ努力ヲ費耗スルモノヲイフ

以上ノモノハミナ先ゾ絕對的倫理學ノ一部トシテ之ヲ考フベキモノニシテ、然ル
 後ニ相對的倫理學ノ一部トシテ之ヲ論スベキモノトス。
 以上ヲ以テ氏ガ倫理學ノ材料中ニ於テ論述シタルモノ、要領トス。猶ホ氏ガ個々
 ノ倫理上ノコトニ就キテ論シタルモノヲ知ラント欲セバ、氏ノ倫理的原理ノ第三
 部以下ヲ見ルヲ可トス。氏ハ猶ホ社會平權論又ハ其論集中ニ於テ倫理上ノ意見ヲ
 吐露セルコト少カラズ、之ヲ知ラント欲スルモノハ、此等ノ書ニ就キテ自ラ研究セ
 ラレシコトヲ望ム。

概説 氏ハ行爲ナルモノヲ以テミナ目的ニ適合シタル所業ナリトシ、倫理學ニ

於テ研究スル所ノ行爲ハ、此等一般ノ行爲ノ一部分ヲナスモノニシテ、最モ進化セ
 ル^C生物(即チ人)ガ發表スル所ノ最モ進化シタル行爲、即チ是レナリトシ、進ミテ吾人
 ガ善行又ハ惡行ト稱スルモノハ、ソノ能ク目的ニ適合スルト否トニヨリテ區別セ
 ラル、モノナリトシ、其目的ヲ以テ自己ヲ維持スルコト、子孫ヲ維持スルコト、及ヒ
 他人ヲシテマタ此種ノ事ヲナサシムルコトノ三種ナリトシタリ。サレドモ人生ノ
 目的ハ其關係親密ナルヲ以テ、一ノ目的ヲ達スルト同時ニ、他ノ目的ヲ害スルコト
 コレナキニアラザルガ故ニ、單ニ一種若シクハ二種ノ目的ニ適合スルガ如キハ、唯
 ダ相對的ニ善ナルモノトイフベキニ過ギズシテ、完全ニ一切ノ目的ニ適合スルモ
 ノヲ以テ、始メテ之ヲ絕對的ニ善ナルモノトイフヲ得ベキモノナリトシ、猶ホ進ミ
 テ、苟モ善行ト稱スベキモノ、ソノ全體ノ結果ガ必ズ快樂ノ餘剩ヲ與フベキモノ
 ナリトシ、又苟モ惡行ト稱スベキモノハ、ソノ全體ノ結果ガ必ズ苦痛ノ餘剩ヲ與フ
 ベキモノナリトシタリ。次ギニ氏ハ行爲ヲ判斷スルコトニ關シテ、因果ノ關係ニ就
 キテ考察スル所ナカルベカラズトシ、倫理諸説ガ多クミナ此缺點ヲ有スルモノナ
 ルヲ説キ、功利教ヲ以テ殆ド違シテ、未ダ完カラザルモノトシ、生物生存ノ原理ヨリ

得タル大主義ヲ根據トスル他ノ功利教(即チ氏ノ説)ヲ以テ、之ヲ正當ナルモノト認
 定シタリ。是レヨリ氏ハ倫理學ハ四個ノ單純ナル科學(物理學、生理學、心理學及ヒ社
 會學)ヲ豫想セルモノトシ、唯ダ此等ノ科學ニ普通ナル眞理ヲ以テノミ能ク倫理ニ
 關スル終局的ナル説明ヲ與フベキモノナリトシタリ。故ニ氏ハ最モ倫理的ナル行
 爲トハ、動搖的平準ヲ有シタル運動ナリトイヒ、又ハ外界ノ勢力ニ對シテ、一切ノ作
 用ガ能ク其權衡ヲ保チタル活動ナリトイヒ、或ハ複雜ニシテ高等ナル感情ガ、單簡
 ニシテ劣等ナル感情ヲ支配スルガ如キ所業ナリトイヒ、若シクハ社會ノ一切ノ事
 情ニ適合シタル完全ナル生活ノ法則ヲ履行スルモノナリトイヒテ、善行ナルモノ
 説明ヲ與ヘタリ。是レヨリ氏ハ種々ノ倫理説ヲ批評シ、歸スル所ミナ一部ノ眞理
 ヲ包有スルモノト見ルヲ得ベシトシテ、之ヲ許容シ、遂ニ最モ高尚ナル行爲ナルモ
 ノハ、正善ニ關スル生得ナル智覺ヲ以テ、其指揮トスルモノナリト雖モ、其指揮者ハ
 特殊若シクハ一般ノ幸福ナルコトノ終局的ナル目的ニ達セシムルモノナルガ爲
 メ、ニノミ直接ノ目的トシテ採用セラレ、モノニ過ギズトスル自家ノ所説ヲ守リ
 タリ。是レヨリ進ミテ、苦痛及ヒ快樂ノ共ニ相對的ノモノナルコトヲ説キ、猶ホ進ミ

テ、利己及ヒ利他ノコトヲ詳述シテ、二者互ニ相衝突スルコトアルモノトシテ、ソノ相讓ヲナスベキノ必要アルコトヲ説キ、猶ホ一步ヲ進メテ、世ノ進化スルニ伴ヒテ、此相讓ノ如キモ漸時其必要ナキニ至リ、遂ニ二者ノ自ラ調和スルコトアルニ至ルベシトシ、唯ダ親子ノ關係、痛苦又ハ天災ニ於ケル救護ノ三事ノミガ、猶ホ純粹ナル利他ノ形狀ヲ存シテ遺存スベキニ過ギザルベシトシタリ。是レヨリ、絕對的倫理學ト相對的倫理學トノ異同ヲ辯シテ、前者ヲ以テ理想的社會ニ於ケル理想的ナル人ノ完全ナル行爲ヲ論スルモノトシ、後者ヲ以テ之ヲ標準トシテ不完全ナル行爲ヲ論スルモノトシタリ。次ギニ氏ハ倫理學ノ範圍ヲ論テ、倫理學ノ論究スル行爲ハ最高等ナル生物ガ發表スル最モ進化シタルモノ、即チ是レナリトシ、單ニ善惡ト稱スルモノ、ホカ、猶ホ他ノ行爲ヲモ包含シタルモノトナシ、其範圍ヲ分チテ個人的及ヒ社會的ノ二トシ、社會的ヲ分チテ正義及ヒ恩惠ノ二トシ、恩惠ヲ分チテ消極的及ヒ積極的ノ二トシタルモノナリ。以上ヲ以テ氏ガ倫理說ノ骨骸トス。要スルニ氏ノ倫理說ハ、生物進化ノ法則ナルモノニ基キテ倫理上ノコトヲ説明シタルモノナルヲ以テ、進化論的倫理說ト稱セラル、ノホカ、又生物學的倫理說ト稱セラル、コトアルモノトス。

其三 批評

進化論ノ今日ノ學界ニ勢力アル誰カ之ヲ否定スルモノアラン。予モマタ之ヲ歡迎スルモノ、一人ナリ。故ニ予ハスペンセル氏ガ倫理ノコトヲ論スルニ當リテ、行爲ノ進化等ノコトヲ説キタルヲ非難シ去ランコトヲ望ムモノニアラズ。サレドモ予ハ氏ノ勞力が善惡ナルコトヲ確定セントスルコトニ於テハ、十分ノ功果ヲ奏スルコト能ハサリシヲ悲ムモノナリ。サレバ予ガ是レヨリ二三ノ評言ヲ下サント欲スルモノ、必ズシモ奇怪ナリトスベキニアラザルベシ。

氏ハ行爲ノ進化ヲ論テ自己ノ生命ヲ維持シ、子孫ノ生命ヲ維持シ、又同胞ヲシテ斯カルコトヲナサシムル所業ヲ以テ、最モ能ク進化シタルモノトシ、同時ニ之ヲ善行ナリトシタルモノナリ。是レ氏ガ能ク生活ヲ維持スル行爲ヲ以テ、之ヲ善ナリト認定シタルモノナルヲ見ルベシ。サレドモ氏ハ此標準ヲ以テ功利教ノ標準ト連合セシメ、若シ吾人が生活ニ導ク所ノ行爲ヲ以テ、之ヲ善ナリト稱スルナラバ、吾人ハ唯ダソレガ苦痛ヲ超エテ快樂ノ餘剩アラシムルガ如ク導ク所ノ行爲ナルコトノ

合意ヲ以テノミ、斯クハ稱スルモノナリトノコトヲ見ルベキナリト言ヒ、又一切ノ
 感覺アル生物ガ進化スル所以ノモノ實ニ快樂ヲ與フル所ノ所業ガ、即チ生活ヲ維
 持スル所ノ所業ナルコトノ事情アルニヨルノミト言ヘリ。是レ即チ行爲ガ快樂ヲ
 與フルノ多少ヲ以テ其善惡ヲ判定セシムコトヲ試ミタルモノトイフベシ。氏ノ意ニ
 シテ若シ果シテ斯クノ如キモノナリトセバ、氏ガ行爲ノ進化ヲ論シタルカ如キハ、
 唯ダ其說ヲ潤飾シタルニ過キズシテ、其實ハ純然タル一個ノ功利教タルヲ免レザ
 ルモノトイフベキナリ。

サレドモ種々ノ方面ヨリ氏ノ眞意ヲ吟味スルニ、マタ必ズシモ然ラザルガ如キモ
 ノアリ。氏ノ眞意ハ生活ノ維持ヲ以テ善惡査定ノ標準トナシ、快樂ナルモノハ唯ダ
 ヲノ生活ヲ維持スルコトニ同伴スルモノト認メタルモノナルガ如キヲ發見スル
 モノナリ。氏ガ「兎モ角モ一ノ目的ヲ成就スル行爲ハ、之ヲ相對的ニ善トイフベク、其
 目的ヲ成就スルコト能ハザル行爲ハ、之ヲ相對的ニ惡トイフヲ得ベキナリ」トシ、進
 ミテ若シ此等三種ノ目的ヲ成就スルコトアラシニハ、遂ニ至善ナルモノト考ヘラ
 ル、行爲タルニ違スルモノナルヲ見ルベキナリト言ヘルヲ見テ、之ヲ明證スルヲ

得ベキナリ。若シ果シテ然リトセバ、予ハソノ生活ヲ維持スルコトガ必ズシモ善行
 ナリトイフヲ得ザルコトヲ辯セザルベカラズ。吾人ハ生物ナリ。故ニ日常ノ場合ニ
 於テモ、其生活ノ維持ヲ圖ルコトモトヨリ頻々ナリトス。サレドモ吾人ハ之ヲ以テ、
 悉ク善行ナリト認メツ、アルモノニアラザルナリ。縱令ヒ善行ノ多クハ、歸スル所、
 生活ヲ維持スルモノトナルベキニモセヨ、ソノ生活ヲ維持スルコトヲ以テ善行ノ
 ミノ特性ナリト輕信シ、之ヲ以テ善惡ヲ判定セントスルニ至リテハ、抑モマタ大ナ
 ル謬見ナリトイハザルヲ得ザルベシ。善行ト生活ヲ維持スル行爲トハ、其外延、決シ
 テ同一ナルモノニアラズ。縱令ヒ一切ノ善行ヲ以テ悉ク生活ヲ維持スル行爲ナル
 コトヲ許容スルニモセヨ、善行ノ範圍ハ生活ヲ維持スル行爲ニ比スレバ遙ニ狭少
 ナルモノナリ。吾人ハ生活ヲ維持スル行爲中ニ於テモ、善行ナル名稱ヲ附與スルコ
 トナキ種々ノ行爲アルコトヲ明知シツ、アルモノナリ。斯クノ如クナルヲ以テ、單
 ニ生活ヲ維持スルコトノ點ノミヲ以テ行爲ノ善惡ヲ判明セントスルガ如キハ、モ
 トヨリソノ誤見ナルコトヲ覺悟セザルベカラズ。

以上ノ如クナルヲ以テ、若シ氏ノ眞意ニシテ生活ヲ維持スル行爲ヲ以テ善行ナリ

トナスニ在リトセバ、ソノ不可ナルコト前述ノ如ク明白ナルベク、若シ又快樂ヲ與フル行爲ヲ以テ善行ナリトスルニ在リトセバ、コハ曩キニ批評セシ功利教ト同一タルニ歸スルモノナルヲ見ルベキナリ。若シマタ、氏ノ所述ノ如ク、生活ヲ維持スル行爲ハ、即チ快樂ヲ與フル行爲ニシテ、快樂ヲ與フル行爲ハ、即チ生活ヲ維持スル行爲ナリトシ、二者ハ唯ダ其稱ヲ異ニスルノミニシテ、其實ヲ同シウスルモノナリトセバ、予ハ猶ホ茲ニ一言ヲ洩サマルヲ得ザルモノアリ。曰ハク、此問題ノ如キハ、精密ナル研究ヲ要スベキモノニシテ、然モ猶ホ容易ニ斷決シ得ベキモノニアラザルベシト信ズ。氏ガ自家ノ所説ヲ功利教ト調和セシメンガ爲メニ、容易ニ之ヲ許容シタルガ如キ嫌アルハ、予ノ大ニ不満足トスル所ナリト。

氏ガ四種ノ科學的見解ヨリ善行、惡行ノ説明ヲ施シタルハ、頗ル新奇ニシテ大ニ興味アルモノタルニ相違ナシト雖モ、必ズシモミナ正鵠ヲ得タルモノトシテ採用スベキモノニアラザルベシト考フ。今唯ダ物理學的見解及ヒ心理學的見解ニ就キテノミ一言スル所アルベシ。

氏ハ進化ナルコトヲ説キテ、物質又ハ其物質ノ運動ガ不結合、不確定及ヒ單純ナル

コトヨリ漸時變遷シテ、結合、確定及ヒ複雑ナルコトニ達シ、遂ニ動搖的平準ヲ得ルニ至ルモノトシ、倫理的行爲ナルモノハ、之ヲ劣等ナル行爲ニ比スレバ、一層能ク以上ノ如キ進化ノ性質ヲ發表セルモノトシタルモノナリ。サレドモ此種ノ説明ハ、氏モ自ラ許スガ如ク、行爲ノ單ニ知覺セラル、コトニノミ就キテ下シタルモノニ過キサルトテ以テ、モトヨリ完全ナルモノトイフベカラサルナリ。何トナレバ單ニ倫理的行爲カ外面上ニ於テ發表スルコトノミヲ研究シタランニハ、ソノ得ル所ハ必ズシモ倫理的行爲ノ特性ナルニアラスシテ、倫理的ナリト稱スルコトナキ行爲ト雖モ、マタ外面上ニ於テ之ヲ發表スルヲ得ヘキモノナルヤモ知ルヘカラザレバナリ。結合、確定及ヒ複雑ノ如キハ、唯ダ行爲ガ外面上ニ發表スルコトナルヲ以テ、善惡ニ無關係ナル行爲ト雖モ、マタ之ヲ發表スルコトヲ得ベキノミナラズ、其實吾人カ不倫理的ナリト稱スル行爲ト雖モ、マタ之ヲ發表スルコト能ハザルニアラザルベシト信ズ。若シ果シテ然リトセバ、此等ノ性質ハ、必ズシモ倫理的行爲即チ善行ノ適當ナル説明トナスヘカラスシテ、唯ダ善行タルヲ得ルニハ、先ヅ此等ノ條件ヲ具備セザルベカラストイフニ止マリ、決シテ倫理的行爲ノ特性トスルコト能ハザルベシ。

物理學的見解ニ於テハ、氏カ列舉シタルノホカ、善行ニ關スル性質ヲ與フルコト能ハストセバ、是レ即チ物理學的見解ヲ以テハ到底十分ニ善行ナルモノヲ説明シ盡スコトヲ得ザルモノトイフヲ得ベキナリ。然ルチ氏ガ單ニ此等ノ性質ヲノミ舉ゲテ、善行ノ特性ヲ示シ得タリト信シタルカ如キハ、抑モマタ其當ヲ得ザルモノトイハサルヲ得ザルナリ。

氏ハ心理學的見解ニ於テ、倫理的行為トハ簡單ナル感情ヲ複雜ナル感情ニ服從セシメ、現在ナル感覺ヲ未來ナル感覺ノ觀念ヲ以テ制馭シ、實現的ナルモノヲ再現的ナルモノニヨリテ、再現的ナルモノヲ再々現的ナルモノニヨリテ支配スル所ノ行為ナルコトヲ辨ゼリ。是レマタ決シテ倫理的行為ノ適當ナル説明ナリトスルヲ得サルナリ。何トナレハ此等ハ決シテ特ニ倫理的行為ノミノ所有セル特異性トイフヲ得ザレバナリ。行為ニ種類アリ。善行アリ、惡行アリ。又善惡ナルコトニ無關係ナルモノアリ。此等ノ中ニ於テ、善行ナルモノヲ説明セント欲セハ、宜シク他ノ行為ト特異セル性質ヲ舉ゲンコトヲ試ミザルベカラズ。若シ唯タ善行ノミノ專有セル特異性ヲ舉グルコトナカラシカ、爲メニ他ノ行為ト混同スルコトナキヲ保スベカラザ

ルノ不便ヲ醸スコトアラントス。其故他ニアラズ。氏ガ與ヘタル倫理的行為ノ説明ノ如キハ、移シテ以テ或ル惡行ヲモ説明スルコトヲ得ベキモノナリ。惡行ト雖モ單簡ナル感情ヲ服從セシムルニ複雜ナル感情ヲ以テスルコトナキニアラズ。現在ナル感覺ヲ未來ナル感覺ノ觀念ヲ以テ制馭シ、實現的ナルモノヲ再現的ナルモノニヨリテ、再現的ナルモノヲ再々現的ナルモノニヨリテ支配スルコトノ如キハ、複雑ナル惡行ガ屢々發表シツ、アル所ノ事實ナリ。斯クノ如クナルヲ以テ氏ガ説クガ如キ性質ハ、必ず倫理的行為ノ表示スルモノタルニ相違ナシトストモ、コハ決シテ倫理的行為ヲシテ倫理的行為タラシムル特性ナルニアラズシテ、唯タ倫理的ナル行為ガ必ず表示スル所ノ條件ナリトイヒ得ベキニ止マルベキナリ。倫理的ナル行為ガ必ず表示スル所ノ條件ハ、他ノ行為ガ決シテ表示スルコト能ハサルモノナリトノコトノ確定セルモノナランニハ、或ハ之ヲ以テ倫理的行為ノ説明ナリトスルヲ許容スベカラザルニアラズト雖モ、決シテ斯クノ如キ理由ノ存在スルモノニアラズシテ、倫理的行為ニアラザルモノト雖モ、マタ之ヲ表示スルコトヲ得ベキモノナル以上ハ、氏ノ説明ノ如キハ、之ヲ不完全ナルモノトイヒテ不可ナカルベシト信ズ。

之ヲ要スルニ、氏ガ倫理的行為ニ與ヘタル説明ノ如キハ、決シテ倫理的行為ノ特性ヲ示シタルモノトイフベカラズシテ、唯ダ或ル行為ガ倫理的ナリト稱セラル、コトヲ得ンガ爲メニハ、是非トモ表示セザルベカラザル或ル條件ヲ擧ゲタルニ過ギザルナリ。故ニ真正ニ倫理的行為ノ説明ヲ下サント欲セバ、其行為ガ全然他ノ行為ト區別スル所ノ特異性ナルモノヲ示サ、ルベカラザルナリ。然ラバ倫理的行為ノ特ニ他ノ行為ト異ナル性質ハ何如ン。曰ハク豈ニ他アラシヤ。或ル事ヲナスノ善ナルコトヲ知り、之ヲ爲サルベカラザルモノト感マツ、爲スコト實ニ倫理的行為ノ極メテ重要ナル性質ニハアラザルカ。斯クノ如キ性質ヲ有スルコトナカラシニハ、單ニ氏ノ所説ノ如キ條件ヲ具備スルコトアルニモセヨ、必ズシモ倫理的行為ナリトイフヲ得ベカラザルモノナルヲ以テ、氏ガ與ヘタル倫理的行為ノ説明ノ如キハモトヨリ不完全ヲ免レザルモノトイフベキナリ。

ザレドモ茲ニ少シク注意スベキモノアリ。氏ト雖モ、上述ノ如キ條件ヲ以テ、之ヲ倫理的抑制ノ特有ナリトシタルニアラズシテ、政治的、宗教的又ハ社會的ナル抑制ノ如キモ、同シク此等ノ條件ヲ有スルモノナルヲ許シタルコト是レナリ。ザレドモコ

ハ、氏ガ自ラ以上ノ如キ條件ヲ以テハ、到底十分ニ倫理的抑制ヲ説明シ盡スコトヲ得ザルヲ告白シタルモノトイフベシ。氏ハ此等ノ抑制ト倫理的抑制トヲ區別セシガ爲メニ、此等ノ抑制ハ行為ノ外附的結果ニ關スルモノナリト雖モ、倫理的抑制ハソノ必然的ナル正實ノ結果ニノミ關スルモノトシタルモノナリ。ザレドモコレダニ未ダ以テ以上ノ批評ヲ撤回セシムルニ足ルノ勢力ヲ有セザルモノナリ。何トナレバ行為ノ必然的ナル正實ノ結果ニ關シテ、斯カル抑制ヲナスモノト雖モ、必ズシモミナ倫理的抑制ナリトスベカラザルコトハ、正確ナル事實アルヲ否定スベキ理由ノ存セザレバナリ。

又氏ハ吾人が現ニ倫理的義務ノ感情ヲ有スルコトヲ否定シタルモノニアラズ。サレドモ氏ハ此感情ハ、他ノ抑制ニ附着スルモノガ聯想ニヨリテ暫時倫理的抑制ニモ附着スルニ至リタルモノニシテ、其局終ニ消滅シ去ルベキモノト考ヘタルモノナリ。ザレドモ予ハ行為ノ正實の結果ニ關スル倫理的抑制ニハ、現時附着スルガ如キ義務ノ感情ガ其當初ノ勢力ハ如何ニ微弱ナルニモセヨ、其實性上ニ於テ、決シテ附着スベキモノニアラズトハ、確乎タル理由ヲ明示スルニアラザルヨリハ容易ニ

此種ノ所説ヲ成立セシムルコト能ハザルベシト信ズ然ルニ氏ハ以上ノ事ニ就キテハ殆ド獨斷的ノ論述ヲ與ヘタルニ過ギザルモノナリ從ヒテ其他ノ推論ニシテ正當ナリトストモ其斷定豈ニ必ズシモ正確ナルモノト斷ズベケンヤ直覺派ノ學者中氏ガ進化論ヲ以テ倫理的意識及義務的感情ヲ説明シタルヲ見テ吾人ガ爲メニ尊崇スル倫理ノ真正ナル價值ヲ滅却シタルモノトシ猶ホ一層神聖ナルモノニ相違ナシトシテ之ヲ論難スルモノアリサレトモコハ必ズシモ適評ナリトスルヲ得ザルナリ何トナレバ何如ナルモノト雖モ其原始的形態ニ在リテハモトヨリ微々タルモノナルベキハ是非トモ之ヲ許容セザルベカラザルノミナラズ既ニ吾人ノ尊崇シテ神聖ナルモノトスベキガ如ク進化シ來リタルコトアル以上ハモトヨリマタ十分ノ價值アルモノトスベキニ相違ナキモノナレバナリサレドモ予ハマタ茲ニ進化論ニ就キテ附言スベキ一事アリ進化論ハ進化スベキ事物其原始的形態ニ於テハ何如ニ微々タルモノナルニモセヨノ存在セルコトヲ許容シタル上ニ於テ始メテ其進化ヲ説クコトヲ得ベキモノナリト雖モ決シテ其原始的形態ノ何如ニシテ來リシカヲ説明スルコトヲ得ザルモノナリ進化論者ト雖

モ萬有ノ根本的起原ヲ明解スルコト能ハザルベキハモトヨリ明白ナル事實ニアラズヤサレバ氏ガ倫理的意識又ハ義務的感情ヲ説クニ進化論ヲ以テシタリト雖モ予ハ之ヲ以テ此等ノモノハ根本的起原ヲ説明シタルモノトナサズ唯ダ既ニ原始的形態ヲ有スルモノニ就キテ其進化ヲ論シタルモノト見做シテ之ヲ寛容セント欲スルモノナリ予既ニ此決意アリ是レ予ガ氏ノ所説ヲ見テ直チニ驚愕スルノ愚ヲ學ハザル所以ナリ氏ガ利己及ヒ利他ニ關スル意見ニ就キテハ二者ハ一般ニ相衝突スルコトアリトノ點ハモトヨリ可ナリ又社會ノ進歩スルニ從ヒテ純粹ナル利己及ヒ純粹ナル利他ハ漸時減少スルニ至ルベシトスルノ點モマタ決シテ不可ナラズサレドモ二者ハ遂ニ相調和スルコトヲ見ルニ至ルベシトスルノ點ニ至リテハ予ハ之ヲ空想ナリト考フルモノナリ社會ハ果シテ斯クノ如ク進化シ得ヘキモノナルカ事物ノ進化ノ如キハ唯ダ或ル範圍内ニ於テノミ成立スルコトヲ明證シ得ベキニ過ギズ種々ノ條件ヲ具有スル社會ノ事物ガ如何ニシテ無條件ナル進化ナルコトヲナスヲ得ヘキゾ予ハ之ヲ妄信スルノ勇氣ヲ有セザルモノナリ氏ハ從來ノ經驗ヨリ未來

ニ推論シテ、斯クノ如キ斷案ヲ下スコトヲ得ベシトスルニアルベシト雖モ、予ハ遂ニ斯クノ如キ社會ヲ發見スルコトヲ得ベシト考フルコト能ハザルモノナリ。斯クノ如キ社會ハ、吾人ノ如ク個々ニ相違セル心身ヲ有シタルモノガ、此世界ノ如ク種々ノ天然力ノ跋扈スル所ニ於テ生活スル時限内ニ有リテハ、モトヨリコレアルベシトモ想像スルコトヲ得サルモノナリ。此事ニ就キテハ、今茲ニ詳述スルノ餘地ヲ有セズト雖モ、必ズヤ容易ニ會得スルコトヲ得ベキモノナルベシト考フ。要スルニ氏ノ想出セル理想的社會ノ如キハ、進化論ナルモノヲ無制限ニ應用シタルハ、過失ニ起因スルモノニ相違ナカルベシト信ズ。

氏ノ所說ハ以上ノホカ猶ホ批評スベキモノニ乏シカラズト雖モ、コハ諸氏ノ研究ニ任セテ、茲ニコレニ及バザルコトトス。

之ヲ要スルニ、氏ノ所說ガ進化論又ハ經驗論ニ偏スルコトアルノ點ハ、瞭々乎トシテ、モトヨリ之ヲ掩蔽シ難キノ事實アリト雖モ、マダ斬新奇抜ニシテ大ニ有益ナル言辭ヲモ包含シツ、アルモノナリ。且ツ氏ガ從來ノ功利教ニ修正ヲ施シタル點ノ如キハ、功利的倫理說ノ運命ヲシテ延長スルコトヲ得セシメシモノタルヤ、明白ナ

リトス。故ニ斯學ヲ修ムルモノハ、是非トモ氏ノ說ヲ玩味スルノ必要アルモノト知ルベキナリ。

第六章 直覺的倫理說及其批評

直覺的倫理說トハ、一ニ直覺教又ハ直覺說ト稱スルモノニシテ、善惡ナルコトハ、外界ノ標準ニヨルコトナク、吾人が直チニ之ヲ覺知スルヲ得ルモノトスル倫理說ナリ。吾人ハ良心ト稱スル善惡ヲ覺知スベキ能力ヲ有スルヲ以テ、之ニ訴ヘテ容易ニソノ爲スベキモノト爲スベカラザルモノトヲ判別スルコトヲ得ベキモノナリトスルモノ、實ニ此派ノ倫理說ナリトス。サレバ所業ノ倫理的價值ノ如キハ、此良心ニ從フコトノ如何ニヨリテ決定セラル、モノニシテ、決シテ其所業ガ實現スル結果等ニヨリテ決定セラル、モノトセザルコト、實ニ直覺教ノ要點トス。

此說ハ種々ニ之ヲ分類スルコトヲ得ベシト雖モ、先ヅ大別シテ二種トスルヲ得ベキナリ。單ニ良心ニヨリテ指示セラレタル倫理上ノ主義ヲ蒐集スルノホカ、コレニ就キテ何タル他ノ説明、研究ヲモ施サ、ルモノ其ナリ。之ヲ稱シテ獨斷的又ハ常識的トイフ。コレニ一層ノ研究ヲ加ヘテ、理論的ナル説明ヲ與フルコトアルモノ、其

ニナリ。之ヲ稱シテ理論的又ハ哲學的トイフ。此等二種が共ニ大同ニシテ小異ナル種々ノ異說ヲ包含セルコトハ、モトヨリノコトナリト雖也。此等ハ後段ニ於テ畧述スベキ諸氏ノ所說ニ就キテ、自ラ其異同ヲ明知スルコトヲ得ベキヲ以テ、必ズシモ茲ニ其細別ヲ與フルノ要ナカルベシト信ズ。

人アリ、如何ナル倫理說カ最モ多數ナル信奉者ヲ有スルト問フコトアラバ、予ハコレニ對シテ、モトヨリ直覺教ナリトノ答辯ヲ與フルニ躊躇セザラントス。何トナレバ普通人ノ如キハ、モトヨリ一般ニ此說ノ信奉者ト見做スコトヲ得ベキコト、何ルト雖モ之ヲ否定スルコトナキノ勿論ナルノミナラズ、倫理學者中ニ於テモ、此說ノ辯護者ガ其多數ヲ占メツ、アルコトノ如キモ、マタモトヨリ爭フベカラザル事實ニシテ之ニ加フルニ他ノ倫理說ヲ崇奉スル人士ト雖モ、知ラス識ラズノ間ニ於テ、此說ヲ許容シツ、アルガ如キコト、マタ決シテ異例ナルニアラザルコトヲ發見スルヲ得ベキモノナレバナリ。斯クノ如クナルヲ以テ、本講義ニ於テハ、悉クミナ此派ノ學說ヲ紹介シ盡スコトヲ得ザルベキハ、モトヨリ當然ナルコトヲ知ルベシ。從ヒテ唯ダ極メテ著名ナル人士ノミノ所說ニ就キテ、左ニ其略說ヲ與フルコトアルニ

止メントス。學生諸氏之ヲ諒セラレノコトヲ望ム。

近世ノ初ニ當リ、ホップス氏ノ出デ、利己主義ヲ唱道シ、主權者ノ命令ヨリ善惡ノ觀念ヲ抽出シ得ベシトノ說ヲ發表セシヤ、之ニ反對ヲ試ムルモノマタ續々トシテ世ニ出現スルニ至レリ。而シテソノ直覺派ヨリ出デタルモノニ在リテハ、彼ノモール氏 (More) ノ如キ、實ニ其一人ナリシナリ。氏ハ千六百十四年ニ生レ、千六百八十七年ニ死セリ。倫理ヲ以テ絕對的ニシテ、獨立ナル性質ヲ有スルモノトシ、之ヲ直觀的ニ確實ナルモノト認定シ、吾人ハミナ其理性ニ訴ヘテ善惡ナルコトヲ判知シ得ベキモノナリトナセリ。サレドモ氏ハ必ズシモ理性ニノミヨリテ、始メテ善惡ヲ判知シ得ベキモノトナシ、ニアラズ、吾人ニ良能 (Boniform Facultate) ト稱スベキ特別ナル能力アリトシ、コレニヨリ直チニ之ヲ感知スルヲ得ルガ如クナレルモノトナシ、ニ在リ。

モール氏ト同時ニカドウォルス氏 (Cudworth) アリ。千六百十七年ニ生レ、千六百八十八年ニ死セリ。モール氏等ト共ニ、ケムブリヂノ道德家ト稱セラレシ人ナリ。故ニ其說ニ於テモ、マタ殆ド同様ナリシナリ。氏ハ善惡ヲ以テ所業又ハ氣質ノ終局ナル性質

ナリトシ倫理ナルモノヲ以テ永久ニシテ且ツ變化ナキモノトシ (Treatise on Eternal and Immutable Morality) ト題スル著書アル所以吾人ハミナ其心中ニ於テ倫理主義ヲ所有シコレニヨリテソノ爲スベキモノト爲スベカラザルモノトテ直接的ニ且ツ絶對的ニ決定スルコトヲ得ベキ力ヲ有シタルモノトナシ、ナリ。而シテ氏ハ此力ヲ以テマタ智識的ナルモノトナシ、ナリ。

次ギニウオラストン氏 (Wollaston) アリ。マタ英人ナリ。千六百五十九年ニ生レ、千七百二十四年ニ死セリ。理性ヲ以テ一切ノ所業ヲ判斷シ、且ツ能ク吾人ノ生活ヲ指導スルモノトシ、眞偽ヲ以テ善惡ト同一ナルモノト見做シタリ。

次ギニシャフツベリー氏 (Shaftesbury) アリ。倫理感覺説 (Moral Sense Theory) ヲ以テ有名ナル人ナリ。千六百七十一年ニ生レ、千七百十三年ニ死セリ。氏ハ善惡ナルコトヲ以テ吾人が直チニ感知シ得ルモノトナシ、美醜ヲ感スルト殆ド同様ナルモノトナセリ。而シテ氏ハ之ヲ以テ吾人ニミナ善惡ヲ感知スベキ内面的ナル官能ノ存スルニヨルモノナリトナシ、ナリ。

クラルク氏 (Clarke) ハ千六百七十五年ニ生レ、千七百二十九年ニ没シタル英人ナリ。氏ハ天下ノ事物ハミナ永久ニシテ必然的ナル異點アルモノトシ、從ヒテ相互ノ間ニ於テ適當スルコトト否ラザルコトトノ存スルモノトシ、理性ハ永久ナル法典ニ從ヒテ所業ヲ指導スルコトヲ以テ、吾人ニ取りテ極メテ適當ナルコト、即チ善ナルモノナリトナシ、ナリ。

クラルク氏ニ繼ギテ現レタル人ヲバトレル氏 (Butler) トナス。氏ハ吾人ハミナ正邪善惡ヲ判知シ得ベキ能力ヲ有スルモノトシ、之ヲ良心又ハ反省主義 (Principle of Reflection) ト稱シ、他ノ諸性質ノ上ニ立チテ、之ヲ指導スベキ權力ヲ有スルモノトナシ、ナリ。

次ギニハッチェンソン氏 (Hutcheson) アリ。蘇克蘭ノ人ナリ。千六百九十四年ニ生レ、千七百四十七年ニ死セリ。シャフツベリー氏ノ倫理感覺説ヲ發揮シタル人ナリ。倫理感覺ヲ以テ正邪善惡ヲ直覺スルコトヲ得ルモノトシ、ソノ最モ能ク賞賛スル所ノモノヲ以テ之ヲ純粹ナル恩惠ナリトシタルモノナリ。千七百三年ニ生レ、千七百五十八年ニ死シタルエドワルズ氏 (Edwards) モマタ直覺派ノ一人ニシテ、ハッチェンソン氏ト同ク恩惠ヲ以テ正善ノ標準トナセリ。

アダム・スミス氏 (Adam Smith) は經濟學ノ大家ナリ。同情説ヲ以テ其倫理説ヲ組織シタリ。氏ハ千七百二十三年ニ生レ、千七百九十年ニ死セリ。ハッチャソン氏ニ繼ギテ現レタル人ナリ。氏ハ一切ノ德行ハ、ミナ同情ヨリ出ヅルモノトシ、自己ノ所業ノ褒貶ヲナサントスルニ當リテハ、宜シク公平無私ノ傍觀者トナリテ、之ヲ判斷スベキモノナリトナセリ。

スミス氏ト同年ニ生レ、一年後ニ死シタル人ヲプライス氏 (Price) トナス。氏ハ悟性ヲ以テ一切ノ單純ナル觀念ノ原因トシ、善惡ノ如キハ所業又ハ事物ノ性質ニ與ヘラル、名稱ナルヲ以テマタ單純ナル觀念ナリトシ、從ヒテ之ヲ直覺スルカハ即チ悟性ナラザルベカラズトシタリ。故ニ倫理ナルコトハ悟性ノ目的物ニシテ、從ヒテ永久不變ナル特性ヲ有スルコトアルモノナリト認メタリ。サレドモ氏ハマタ感情ニヨリテモ倫理上ノコトノ感知セラル、コトヲ許シタルモノナリ。

蘇國哲學一名常識哲學ノ祖トシテ有名ナル人ヲリード氏トナス。千七百十年ニ生レ、千七百九十六年ニ死セリ。氏ハ天下ニ於テ證明ヲ要セズ、議論ヲ須ヒズ、且ツ他事ヨリ抽出セラル、コトナキ極メテ明白ナル眞理又ハ主義アリトシ、此等ハ其自身

ニ於テ直覺的ノ證明ヲ有スルモノナルヲ以テ、之ヲ第一原理ト稱スベキモノトシ、其中ノ一部分ハ即チ倫理上ノ第一原理ナリトナセリ。而シテ氏ハ之ヲ直覺スル力ヲ以テ倫理的能力又ハ良心トナシ、單ニ感情的ノモノニアラズシテ、マタ智識的ナルモノトナセリ。

リード氏ガ蘇克蘭ニ於テ常識哲學ヲ立テタルニ對シテ、獨逸ニ於テ批評哲學ヲ興シタル人アリ。之ヲ彼ノ有名ナルカント氏トナス。千七百二十四年ニ生レ、千八百四年ニ死セリ。氏ハ倫理主義ヲ以テ無上太法ナリトシ、之ヲ理性ノ命令ニノミ出ツルモノトシ、此太法即チ倫理的、法典ヲ尊敬シテ爲シタル行爲ノミ、之ヲ善行ト稱スベシトシ、從ヒテ行爲ノ善惡ナルモノハ、單ニ其主義ノ何如ニノミヨルモノニシテ、毫モ結果ノ何タルカニ關係セザルモノトナシ、ナリ。

リード氏ノ繼續者ニステワルト氏 (Stewart) アリ。千七百五十三年ニ生レ、千八百二十八年ニ死セリ。リード氏ノ説ヲ繼ギテ、十分ニ之ヲ發揮シ、反對説ヲ駁シテ、直覺説ヲ維持シタルモノナリ。

ステワルト氏ニ繼ギテ現レタル人ヲブラウン氏 (Brown) トナス。千七百七十八年ニ

生レ、千八百二十年ニ死セリ。リード、ステワルト二氏ノ説ヲ承ク、猶ホ一層直覺派ノ
辯護ヲ試ミタルモノナリ。

次キニマッキントッシュ氏 (Mackintosh) アリ。英國ノ人ナリ。千七百六十五年ニ生レ、千八
百三十年ニ死セリ。氏ノ説ハ功利教ヲ許容シ、聯想説ヲ以テ良心ヲ説明シタル等ノ
點ニ於テ他ノ直覺派ノ學者ニ異ナル所アリト雖モ、功利教ノ如ク、行爲ノ結果ヲ重
ンゼズシテ、之ヲナス意志又ハ氣質ヲ貴ビ、且ツ良心ヲ以テ一般ノ直覺派カ唱フル
ガ如キ性質、作用ノアルモノトナシ、モノアルヲ以テ、マタ此派ノ一人ト見テ不可
ナキモノナリ。氏ハ倫理的標準ト倫理的能力トハモトヨリ混同スベキモノニアラ
ズトノコトヲ辨ツタリ。

カント派ノ一人トシテ獨逸ニ現レタルヘルバルト氏 (Herbart) モ、マタ直覺論者ナ
リ。氏ハ千七百七十六年ニ生レ、千八百四十一年ニ死セリ。氏ハ倫理學ヲ以テ美學ノ
一部トシ、善惡ノ標準ハ吾人精神ノ生得ナル造構中ニ存スルモノトシ、意志間ノ關
係 (Willens-verhältnisse) ニ快ト不快トノアルニヨリテ、直接ニ行爲(即チ意志間ノ關係
ヲ決定シ、且ツ變更スルモノ)ノ價值ヲ感知シ得ルモノトナシ、ナリ。

ホイウエル氏 (Whewell) ハ英人ナリ。千七百九十五年ニ生レ、千八百六十六年ニ死セ
リ。吾人ハ種々ナル自然ノ願望ヲ有スルガ故ニ、其進行ト制限トヲ指導スベキ正シ
キ規則ヲ必要トスルモノナリ。而シテ倫理的規則ハ如キハ實ニ吾人ハ倫理的性質
ヨリ生出シタル必然的ナル真理ナリトス。倫理ノ標準ハ良心ノ一部ニシテ、良心ハ
理性ヨリ成リ、コレニ感覺ヲ同伴シ、容易ニ善惡ヲ判知シ、行爲ヲ好惡スルコトアル
モノナリ。サレドモ良心ハ之ヲ琢磨シ、之ヲ教訓セザルトキハ吾人ヲシテ誤見ニ陷
ラシムルコトコレアルモノトスト。是レ氏ノ倫理説ノ根幹ナリ。

次キニマンセル氏 (Mansel) アリ。マタ英人ナリ。千八百二十年ニ生レ、千八百七十
一年ニ死セリ。氏ハ心中ニ於テ倫理的法典ノ觀念ガ生シタル以上ニアラザルヨリハ、
決シテ所業ノ倫理的性質ヲ直覺シ難キモノナリトシ、從ヒテ善惡ヲ覺知スベキ能
力ナルモノハ、單ニ感情ノミヨリ成ルニアラズシテ、悟性ノ作用ガ其必要部分ヲ占
ムルモノナル所以ヲ辨ツタリ。

同時代ニ當リ獨逸ニロッツェ氏 (Lotze) アリ。マタ直覺派ナリ。千八百十九年ニ生レ、千
八百八十一年ニ死セリ。氏ノ倫理説ハカント氏ノ嚴肅的倫理説トミル氏等ノ功利

的倫理說トノ中間ニ立チタルモノニシテ、倫理上ノ根本的法典ハ、ミナ各個人ニ取
 リテ、直接ニ明亮ナルモノトシ、大ニ良心ヲ尊崇シテ、コレニヨリテ容易ニ所業ノ好
 悪スベキモノヲ判別シ得ルモノトナシ、ナリ。
 次ギニグリーン氏 (Green) アリ。千八百三十六年ニ生レ、千八百八十二年ニ死セリ。英
 國ニ於ケルカント學派ノ人ナリ。絶對的ニ無條件ニ善ナルモノハ善良ナル意志ナ
 リトシ、吾人ハ是非トモ吾人ノ吾人タル所以ヲ確認センコトヲ勉ムベキモノナル
 所以等ヲ辯ヲタリ。
 以上諸氏ノホカ、尙ホ近時ニ於ケル多數ノ直覺論者アルハ勿論ナリト雖モ、先ヅ此
 等諸氏ノ所說ヲ類別スルトキハ、即チ次ギノ如クナルベシ。シヤフツペリー、パトレ
 ル、ハッチソン、スミス、リード、スチワルト、ブラウン、ヘルバルト諸氏ノ如キハ之ヲ獨斷
 的又ハ常識的ナル直覺說ヲ唱ヘタルモノトスルヲ得ベク、モール、カドウォルズ、ウォ
 ラストン、クラルク、ブライス、カント、マッキントッシュ、ホイウエル、マンセル、ロツツエ、グリ
 ーン諸氏ノ如キハ、コレニ對シテ理論的ナル直覺說(時ニ或ハ哲學的直覺說ト稱シ
 得ヘキモノアリ)ヲ說キタルモノトスルヲ得ベキナリ。

上述ノホカ、直覺教ノ辯護者モトヨリ枚舉スルノ煩ニ堪ヘザルヲ以テ、唯タ左ニソ
 ノ著名ナル數氏ヲノミ紹介スルニ止メン。
 其著書ノ本邦ニ譯出セラレタル人ニウヰランド氏 (Wayland) アリ其著書ノ本邦
 人ニヨリテ愛讀セラレタル人ニカルデルウヰド氏アリ。ビルクス氏 (Birks) マルチノ
 ー氏、ヒコック氏、ヘーブン氏 (Haven) トロウシト氏 (Mr. Cosh) ケウホン氏 (Bowen) ヲヤ
 ー氏 (Jane) 等ミナ此派ノ人トシテ記憶セラルベキ學者トス。
 以上諸氏ノ中、予ハ常識的直覺說ノ代表者トシテハカント、及ヒロツツエ二氏ノ所說ヲ紹介スルニ止
 氏、理論的直覺說ノ代表者トシテハカント、及ヒロツツエ二氏ノ所說ヲ紹介スルニ止
 メントス。但シ此等諸氏ノ倫理說ト雖モ、其詳細ヲ講述シ盡スベキ餘地ナキヲ以テ、
 特ニヘルバルト及ヒロツツエノ二氏ニ就キテハ、極メテ要略的ナル講述ヲナスニ過
 ギザルモノト知ルベキナリ。

第一節 スチワルト氏

其一 傳記

蘇國哲學ニ於テ最モ有力ナリシ人ヲスチワルト氏トナス。名ヲヂウガルド (Dugald)

ト呼ビ、千七百五十三年十一月ヲ以テエヂンバラ(Edinburgh)ニ生レタリ、同所大學ノ
 數學ノ講師タリシマツシェウ(Matthew)ノ子ナリ。

氏ハ其地ノ小學ニ在リシ際、既ニ古學ノ智識ヲ有シ、且ツ文學上ノ興味ヲ有シタリ
 キト云フ。ソノ進ミテ大學ニ進入セルヤ、大ニ數學ヲ修メ、コレト共ニ哲學ヲモ究メ
 タリシナリ。氏ノ哲學教授ハ當時有名ナリシアダム、フェルグソン(Adam Ferguson)ニ
 シテ、大ニ其感化ヲ受ケタリト云フ。

千七百七十一年氏ハグラスゴー(Glasgow)ニ至リ、リード氏ニ就キテ哲學ノ講義ヲ
 聽キ、是レヨリ氏ヲ以テ其師友トスルニ至レリ。サレドモ氏ノグラスゴーニ在リシ
 ヤ、僅ニ一期間ニ過ギザリシナリ。氏カ「夢」ニ關スル論文ヲ草シタルハ實ニ此時ニ在
 リキト云フ。

千七百七十二年ヨリ氏ハ父ニ代リテエヂンバラ大學ノ數學教師トナリ、三年ヲ經
 テ助教授ニ昇進スルニ至レリ。然ルニマタ三年ヲ經テ、フェルグソンガ米國ニ出張
 スルニ至リタルヲ以テ、其囑托ニヨリテ兼務トシテ哲學ノ教授ヲモ擔任スルニ至
 リタリシナリ。

倫

理

學

千七百八十五年ニ至リ、フェルグソンノ退職セシヲ以テ、氏ハ遂ニ哲學ノ教授ヲ以
 テ其本務トナシ、二十五年間其職ニ勉勵シタリシナリ。自國ハモトヨリ他國ノ學者
 ニ至ルマデ、氏ノ高名ヲ聞キ、來リテ其講義ヲ聽キシモノ、常ニ其蹤ヲ絶タザリキト
 云フ。然ルニ千八百九年其子ノ死去セシヨリ、大ニ其健康ヲ損シ、翌年ニ至リブラウ
 ン氏ヲ以テ其後ヲ繼ガシメ、自ラ其職ヲ退クニ至レリ。

是レヨリ氏ハ專ラ著述ニ從事シ、千八百二十八年六月一日ヲ以テ病氣ノ爲メ遂ニ
 エヂンバラニ於テ逝去スルニ至レリ。其石碑ハ現ニ「カルトンヒル」(Calton Hill)ニ在
 リト云フ

氏ノ著書ハ全集トシテハミルトンニヨリテ出版セラレタルモノ十一卷アリ、「心理
 學概論」(Elements of the philosophy of the Human Mind)、「倫理學大意」(Outline of Moral
 Philosophy)、「能動的及倫理的能力之哲理」(The Philosophy of the Active and Moral Powers)
 「哲學論集」(Philosophical Essays)等シテ有名ナルモノナリ。氏ガ經濟學ノ講義ハ斯學ノ
 爲メニ幾多ノ利益ヲ與ヘタルモノニシテ、マタ全集中ニ於テ之ヲ見ルベシ。

氏ハ再ビ其妻ヲ迎ヘタリ、先妻ハ僅ニ六年ニシテ死シ、唯タ一子ヲ遺セリ。後妻ハ賢

女ニシテ、大ニ氏ノ著述ノ業ヲ幫ケタリト云ヘリ。一子及ヒ一女ヲ設ケタリ。氏ハ辯舌頗ル爽快ニシテ能ク議論ノ要點ヲ明示シ、聽者ヲシテ爲メニ倦怠ヲ生セシムルコトナカリシナリ。リード氏ノ哲學ガ世間ニ發揚セラレタル所以ノモノハ、實ニ氏ノ力多キニ居レリト云フ。氏ノ身體ハ寧ロ柔弱ナリキト雖モ、其容貌ニ至リテハ大ニ聰慧のナリキト聞ク。

其二 倫理說

氏ノ倫理說ハ、前ニ記述セシ種々ノ書中ニ於テ、之ヲ見ルベシト雖モ、特ニ斯學ノ爲メニ著セル倫理學大意ニヨリテ茲ニ其要點ノミヲ講述セントス。

倫理學大意ハ三部ヨリ成ルト雖モ、第一篇ハ重ニ總說ニシテ、第三篇ハ、ソノ說ク所政治的ノコトナルヲ以テ茲ニ紹介スルハ唯ダ第二篇ニノミ限ルモノナリ。第二篇ハ、人ノ能動的及ヒ倫理的の能力ト題シ、之ヲ二章ニ分テリ。一チ吾人ノ能動的及ヒ倫理的の能力ノ分類及ヒ分解トシ他チ吾人ノ義務ノ種類トス。先ヅ順ヲ追ヒテ之ガ略述ヲ與ヘン。

氏ハ主トシテ能動的の能力ナルコトヲ說キテ、性慾、願望、愛情、自愛(Prudence)及ヒ倫理

的能力(Moral Faculty)ノ五種ノモノアリトシ、前ノ三者ヲ以テ生得ナル、性向(Instinctive Propensities)ナリトシ、後ノ二者ヲ以テ所業ノ合理的主義ナリトシ、若シ吾人ノ造構ガ前者ノミヲ以テ成レルモノトセバ、吾人ハ全ク獸類ト同等ナルモノナリト雖モ、吾人ハ理性ナルモノヲ有スルヲ以テ、之ト區別スベキ後者ノ如キ能力ヲ有スルモノアルコトヲ辨シタリ。

是レヨリ氏ハ自愛即チ謹慎ナルモノハ決シテ我意、我慾ヲ逞シウスルコトヲイフニアラズシテ、真正ニ自己ヲ愛スルモノニシテ、從ヒテ所業ノ合理的主義トナスベキモノナルコトヲ說キ、進ミテ倫理的の能力ニ就キテ詳細ナル研究ヲ與ヘタルモノナリ。左ニ其要領ヲ示サン。

人或ハ德ハ謹慎ト等シク、義務ノ感覺ハ合理的の自愛ノ別名ニ外ナラズトイフモノアリ。是レ一般ニ正當ナルガ如クナリト雖モ、義務ノ感覺ハ自己ノ幸福ヲ圖ルコトニ包含セラルベキモノニアラザルナリ。コハ次ギノ如キ四種ノ理由ヲ以テ立證シ盡スコトヲ得ベシトス。(1)何如ナル國語ニ於テモ義務ト利益トニ相當スル語言ハ、互ニ其意義ヲ異ニスルモノナリ。(2)行爲ニ於ケル正邪ナルコトノ考察ヨリ發生ス

ル感動ハ自己ノ幸福ヲ注意スルヨリ生スルモノトハ全ク相異セリ。(3)時トシテハ義務ノ感覺ト吾人が自身ノ爲メニ注意スルコトガ吾人ノ行爲ニ同一ノ方向ヲ與フルコトアリト雖モ、コハ博見ヲ有シ、遙果ヲ察スルモノニアラズンバ知り能ハザルモノニシテ、モトヨリ世人ノ常識ニ明亮ナルモノニアラザルナリ。(4)幸福ナルコトニ就キテ一般ノ觀念ナク、且ツ理性ノ甚ダ幼稚ナル小兒ト雖モ、マタ倫理的判斷ヲナスモノナリ。

マタ倫理ノ規則ガ吾人ノ造構ニ於テ根元的部分トナレルハ、素ト教育ニヨレルモノトシ、特殊ナル行爲ノ倫理ニ關シテ、國民ニヨリテ其意見ニ異同アリトノコトヲ以テ、ソノ有力ナル證明ト考フルモノアリ。サレドモ此説モ、モトヨリ不可ナルヲ免レズ。教育ノ勢力ハ非常ニ莫大ナルモノナルニモセヨ、或ル限界内ニ限りタルモノナリ。教育ナルモノハ其結果ヲ出現セシムベキ天性ノ主義ト共働スルモノナルヲ以テ吾人ニ教育ヲ受クルコトアリトセバ、之ヲ受クベキモノ、先ヅ存在セルコトヲ豫想セザルベカラザルナリ。故ニ美醜等ノ概念モ教育ニヨリテ變北ヲ被ルコトアリ得ベシト雖モ、決シテコレニヨリテ作出セラルベキモノニアラザルナリ。コレ

ト等シク、縱令ヒ特殊ナル所業ニ對スル感覺ニ異變ヲ與フルコトアルニモセヨ、善惡功過等ノ概念ニ至リテハ、モトヨリ之ヲ創出スベカラザルモノナリ。

又國民ニヨリテ倫理上ノ判斷ニ異同アリトノコトニ關シテハ、氏ハ唯ダ次ギノ三種ノ場合ニ在リテハ、モトヨリコレアルベシトイフコトヲ許容シタリ。一ニ曰ハク社會ノ時代ヲ異ニスルニ由リテ、人々ノ境遇ニ異同アルコトナリ。二ニ曰ハク理論上ノ意見ガ種々異様ナルコトナリ。三ニ曰ハク行爲ノ系統ノ異ナルニ由リテ同一ナル所業ト雖モ、其倫理的意義ヲ同シウセザルコトナリ。

氏ハ猶ホ進ミテ異説ヲ排斥シテ、次ギノ如ク曰ヘリ。以上ノ如キ所説ハ屢倫理ナルコトニ興味ヲ有シタル人ニシテ猶ホ之ヲイフコトアリ。ソノ甚シキモノニ至リテハ、德ハ偽善ナリトマア極言スルモノアリ。サレドモ若シ德ト不徳トノ間ニ於テ重要ナル異點ナシトセバ、吾人ハ何が故ニ一方ヲ以テ他方ヨリモ秀絶シ、且ツ有功ナルモノトスルカ、マタ吾人ハ何が故ニ傲慢、我慾等ヲ以テ忠節、友誼等ヨリモ價値ナキモノト考フルコトアルカ、吾人が實際上ナシツ、アルコトニ於テハ何如ナルコトアリトモセヨ、倫理上ノ判別ハモトヨリ確實ニ存在スルモノナリ。之ヲ混同視ス

ルガ如キハ、モトヨリ誤見タルヲ免レザルモノナリ。次ギニ氏ハ倫理的知覺及ヒ倫理的感動ノ分解ヲナセリ。其意ニ曰ハク、吾人ニシテ既ニ倫理的知覺ヲ有スルモノナリトセバ、吾人ハ何如ニシテ正若シクハ邪ナルコトノ概念ヲ構成スルコトヲ得ベキカ。之ヲ知ラントスルニハ、宜シク他人ノナセル善行又ハ惡行ノ傍觀者トナリ、若シクハ自己ノ所業ニ就キテ省察ヲ施スコトアルトキニ於ケル精神ノ情態ヲ分解セザルベカラザルノ必要アルモノトス。吾人ハ、其研究ノ結果トシテ左ノ三種ノコトアルヲ見ルモノナリ。

(一) 正又ハ邪トシテ、所業ノ知覺
 (二) 倫理的感性ニヨリテ異ナリタル快樂又ハ苦痛ノ感動
 (三) 所業ヲ爲セル人ノ功過ノ知覺

此等ノ中氏ハ第一ノモノニ關シテ、古ヨリノ諸説ヲ批評シテ、歸スル所ハ、正邪ノ概念ハ直覺的ナリトスルノ説ヲ贊シ、因果、平等、同一等ト同キ單純ナル觀念ナリトシ、精神ノ原始的能力ニヨリテ構成セラル、モノニシテ、決シテ之ヲ分解シ難キモノナリトナセリ。第二ノモノニ關シテハ、吾人ハ所業ニ就キテハ、知力的判斷ノミヲ

ナスモノナリトスルノ説アリ、又コレニ對シテ、感別ノミヲチヌモノナリトスルノ説アリト雖モ、兎モ角モ善行ノ愛スベク、敬スベク、高尚ニシテ且ツ愉快的ナルニ至リテハ、決シテ否定スベカラザル事實ナリトナセリ。又第三ノモノニ關シテハ、德行ナルモノハ單ニ愉快的ナルニアラズシテ、其所業ヲナセル人ノ功績ヲモ考ヘシムルモノナリ。故ニ此種ノ所業ヲナセル人ハ相當ノ褒賞ヲ受クベキノ倫理的權利アルモノト考ヘシムルモノナリトイヘリ。

次ギニ氏ハ倫理的義務ノコトニ就キテ次ギノ如ク論述セリ。或ル倫理說ニヨルトキハ、倫理的義務ナルモノハ全ク徳ハ神命ニヨリテ命令セラレタルモノナリトノ信仰ノ上ニ立テルモノナリト云フ。サレドモ、斯カル信仰ハ果シテ義務ナルモノヲ起サシムルニ足ルカ。コレニ對スル答辯ハ實ニ左ノ二者ノ一ニ出テザルベシ。

(一) 此世ニ於テハ、倫理上ニ於テ吾人ガ其意志ヲ宇宙ノ創造者タリ、支配者タルモ、彼中ノ人意志ト一致セシムベキ適當ナルコトノ存スルモノナリ。

(二) 自愛ナルモノガ、吾人ヲ導キテ、幸福及ヒ禍難ヲ自由ニスル所ノ神ニヨリテ嘉納セラル、ヲ得セシムルニ必要ナル種々ノ方法ヲ學バシムベキモノナリ。

此等ノ中第一ノ如ク辯スルトキハ循環論トナルベシ。何トナレバ斯クテハ倫理的義務ノ念慮ヲ宗教ノ念慮中ニ入ル、ニ拘ラズ、マタ宗教ノ念慮ヲ倫理的義務ノ念慮中ニ入ル、モノナレバナリ。又第二ノ如ク辯ズルモ、其説ノ誤謬ナルコトヲ明示スベキ結果ニ達スルモノナリ。何トナレバ此説ヨリハ實ニ次キノ如キ断定ヲ下スコトヲ得ベクナレバナリ。

(一) 單ニ現世ノ利益ニ導クモノトシテ徳ヲ見ルノホカ、毫モ來世ニ信用ヲ置カザルコトハ、一切ノ倫理的義務ヲ斷究スルモノナリ。

(二) 又獨立のニシテ完全ニ幸福ナル人ハ、何如ナル倫理的知覺モ、又何如ナル倫理的屬性モ之ヲ有スルコト能ハサルモノナリ。

サレドモ茲ニ一言スベキハ賞罰ナルコトノ觀念、正邪ナルコトノ觀念ヲ豫想スルモノナリ。ゴハ實ニ徳ノ制裁ニシテ、徳ヲ實行セシムベキ附加的動機ナルモノナリ。サレドモ既ニ賞罰ナルコトアリトセバ、コレニ先キダチタル義務ナルコトアルヲ許スモノナルヤ勿論ナラン。

猶ホ一言スベキハ、若シ吾人ノ倫理的義務ガ來世ニ於ケル吾人ノ位置ニ關係ヲ以

テ構成セラル、モノナリトセバ、何如ニシテ來世ノ存在スルコトヲ證明シ得ベキカ。又吾人ハ何如ニシテ何如ナル行爲ガ神ニヨリテ嘉納セラルベキモノナルカヲ發見スルコトヲ得ベキノ予ハ斯クノ如キ世界アリトノ強キ假定ハ其實正邪又ハ功過ニ關シテ吾人ガ天性ヨリ有スル所ノ觀念及ヒ此等ノモノト人事ノ一般ノ進行トヲ比較スルコトヨリ抽出セラレタルモノナリト信ズ。故ニ既ニ正邪ノ判別ヲナシ得ベキ人ハ來世ノコトニ就キテハ全然無知ナルコトアルニモセヨ同時ニ注意セザルベカラザル法典ヲモ有シツハアルモノナリ。從ヒテ何故ニ吾人ハ徳ヲ實行スルノ義務アリヤト問フガ如キハ、モトヨリ不條理ナルコトトス。徳ナルコトノ觀念中ニハ實ニ義務ナルコトノ觀念ヲ包含シツハアルモノナリ。蓋シテ觀念ニ立次キニ氏ハ吾人ノ倫理的能カト、共働シテ行爲ニ影響スル所ノ主義ヲコトヲ論テ、コレニ左ノ四種ノモノアリトナセリ。

(一) 稟性ヲ觀察スルコト(自治克己ヲナシ中庸節制ヲ守ル等ノコト)

(二) 同情 (三) 譏笑ヲ注意スルコト(缺點ヲ補フコト等) (四) 趣好

此等ノホカ、曩キニ論シタル自愛ノ主義ノ如キモ、マタ此目的ニ向ヒテ大勢力アル

モノナリ而シテ若シ此等ノモノガ行爲ノ主要ナル動機トシテ働クコトアルトキハ爲メニ不幸ナル結果ヲ生スルコトアルモノナリサレドモ若シ能ク倫理的能力ニ服從シテ適當ナル位置ヲ保有スルトキハ實ニ徳ノ習慣ヲシテ堅固ナラシムルモノトス

次ギニ氏ハ吾人ガ所業ヲナスニ自由アルコトニ就キテ次ギノ意ヲ辯セリ曰ハク予ガ吾人ノ倫理的造構ニ關シテ以上ノ如キ所説ヲナシハ吾人ハ善惡ノ間ニ立チテ隨意ノ撰擇ヲナスベキ自由ヲ有シタルモノトシテノ想像上ニ立テタルモノナリ且ツ若シ吾人ガ虚心平意ヲ以テ自ラ惡ナリト知レル所業ヲオストキハコト自ラ其身ヲシテ懲罰ヲ受クルニ相當セルモノタラシムルモノナリトコトヲ想像シタルモノトス此種ノ想像ガ吾人ガ普通ニ會得スルニ於テ最モ適當シタルモノナルハモトヨリ費解ヲ要セザルモノナリ從來吾人ガ所業ヲナスコトヲ以テミナ必然的ノモノトシタル論者ナキニアラズト雖モ他ノ論者ハ予ガ所説ヲ全ク同一ナルコトヲ唱フルコトアルモノトス且ツ予ガ所説ノ如クアリタラシムルニ於テ論ガ實際上ニ於タル吾人ノ行爲及ビ幸福上ニ於テ大ナル影響ヲ與フルコトアル

モノナリト

是レヨリ氏ハ第二章ニ進入シテ吾人ノ義務ノ種類ニ就キテ辯明シ先ゾコレニ三種アリトナセリ即チ神ニ對スル義務同胞ニ對スル義務及ビ自己ニ對スル義務是レナリトス

氏ハ神ニ對スル義務ニ就キテハ次ギノ如ク辯明セリ此義務ハ吾人ト宇宙ノ創造者タリ支配者タルモノトノ關係ヨリ生スルモノナルヲ以テ吾人ハ先ヅ自然的宗教ノ主義ヲ調査セザルベカラズ之ヲ調査スルトキハ神ノ存在ヲ許サルベカラズシテ從ヒテ其屬性ヲモ考ヘ又來世アリトコトヲモ考ヘザルヲ得ザルニ至ルモノナリ神ハ實ニ無限ノ秀絶セルコトヲ有スルモノナルヲ以テ吾人ハモトヨリ之ヲ愛敬セザルベカラス之ヲ爲スハ即チ是レ吾人ノ倫理ナルモノナリ神ハ善良ナルモノナルヲ以テ之ヲ良心ニ表ルモノトシテ良心ニ服從スルコトヲナスハ是レマタ神ニ對スル義務ヲ盡スモノトス吾人ガ來世及ビ賞罰ノコトヲ信スルコトハ吾人ヲシテ能ク一切ノ義務ヲ遂行セシムルモノニシテマタ自己ノ意志ヲ抑制シテ平意ヲ以テ神意ニ服從セムコトヲ勉メシムルモノナリ

同胞ニ對スル義務ニ就キテハ、氏ハ之ヲ仁愛正義及ヒ眞實ノ三者ヲ以テ、之ヲ包括セシメ得ベシトシ、此等ノモノニ關シテ左ノ如ク辯ワタリ。

或ル倫理說ニヨレバ、倫理的賞賛ヲ受クベキ直接ノ目的物ハ、唯ダ仁愛ノミニシテ、一切ノ義務ナルモノハミナ社會ノ幸福ヲ獎勵セントスル吾人ノ天性ヨリ生スルモノトナスモノナリ。サレドモ此說ハモトヨリ正當ナルヲ得ザルモノトス。何トナレハ斯クテハ眞實、感謝等ノ如キ義務ノ普通ノ觀念ニ反對スルノミナラズ、若シ社會ノ利益ヲ考ヘントスルカ如キコトアルトキハ、此等ノ義務ノ實行ヲ中止シテ不可ナキニ至ルベク、且ツ又縱令ヒ惡行ヲナスコトアルニモセヨ、コレニ與フヘキ托言アルコトヲ得ベクレバナリ。サレドモ仁愛ナルモノガ重要ナル義務ナルハ勿論ニシテ、之ヲ主要ナル性質トナセル人ハ、其行爲ガミナ完全ニ一樣タルヲ得ルモノナリ。禮數、溫和、親愛、慈仁、忠義等ノ如キミナ此種ノ義務ナリトス。

正義ナル語ハ自己ノ利益又ハ感情ガ關係セル場合ニ於テ、吾人ヲ指導シテ、偏頗ナル考察ニヨリテ妨ケラルハ、コトナク、自ラ正當ニ決定シテ動作ヲナサシムル所ノ氣質ヲ指示スルモノナリ。而シテ此正義ノ氣質ナルモノハ、人生ニ於テ左ノ二様ニ

發表スルモノトス。

(一) 正直(氣象又ハ情慾ノ偏頗ナルコトヲ抑制スルコト)

(二) 無我(自己ノ利益ニ關シテ公正ナルコトヲ守ルコト)

眞實ナル義務ハ其結果ニヨリテ、社會的義務トシテ其位置ヲ保有スルガ如ク見ユルモノナリ。サレドモ功利ノ考察ナルモノハ、決シテ吾人ガ此德ヲ賞賛スル唯一ノ基礎ヲナスモノニアラズ、即チ縱令ヒ結果ノ考慮ヲ除去スルコトアルニモセヨ、誠實及ヒ公明ノ如キハ、實ニ喜ブ可ク愛ス可キコトノ性ヲ存スルモノニシテ、其反對ノモノニ在リテハ決シテ然ルコトヲ得ザルモノトス。是レ眞實ナルコトガ天性ノ主義トシテ吾人ニ存在スル所以ナルニハアラザルカ。

次キニ氏ハ自己ニ對スル義務ニ就キテ、自愛ノ主義即チ幸福ノ願望ハ、理性的ニシテ且ツ感覺的ナル吾人ニ取リテハ、モトヨリ離ルベカラザルモノニシテ、從ヒテ其自身ニ於テハ褒貶、賞毀ノ目的物ニアラズトシテ、詳細ニ幸福ノコトニ就キテ辯陳シタリ。

氏ハ先ヅ昔時ヨリノ幸福ニ關スル所說ヲ舉ゲ、一般ニ幸福ヲ求ムルニ當リテハ、能

ク徳義ニ注意スベキモノトシタルコトヲ述ベ、猶ホ進ミテ幸福ヲ享クルコトニ影響スベキ左ノ四條件ニ就キテ其説明ヲ與ヘタリ。今ハ唯ダ其條件ノミヲ示サン。

一ニ曰ハク、氣質ナリ。ソノ何如ニヨリテ幸福ヲ享クルコトニ異同アルベキハ、モトヨリ明白ナリ。二ニ曰ハク、想像ナリ。實際ト相違セル希望又ハ憂苦ヲ有スルトキハ、幸福ヲ享クルコトニ於テ大ニ影響スルコトアルヤ、勿論ナリ。三ニ曰ハク、意見ナリ。幸福ニ關スル意見ノ異同ニヨリテ之ヲ享クルコトニ於テ、マダ異同アルヲ免レザルナリ。四ニ曰ハク、習慣ナリ。境遇ニヨリテ幸福ヲ感スルノ度ニ變化ヲ與フルヤ、モトヨリ大ナリトス。

以上ハ種々ナル快樂ノ基礎ヲナスニ必要ナル精神一般ノ情態ヲ構成スベキ條件ヲ説キタルモノナリ。サレドモ、各個人ヲ享クベキ幸福ナルモノハ、其天性ニ適シタル種々ノ快樂ヲ享ク得ベキ度ニ從ヒテ變化スベキモノタルヤ、モトヨリ論ナシ。而シテ今此等ノ快樂ヲ考フレバ、實ニ次ギノ如キモノナルヲ發見スルモノトス。一ニ曰ハク、活動及ヒ靜安ノ快樂ナリ。二ニ曰ハク、五官ノ快樂ナリ。三ニ曰ハク、想像ノ快樂ナリ。四ニ曰ハク、悟性ノ快樂ナリ。五ニ曰ハク、愛情ノ快樂ナリ。(氏ハ此等ノモノニ

就キテ猶ホ説述セル所アリト雖モ、今茲ニ講ズルヲ要セザルベシ。其説述ヲキテ是レヨリ氏ハ倫理上ニ於テ賞賛スルモノニ關スル種々ノ異説ニ就キテ論辯シ、一切ノ義務ヲ自愛、恩惠正義又ハ神意ニ服從スル氣質等ノ一主義ヨリ抽出セントスルガ如キ所説ハ前述セル所ニヨリテ、ソノ事實ニ適セザルモノナルヲ知ルベシトシ、進ミテ猶ホ徳ノコトニ就キテ左ノ如キ意義ノ陳述ヲナセリ。

種々ノ義務ハ一個ノ共通ナル性質ヲ有セリ。即チ合理的ニシテ有意的ナル人ニ取リテ義務的ニ感セラル、モノニシテ、ミナ同一ノ權威即チ良心ニヨリテ命令セラ、ル、モノナリ。故ニ義務トハ適當ニ徳ト稱ス、キ、法典或ハ自然ノ倫理的、法典ノ個條ニ外ナラズトオフベキナリ。サレトモ徳ナル語ハ、マタ性質ノ倫理的ニ秀絶セルコトニモ使用セラル、モノナリ。故ニ正、不正、徳、不徳ナルコトハ時トシテハ外部ノ所業ニ適用セラレ、又時トシテハ所業者ノ意思ニ關係スルモノトス。茲ニ於テヤ、吾人ハ絕對的、正ト相對的、正トヲ區別スルノ必要アルモノナリ。絕對的、正トハ、能シ理性ニヨリテ支配セラレタル完全ニ善良ナル意思ヲ以テ境遇ニ適合シタル所業ヲナスモノ、即チ是レナリ。相對的、正トハ、必ズシモ能ク境遇ニ適合セザルニモセ

ヨ、眞ニ善良ナル意思ヲ以テ所業ヲナスモノ、即チ是レナリ。吾人ガ所業者、倫理的
 功動ヲ決定スルハ、實ニソノ相對的ニ正ナルノ點ニ在リ、サレドモ社會ノ功利ナル
 ロトヲ決定スルハ、ソノ絕對的ニ正ナルノ點ニ在リトス。サレバ若シ功利ナルコト
 ガ徳ノ性質トナレルトキハ、相對的正ガ絕對的正ト全ク符合スルコトアルモノト
 知ルベキナリ。

義務ノ強キ感情ハ、吾人ヲシテ絕對的正ノ規則ニ適合セシメンガ爲メニ、十分ノ能
 力又ハ智識ヲ使用セシムルモノナリ。故ニ此場合ニ於テ失敗スルコトアルトキハ、
 其懈怠ハ一種ノ有罪タルヲ免レザルモノトス。サレドモ個々ノ場合ニ於テハ、唯ダ
 其時自身ニ正ナリト見ユルモノヲナスコト、實ニ吾人ノ義務ナルモノニシテ、コレ
 ガ爲メニハ何タル非難ヲモ受クベキノ理ナシトス。サレドモ若シ過誤アルニ當リ
 テ、之ヲ改ムベキ智力アルニモ拘ラズ、之ヲ繼行スルガ如キコトアルトキハ、モトヨ
 リ非難ノ興起スルヲ避ケ難キモノナリ。サレバ所業ハ、綜合ト其外形上ニ於テハ正
 ナルニモセヨ、其所業者ヨリ見レバ必ズシモ倫理的功動アルモノトスベカラザル
 モイアラ、即チ義務ノ念慮ヨリナサレタル所業ニアラズ、ハ決シテ此功動ナキモ

ト知ルベシ。故ニ倫理上ニ於テ賞賛スル目的物ニハ必然的ニ此感覺ト同伴スル
 モトナラザルニカカラザルモノトス。

次ギニ氏ハ倫理ノ實行ニ於ケル理性ノ功用ニ就キテ論辯シ、以テ本篇ヲ完結シタ
 矣。其意ニ曰ハク、義務ノ強キ感情ハ、吾人ヲシテソノ一切ノ能力ヲ使用セシメント
 スルモノナルコトハ、前既ニ述ベタルガ如シ。從ヒテ倫理上ニ於テ理性ノ作用ヲ要
 スベキ場合アルヤ、勿論ナリトス。而シテコレニ三個ノ場合アリ。即チ左ノ如シ。

(一)吾人ノ倫理的判斷及ヒ感情ガ教育ニヨリテ屈撓又ハ轉覆セラルベキコト
 疑ハルベキ基礎アルトキ。

(二)行爲ノ精確ナル性質ヲ明判シ難キガ如ク種々ノ義務ガ相交渉スルコトアル
 トキ。

(三)吾人ガ義務ノ念慮ヨリ求メントスル所ノ目的ガ撰擇及ヒ細心ヲ要スベキ方
 法ニヨリテ成就セラルベキガ如クアルトキ。

以上ヲ以テ氏ガ所説ノ大要トス。其詳細ノ如キハ、能動的及倫理的能力之哲理等ニ
 記述セル所ヲ紹介シテ、明白ナルヲ得ベシト雖モ、茲ニハ之ニ及ハザルニ由リ

概説 氏ハ吾人ノ能動的能力ヲ分類シテ、コレニ性慾、願望、愛情、自愛、及ヒ倫理的
 能力ノ五種アリトシ、前三者ヲ以テ生得ナル性向アリトシ、後二者ヲ以テ所業、合
 理的主義ナリトシ、特ニ倫理的能力ニ就キテ辯論シテ、決シテ教育等ニヨリテ構成
 セラレタルモノニアラズシテ、唯ダコレニヨリテ多少ノ變更ヲ受ク得ルニ過キザ
 ルモノトシ、善惡ニ關スル判斷ハ、境遇ニヨリテ異同アルコトヲ免レザルニモセヨ
 其判斷力ノ根本ハ吾人中ニ在リテ、決シテ他物ノ作出シ得ベキモノニアラズトナ
 セリ。次ギニ倫理的智覺ノ分解ヲナシテ、正又ハ邪トシテノ所業ノ智覺、及ヒ倫理的
 感性ニヨリテ異ナリタル快樂又ハ苦痛ノ感動、并ビニ所業ヲ爲セル人ノ功過ノ智
 覺アリトシ、正邪ノ概念ハ、單純ナル觀念ニシテ、直覺的ノモノナルコトヲ許セリ。次
 ギニ倫理的義務ノコトヲ論ジテ、宗教上ノ考慮ヨリ來ルニアラズシテ、吾人が正邪
 又ハ功過ニ關シテ天性ヨリ有スル所ノ觀念ナリトシ、徳ナル觀念中ニハ義務ナル
 觀念ガ包含セラレ、ツ、エ、ル、モ、ノ、ナ、リ、ト、ナ、セ、リ、進、ミ、テ、吾、人、ノ、倫、理、的、能、力、ト、共、働、シ
 テ行爲ニ影響スル所ノ主義ヲ論ジテ、コレニ稟性ヲ觀察スルコト、同情、譏笑ヲ注意
 スルコト、及ヒ趣好ノ四種アリトシ、自愛ノ主義モマタ此目的ニ向ヒテ大勢力アル

モノトシ、猶ホ進ミテ吾人ニ自由アルコトヲ説キテ、之ヲ許スヲ以テ最モ穩當ニシ
 テ、且ツ實際上ニ有益ナルモノト論斷シタリ、是レヨリ氏ハ義務ノ種類ニ論入シテ、
 神ニ對スルモノ、同胞ニ對スルモノ、自己ニ對スルモノ、三種トナシ、ミナコレカ説
 明ヲ施シ、一切ノ義務ヲ自愛、仁愛、正義、又ハ神意ニ服従スル氣質等ノ一主義ヨリ抽
 出セントスル所説ノ如キハ、全ク事實ニ適セザル僻説ナルコトヲ辯シタリ。次ギニ
 徳ノコトニ關シテ、吾人が所業者ノ倫理的功動ヲ決定スルハ、其所業ガ必ズシモ能
 ク境遇ニ適合セザルニモセヨ、兎モ角モ眞ニ善良ナル意思ヲ以テ、所業ヲナスノ點
 ニ在リトシ、從ヒテ所業ハ、縱令ヒ外形上ニ於テ正ナルニモセヨ、義務ノ念慮ヨリナ
 サレタルモノニアラズンバ、此功動ナキモノトナスベシトノコトヲ論シタリ。是レ
 ヲリ進ミテ義務ノ強キ感情ハ、吾人ヲシテ一切ノ能力ヲ使用セシメントスルモノ
 トシ、從ヒテ種々ノ場合ニ於テ理性ノ作用ヲ要スル所以ヲ説キ、以テ其所説ヲ結了
 シタリ。要スルニ、氏ハ正邪ハ、吾人が直覺シ得ベキモノトシ、所業ノ倫理的價值ハ、所
 業者ノ意思ニヨルモノトシタルモノニシテ、其他ノ點ニ於テモ、勉メテ普通ノ見解
 ヲ採用シテ、其所説ヲ構成シタルモノナリ。

直覺派ノ所説ハ其大躰ニ就キテハ特ニ論難スベキモノナシ故ニ爾後ノ批評欄ハ
 ミナ單簡ヨ一ニ言ヲ附スルニ止マルモノト知ルヘシ。然レモ、直覺論者ノ所説ハ、
 氏ガ正邪ノ觀念ハ直覺的ナリトシ又所業ハ之ヲナス人ノ意思如何ニヨリテ倫理
 的價值ニ相違アルモノトシタルガ如キハ普通人一般ノ之ヲ是認シツ、アルノミ
 ナラズ他派ノ倫理學者ト雖モ必ズシモ之ヲ非難シ去ルコトヲ得ザルモノナリ。吾
 人ガ日常正邪ヲ直覺シツ、アルハ實ニ争フベカラザル正確ナル事實ニシテモト
 ヨリ何人ト雖モ此現象ヲ否認スルコト能ハザルモノナリ。縱令ヒ此現象ノ原始的
 情態ニシテ今日ノ情態ノ如クアル能ハザリシニモモヨ、現時明ニ此事實ノ存在セ
 ルコトニ至リテハ狂愚者ニアラザルヨリハ之ヲ認定シ難シトノ嘆語ヲ發スルモ
 ノアルベカラザルナリ。又所業ノ倫理的價值ハ之ヲナス人ノ意思如何ニヨリテ決
 定セラル、モノナルコト、マタ事實ノ明證スル所ナリ。縱令ヒ偶然ノ所業ガ他人ノ
 利益トナルガ如キコトアリトストモ誰カ之ヲ以テ倫理的行為ナリト賞揚スルモ
 ノアラシヤ他物ノ壓制ニヨリテ餘儀ナク人命ヲ救助スルコトアルガ如キモ誰カ

其所業ガ單ニ器械的ト稱スベキニ止マルモノナルヲ認メサルモノアラシヤ。又惡
 意ヲ以テナセル所業ノ如キハ縱令ヒ其結果ガ善意ヲ以テナセルモノト同一ナル
 ガ如キコトアリトストモ誰カ之ヲ倫理上ニ於テモ同一ナル價值アルモノト誤認
 スルモノアラシヤ。知ル、バシ、吾人カ倫理上ニ於テ所業ノ價值ヲ考フルハ實ニ重キ
 ヲ其意思ノ如何ニ置クモノナルコトヲ功利論者ノ如キハ一般ニ此説ニ異ナリ。重
 キヲ結果ニ置キテ所業ヲ判斷セントスルモノナリト雖モ、スチユアルド、ミル氏ニ
 在リテハ直覺論者ノ攻撃ニ答ヘンガ爲メニ其著「功利教」中(第二十七頁ノ註)ニ於テ
 「所業ノ倫理的ナルト否トハ全ク意思ノ如何ニヨルモノナリ。即チ所業者ガ爲ザン
 ト欲スルコトノ如何ニヨルモノナリ」ト明言セザルベカラザルニ至レリ。以テ所業
 ノ倫理的價值ハ大ニ所業者ノ意思如何ニヨリテ決定セラル、モノトイフノ愈、適
 當ナルニトヲ見ルベキナリ。
 以上ノ如クナルヲ以テ氏ガ正邪ノ觀念ハ直覺的ナリト説キ、所業ハ之ヲナス人ノ
 意思如何ニヨリテ倫理的價值ニ相違アルモノト論シタルガ如キハ、氏ノ創見ニア
 ラザルコト万々ナリト雖モ、氏ガ此説ヲ採用シタルモノ、モトヨリ其當ヲ得タルモ

倫 理 學

ノトイフベシ。
 氏が自由意志論ヲ採用シタルモ、マタモトヨリ穩當ナリト信ズ、強ヒテ「自由」ナル語ニ拘泥シテ此說ヲ非難シ、以テ必至論ヲ立テントスルカ如キハ、予ト雖モ、之ヲ爲シ得ベカラサルニアラスト雖モ、斯クノ如キハ、徒ニ無用ノ論辯ヲナスニ過ギズシテ、マタ故ニ他事ノ説明ヲ困難ナラシムルノ結果ヲ生スルニ外ナラザルモノトナルベシ。抑モ意思ノ自由ナリト稱スルハ、天下ノ事物ガミナ因果ノ關係ニヨリテ規定セラレツ、アルニモ拘ラズ、意志ノミ全然此關係ヲ滅却シテ、自由自在ニ忽焉トシテ毫モ原由スル所ナキ作用ヲナシ得ベシトイフニアラズ。唯タ爲シ得ベキ數多ノ事件ガ相會集存在スルコトアルニ當リ、其間ニ立チテ自ラ撰擇ヲナスノ自由アルコトトイフニ過ギザルナリ、此說ノ如キモ、學者ニヨリテ多少其意見ヲ異ニスルヲ免レズト雖モ、其主意ニ至リテハ實ニ此外ニ出デザルモノナリ。若シ果シテ然リトセシカ、コハモトヨリ事實ノ明證スル所ニシテ、吾人ハ之ヲ認識セザラント欲シテ、而モ能ハザル所ノ眞理ナルニアラザルカ、氏が此說ヲ奉セシモノ、予ハモトヨリ之ノ非難スベキノ點アルヲ見ズ。

倫 理 學

氏が神ノ存在ヲ許シ、之ヲ敬愛スルヲ以テ吾人ノ義務ナリトシタルガ如キハ、本邦人ノ如キモノヨリシテ之ヲ見レバ必ズシモ即時ニ首肯スベキモノトイフヲ得ザルコトヲ免レズト雖モ、西人ニ在リテハ有神說ヲ信奉スルモノモトヨリ一般ナルヲ以テ、氏が此種ノ義務アリトシタルハ、必ズシモ毫モ奇怪ナリトスルニ足ラザルベシ。サレドモ神ノ存否及ビ其屬性ノ如何ニ關シテハ、大ニ其學說ニ異同アルヲ以テ、之ニ對スル義務ナルモノ、如キモノ、ソノ信奉スル所說ノ如何ニヨリテ自ラ其存否ノ決定セラルベキモノナルハ、モトヨリ論外ナリ。然ルニ氏が此種ノ說ヲナセルモノ是レ唯ダ西人ノ如キ有神論者ノ爲メニ實行上ノ點ヲ主トシタルガ爲メナルニ過ギザルベキナリ、必ズシモ深ク之ヲ論議スルノ要ナカルベシト考フ。
 氏ノ倫理說ハ一般ニ之ヲ論ズレバ、頗ル穩當ナル所說ニシテ、毫モ偏僻、奇怪ナルノ點ヲ見ズ、眞ニ常識哲學者ノ言辭タルコトヲ明示シツ、アルモノナリ。サレドモンノ常識ニ訴ヘテ、普通ノ見解ヲ採用スルヲ勉ムルノ結果トシテ、何事ニ關シテモ多クハ事實上ニ於テ明白ナル現時ノ情態ニノミ就キテ論述スルヲ事トシ、コレヨリ推論シテ、其原始的情態ハ何如ナルモノナリシカ、又、何如ナル發達變化ヲナシ來リ

テ今日ノ情態ヲナシツ、アルモノナリヤ等ノコトニ至リテハ、毫モ之ヲ論究センコトヲ企圖セザリシモノナルヲ見ル。サレドモ吾人ノ希望スル所ハ、苟モ學者タルモノハ、爲シ得ベキ限りノ精確緻密ナル研究ヲ遂ク、其結果トシテ吾人ニ與フルニ事物ノ真正ナル智識ヲ以テセンコトヲ勉メラレンコトニ在リ。此希望ニシテ必スシモ適當ナルニアラズトセバ、氏ノ所説ノ如キハ、モトヨリ誤謬トシテ擯斥スルニ足ルモノナシトストモ、ソノ不満足ノコトアルニ至リテハ、必ズシモ其非難ヲ免ルハ、コトヲ得ベカラザルベシ。

第一節 ヘルバルト氏

其一 傳記

氏ハ名ヲヨハン・フリードリッヒ (Johann Friedrich) ト呼ビ、千七百七十六年五月ヲ以テ獨逸ノオルデンブルク (Oldenburg) ニ生レタリ。父ハ裁判所ノ評議官ニシテ、氏ノ幼ナルヤ、家ニ於テ其薰陶ニ注意シタリト云フ。氏ハ少ウシテ既ニ哲學上ノ思想ヲ有セリ。故ニソノ小學ニ在ルノ日ニ當リテモ、既ニカント氏等ノ書ヲ讀ムヲ樂メリト云フ。後日氏ガカント派ノ一人トシテ世ニ現

レシモノ、實ニ此時ニ胚胎セリトイフベシ。

千七百九十四年氏ハエナノ大學に進入シテ、フヒテト氏ニ就キテ智識論ノ講義ヲ聽クニ至レリ。サレドモ氏ハ其師説ノ必ズシモ敬服スベキモノニアラザルヲ發見シ、之ヲ排斥シテ自家ノ所説ヲ創立センコトヲ企ツルニ至レリ。

千七百九十七年ニ至リ氏ハ遂ニ大學ヲ退キ、ソレヨリ三年間、或ル瑞西人ノ家ニ於テ私教師トシテ其生ヲ送リタリシナリ。氏ガ有名ナル教育學者トナルニ至リシハ、此間當時無雙ノ教育家タリシペスタロッチ (Pestalozzi) ノ知己ヲ得タルニ原由スル所少カラザリシナリ。

千八百年ニ至リ、氏ハ遂ニ歸國ノ途ニ就キ、エナ及ビゴッツチンゲン等ヲ經過セシガ、千八百二年ニ至ルマデ多クハブレーマン (Bremen) ニ在留シタリシナリ。然ルニ同年十月ゴッツチンゲン大學ノ哲學教師タルノ位置ヲ得ルニ至リ、越エテ三年、即チ千八百五年ヨリ同校哲學科ノ講坐ヲ擔任スルニ至レリ。

然ルニ千八百九年氏ハウハルム、フォン、フムボルト (Wilhelm von Humboldt) ノ招聘ニ應ヂテ、ゴッツチンゲンヲ辭シテ、コーニッヒスベルク (Königsberg) ノ大學ニ轉任シ、

マタ哲學科ノ講坐ヲ擔任スルニ至レリ。此位置ハ嘗テカント氏が長ラク保有シタルモノナリシガ、氏モ茲ニ在リシコト十有四年ノ久シキニ亘リタリ、氏が教育學ヲ創立シ、コレガ演習等ヲ行ヒシハ、實ニ此間ニ在リキト云フ。

千八百三十三年ニ至リ、氏ハ再ヒゴettingenニ轉任シ、其死(千八百四十一年八月)ニ至ルマデ同校ノ名目講師ノ位置ヲ有シ、且ツ學位授與ノ評議官タリシナリ。

氏ノ著書ハ十二卷アリ。弟子ハルテンスタイン (Hartenstein) ノライプツヒ (Leipzig) ニ於テ出版セシモノニ係ル。倫理ニ關シタル書ハ「自然之權利及道德之分解的研究」(Analytische Beleuchtung des Naturrechts und der Moral) 及「普通倫理學」(Allgemeine Praktische Philosophie) 等ニシテ猶ホ倫理ニ關スル諸論文アリ。

氏ハ哲學ニ於テハ自ラカント派ナルコトヲ許セリ。サレドモ全然同一ナルニアラザルヲ以テ、自ラ千八百二十八年ノカント派ナリトイヒシコトアリ。フイヒテーシエリング等ノ諸氏ト抗論シテ一方ニ旗幟ヲ立テタル大家ナリ。倫理說ニ於テハ、常識的直覺說ニシテ、正邪善惡ハ吾人ノ必ズ直感シ得ルモノトナシ、ニ在リ。當時本邦ニ於テ教育學者ノ泰斗トシテ尊崇シツ、アルハ、實ニ此人ナリ。

其二 倫理說

氏ノ倫理說ハ傳記中ニ記載セシ書中ニ在リ。今ハコレニヨリテ單ニ其要點ノミヲ摘舉シ、極メテ簡略ニ其所說ヲ紹介スルニ止メント欲ス。

氏ハ倫理學ヲ以テ美學ノ一部トナシ、詩歌、彫刻、音樂等ノモノト同伍スベキモノトシタルモノナリ。故ニ氏ハ之ヲ哲學ヨリ抽出シ來ラントスル所說ニ反對シ、又功利主義ニ基ケル倫理說ヲ駁撃シ、以テ一種ノ直覺論者トシテ世ニ出現シタルモノナリ。其意ニ曰ハク、吾人ハ美學ニ於テ物件ノ快不快ニ就キテ判斷シ、コレニヨリテ此等ノ物件ヲ呼ブニ美或ハ醜ナル名稱ヲ以テスルモノナリ。今吾人が此等ノ判斷ヲナシ得ル所ノ主義ヲ考フルニ、決シテ外界ニ存スル他ノ主義ヨリ抽出シ得ラルベキモノニアラスシテ、吾人ノ精神ノ先天的ナル造構中ニ存在スルモノナルヲ發見スルモノトス。斯クノ如クナルヲ以テ美學ノ目的ナルモノハ、唯ダ次ギノコトニ外ナラサルヲ見ルベシ。即チ吾人ヲ喜バシメ、爲メニ其賞賛ヲ起サシムル所ノ一切ノ單純ナル形式的ノ關係ヲ蒐集スルコト、實ニ是レナリ。斯クノ如クシタラズニハ、此等ノ關係ガ物件ノ美ガ從屬スル根本的ナル事情ヲ供給スヘキモノナリト。

以上ハ唯ダ美學ニ就キテノ説明ナリト雖モ、倫理學ニ就キテモ、マダコレト同様ナルコトヲ言フヲ得ヘシ。倫理學ニ於テハ、吾人ハ物件ノ美ヲ判斷スルニアラスシテ、所業ノ美ヲ判斷スルモノナリ。抑モ意志間ノ關係ナルモノハ、人ノ所業ニヨリテ決定且ツ變更セラル、モノナリ。然ルニ此等ノ關係及ビ之ヲ發生セシムル所業中ニ於テハ、吾人ヲ快ナラシムルモノ及ビ、不快ナラシムルモノ、二種ノ別アルヲ發見スルモノナリ。而シテソノ快及ビ不快ナルモノハ吾人ニ取リテハ瞬速的ニ且ツ直覺的ニ明亮ナルモノニシテ、吾人ハ各關係ノ吾人ニ表示セラル、ヤ否ヤ直チニ之ヲ好惡シ以テ、其價值ヲ計算スルコトヲ得ルモノトス。故ニ善惡ノ標準ハ吾人ニ生來ナルモノニシテ精神ノ生得ナル造構中ニ存スルモノナリ。斯クノ如クナルヲ以テ、倫理學ノ目的ハ、マダ次ギノ如キコトニ外ナラザルヲ見ルベシ。即チ吾人ノ倫理的覺が賞賛スル所ノ此種ノ根本的關係ヲ悉ク發見蒐集スルコト、實ニ斯學ノ目的ナルヲ見ルベキナリ。斯クノ如クシタランニハ、此等ノ關係ガ倫理上ノ美カ如何ナル根本的事情ノ下ニ從屬スルカヲ明示スルモノトス。

氏ハ猶ホ進ミテ、次ギノ如ク辯セリ。抑モ倫理ナルモノハ、一種ノ調和ニ外ナラズシ

テ、實ニ概念及ビ實物ノ間ニ於ケル調和ニ於テ發見セラルベキモノナリ。然ルニソノ一般ノ概念ナルモノハ、素ト抽象的ノモノニシテ、大ニ定限的ナルコトヲ缺クヲ以テ、到底倫理的秀絶ノ程度ヲ明示スルガ如キコト能ハザルモノナリ。故ニ吾人ハ實物ニ就キテ考慮シ、之ヲ一般ノ概念ト比較シ、始メテ能ク之ヲ發見スルヲ得ベキモノトス。斯クノ如クナルヲ以テ、意志ト概念トノ間ニ於ケル調和若シクハ不調和ナルモノガ、倫理的所業ノ終局的ナル查定ヲナスモノト知ルベキナリ。

是レヨリシテ、氏ハ吾人ニ五個ノ單純ナル倫理的觀念アルコトヲ説キ、ミナ無條件ニ正確ナルモノトシタリ。即チ左ノ如シ。

一ニ曰ハク内部ノ自由ノ觀念ナリ。此觀念ハ倫理上ノ美ナルコトニハ、是非トモ缺クベカラサル所ノ形式的ナル事情ニ過ギズ、吾人が自ラ其意志ヲ實行のナル觀念ト一致セシムルトキハ、快ニシテ、背馳セシムルトキハ、不快ナルモノナリ。

二ニ曰ハク完全ノ觀念ナリ。是レマタ形式的ナル事情ナリ。強力外延及ビ集中力ノ廣大ナルモノハ、即チ完全ナル意志ニシテ、吾人ヲシテ快ナラシムルモノトス。

三ニ曰ハク恩惠ノ觀念ナリ。種々ノ意志間ニ於ケル單純ナル關係ハ、吾人が倫理上

ニ於テ賞賛スベキ問題トナルモノナルコトハ、前既ニ説キタルガ如シ。故ニ今吾人が自己ノ意志ト他人ノ意志(ソノ現ニ存在スルト否トハ暫ク措キ、兎モ角モコレアリト考ヘラレ得ルモノト)ノ間ニ於ケル關係ヲ考フルトキハ、茲ニ二個ノ場合アルコトヲ見ルベシ。即チ他人ノ意志ヲ満足セシムルヲ以テ自己ノ意志ノ目的トナスコト、及ビコレト反對ニ自己ノ意志ヲ以テ他人ノ意志ニ逆フコト、是レナリ。一方ハ吾人ヲ快ナラシムルモノニシテ、即チ恩惠ナル觀念ヲ生シ、他方ハ吾人ヲ不快ナラシムルモノニシテ、即チ惡意ナル觀念ヲ生スルモノトス。而シテコレノ恩惠ナル觀念ガ表示スル所ノ關係ハ一切ノ倫理的關係中最モ明晰ニ倫理的ナル性質ノ價值ヲ指示スルナリ。基督教ニ於テ倫理上ノ根本的理想トナセル愛ナルモノハ、實ニ此觀念ニ外ナラザルナリ。

四ニ曰ハク、正義ノ觀念ナリ。是レマダ自己ノ意志ト他人ノ意志(恩惠ノ場合ノ如ク自己ノ意志ニ對シテ常ニ現實スルモノト假定シタルモノト)ノ關係ヨリ起ルモノナリ。若シ二者ノ意志ガ現ニ相衝突スルトキハ、茲ニ爭鬪ト稱スル所ノ吾人ヲ不快ナラシムル關係ノ生スルモノナリ。此爭鬪ヲ避ケンガ爲メニハ、吾人ハ相互ニ、幾分

タリトモ、自己ノ要求ヲ減少シテ、他人ニヨリテ其他ノ部分ヲ取ルヲ是認セラル、ガ如ク、讓與ヲナスノ必要アルモノトス。吾人が此種ノ事ヲナスハ、是レ實ニ正義ノ觀念ガ吾人ニ要求スルガ爲メニシテ、世間ノ法律ナルモノハ、實ニ此事ヲ強行セんと企テツ、アルモノナリ。

五ニ曰ハク、返報ノ觀念ナリ。若シ吾人が正義ノ觀念ノ要求ヲ重シゼズシテ、他人ノ意志ヲ損害スルガ如キコトアリトセバ、茲ニ吾人ヲシテ不快ナラシムル擾亂ナルモノヲ發生セシムルモノナリ。此擾亂ヲ拒セシムルガ爲メニハ、是非トモ刑罰ヲナスノ必要アルモノニシテ、其刑罰ノ程度ハ、モトヨリ其所業ガ生シタル擾亂ノ大小ニ比例的タルベキナリ。是レ即チ返報ノ觀念ナルモノガ吾人ニ要求スル所トス。彼ノ恩惠的所業ト雖モ、ソノ正實的ナル價值ヲ除キテ、單ニ外部ノ結果ノミヲ考ヘタラシニハ、マダ吾人が願望スル一切ノ意志ノ平準ヲ擾亂スルモノト見ルヲ得ベキナリ。故ニ此擾亂モマダコレニ比例シタル反對ノ所業ヲ以テ其權衡ヲ保タシメザルベカラズ。即チ此場合ニ於テハ、褒賞ヲ以テコレガ權衡ヲ保タシムルヲ正當トス。斯クノ如クナルヲ以テ、刑罰及ビ褒賞ノ二者ハ、實ニ返報ノ觀念ノ兩側ヲナシツ、ア

ルモノトイフベシ。
 以上ヲ以テ五個ノ倫理的觀念トス。此等ノモノハ決シテ他ノ一層高尚ナル一個ノ
 根本的觀念ヨリ抽出シ得ラル、ガ如キモノニアラス。又縱令ヒ斯クノ如キコトヲ
 ナスコトアルニモセヨ、倫理上ニ於テハ何ノ得ル所モナク、全ク無用ナル事ト知ル
 ベキナリ。

此等五個ノ觀念ハ相互ニ補充シツ、アルモノニシテ、吾人が徳ト稱シツ、アルモ
 ノハ、實ニ此等ノモノガ全ク合一シタルモノヲ指スモノトス。故ニ有徳家トモ稱ス
 ベキ人ハ前ニ説キタルガ如キ一切ノ秀絶セルコトカ、其行爲ノ永久ナル習慣ト連
 結シツ、アルモノヲイフニ在リ。反言スレバ、此種ノ人ノ行爲ハ、此等五個ノ實行的
 觀念ニヨリテ絶エズ調整セラレツ、アルモノト知ルベシ。吾人ヲシテ斯クノ如キ
 情態ナル性質ヲ養成セシメントスルハ、是レ實ニ教育學ナルモノ、責務トス。
 斯クノ如クナルヲ以テ、以上述べタルガ如キ五個ノ觀念ハ吾人ノ意志ガ一致スル
 コトナカルベカラザルモノニシテ、實ニ行爲ノ調整主義トナレルモノナリ。サレド
 モ此等ノモノハ決シテカント氏ノ説ケルガ如ク吾人ノ意志ニ對シテ無上太法ト

云フガ如キ絶對的ナル勢力ヲ以テ働クモノニアラズ、意志ナルモノハ、此等ノ倫理
 的觀念ノ權威ニ服從セザルベカラザルガ如ク、羈縛セラル、モノニアラズ。故ニ氏
 ガ説ケルガ如キ義務ノ概念ハ倫理學ニ於テハ、全ク其位置ノ占ムベキ所ナシトス。
 吾人ハ實ニ直接ニシテ、決シテ廢除スベカラザル合意ヲ以テ實行的觀念ノ倫理的
 ニ秀絶セルコトヲ認ムルモノナリ。コハ吾人が根本的ナル美術的觀念ノ美術的ニ
 秀絶セルコトヲ知ルト正ニ同一ナルモノトス。サレバ若シ此等ノ觀念ノ勢力ニシ
 テ十分強盛ナリシナランニハ、爲メニ意志ヲ決定スルコトアルベシト雖モ、苟モ然
 ラザランカ、モトヨリ之ヲ決定スルコトコレナキモノトス。斯クノ如クナルヲ以テ、
 決シテ當ニ斯クアルベシトイフガ如キコトアリテ、意志ヲシテ無條件ニ此等ノ實
 行的觀念ノ權威ニ服從セシムルガ如キコトヲナスモノニアラザルナリ。

猶ホ氏ハカント氏ガ理性ニヨリテ始メテ倫理的主義ヲ認識ストナシ、ニ反對シ
 テ、コハモトヨリ過誤タルヲ免レズ、倫理的主義ハ、前已ニ説ケルガ如ク、倫理的感
 ニヨリテ直覺セラル、モノナリト論ツ、又氏ハ意志ノコトニ就キテ、之ヲ自由ナリ
 トスルヲ不可トシ、智識又ハ他ノ衝動ニヨリテ決定セラル、モノトシ、眞ニ自由ナ

リトイフベキハ、單ニ智識ノミナリト論ヲタリ、氏ガ哲學的倫理說ニ對シ、又ハ功利
 的倫理說ニ對シテ異論ヲ唱ヘタルハ、一般ノ反對者ガ唱フル所ト特ニ相違シタル
 モノニアラザリシナリ、故ニ今此等ノ詳說ニ及バザルベシ。

以上ヲ以テ氏ノ倫理說ノ畧ノ畧ナルモノトス。

概說

氏ハ倫理學ヲ以テ美學ノ一部トシ、美學ニ於テ物件ノ美ヲ研究スルト同
 一ノ方法ヲ以テ、所業ノ美ヲ研究スルモノトシ、意志間ノ關係中ニ吾人ヲ喜バシム
 ルモノト然ラザルモノトノ存スルモノトシ、之ヲ以テ吾人ニ瞬速的ニ直覺的ニ明
 亮ナルモノトシ、從ヒテ正邪善惡ノ標準ハ精神ノ生得ナル造構中ニ存スルモノト
 シタルナリ、次ギニ氏ハ倫理ハ倫理的ナル概念ト意志トノ調和、不調和ニヨリテコ
 レガ程度ノ附セラル、コトヲ得ルモノトシ、其意志ノ調和スベキモノニ就キテ、内
 部ノ自由、完全、恩惠、正義、及ヒ返報ノ五個ノ倫理的觀念アリトシ、ミナ單純ナル觀念
 ニシテ無條件ニ正確ナルモノトシ、決シテ他ノ主義ヨリ抽出シ得ラルベキモノニ
 アラズトシ、意志ガコレト一致シテ、行爲ヲ調整スル主義トスルヲ得ルモノトシタ
 リ、サレドモカント氏ガ說ケルガ如ク、此等ノモノガ意志ニ對シテ命令的ニ働クモ

其二 批評

ノニハアラズシテ唯ダ此等ノモノノ勢力ガ強盛ナルトキニ、意志ヲ決定スル
 コトアルモノトシタリ、氏ハマタコレニ聯關シテ、意志ニ自由アリトイフノ不可ナ
 ルコトヲ說キ、コハ智識又ハ他ノ衝動ニヨリテ決定セラル、モノトシタリ、其他氏
 ハ哲學的又ハ功利的倫理說ニ對シテ、一般ノ反對者ガ唱フルガ如キ駁撃ヲ與ヘ、以
 テ自己ノ倫理感覺說ヲ守リタリ、要スルニ氏ノ所說ハ常識的ナル直覺教タルニ相
 違ナシト雖モ、義務ノ觀念ニ關スル所說ガ、稍ヤ異色ヲ呈スルヲ見ルノミ、ソノ美醜
 ヲ感知スルガ如ク善惡ヲ感知ストナセルハ、英國ノ倫理感覺說ノ祖シヤフツペリ
 氏ノ所說ト相類似セルモノトイフベシ。

ヘルバルト氏ノ所說ニ就キテモ、予ハ唯ダ茲ニ一二ノ短評ヲナスニ止メシ。

氏ノ所說ハ常識的ナル直覺教ニシテ、カント氏ガ理性ニ重キテ置クニ對シテ、倫理
 感覺ヲ重クシテ、吾人ガ所業ノ美ヲ知ルハ、物件ノ美ヲ感知スルト全く同様ナルモ
 ノトシタルモノナリ、此說ハ普通一般ノ事件ニ就キテハ、斯ク言ヒ得ベカラザルニ
 アラザルヲ以テ、全然誤謬ナリトイフベカラザルハ、勿論ナリト雖モ、吾人ハ複雜又

ハ重大ナル事件ニ關シテハ大ニ理性ノ作用ヲ俟テ始メテ能ク其正邪善惡ヲ判知スルヲ得ベキコトノ實ニ否定スベカフザル事實ナルコトヲ知ルモノナリ、一方ニ僻シタル所説ヲ排斥センガ爲メニ他ノ一方ニ偏シタル所見ヲ以テスルガ如キハ予ノ十分ニ與シ能ハザル所ナリ。

氏ハマタ義務ノコトニ關シテ吾人ノ意志ハ倫理的觀念ノ勢力強盛ナルトキニノミ、コレニヨリテ決定セラル、モノトシ始メテ義務ト稱スルガ如キ感情アルモノト考ヘタルモノナリ。從ヒテ若シ然ラザランニハ意志ハ決シテ義務的ニ羈縛セラレ、コレナキモノトシタリサレトモ此所説ノ如クナランニハ、コハ全ク本末ヲ誤認シクルモノトイヒテ不可ナカルベシト考フ。何トナレハ氏ノ説ケルガ如ク、既ニ倫理的觀念ガ吾人ノ意志ヲ決定スルコトアリトセバ、ソノコレアルハ先ツ義務ナル感情ノ存スルガ爲メナルニ相違ナクレバナリ。善事ハナスベキモノニシテ、惡事ハナスベカラザルモノナリトスル義務ナル感情ノ存スルガ爲メニ、始メテ此觀念ヲシテ斯卡ル勢力ヲ有セシムルコトアルニアラズヤ。若シ此事ナカラシニハ、何如ニシテ倫理的觀念ガ其勢力ヲ強盛ニシ、以テ意志ヲ決定シ、之ヲシテ其觀

第三節 カント氏

其一 傳記

念ニ合致シタル所業ヲナサシムルコトアルベキカ。然ルニ事實ニ於テ意志ガ倫理的觀念ニ敬服スルコトアルハ、何ゾヤ。是レ即チ義務ナル感情ガ深ク吾人ノ精神中ニ存在スルガ爲メニ然ルモノニアラストイフベクンヤ。若シ吾人ニ義務ノ感情ノ先在スルニアラスシテ、此等ノ抽象的ナル倫理的觀念ガ吾人ノ關係ヲ離レテ、偶然且ツ忽焉ト其勢力ヲ逞シウスルコトアルモノトセバ、縱令ヒ吾人が其意志ヲシテ此等ノ觀念ニ服從セシムルコトアリトストモ、之ヲ以テ倫理上ニ於テ功勳アルモノトシテ賞スベキノ價値ナカルベク、又之ニ反シテ縱令ヒ其意志ヲシテ此等ノ觀念ニ服從セシメス(氏ノ説ケルガ如ク、觀念ノ勢力微弱ニシテ、意志ヲ決定スルニ至ラサリシガ爲メニ)シテ、爲メニ不倫理的ナル行爲ヲナスコトアリトストモ、マタ必スシモ其人ノ責任ヲ負擔セザルベカラザルモノトスルヲ得ベカラザルニ至ルベキナリ。豈ニ斯クノ如キ非理ノコトアラシヤ。

氏ハ名ヲイムマヌエル (Immanuel) ト呼ビ、千七百二十四年四月獨逸ノコローニッヒ

倫 理 學

スベルヒニ生レタリ。父ハ同市ノ馬具師ナリシナリ。祖父ハモト蘇國人ナリシガ事故アリテ、茲ニ移住シ來リタルモノナリト云フ。

氏ハ十歳ノ時、神學ヲ修メンガ爲メニ、或ル學校 (Collegium Fribericianum) ニ進入シ、十六歳ノ時、進ミテ同市ノ大學ニ入校セリ。猶ホ神學者タラントスルノ希望ヲ抱キタリシヲ以テ、モトヨリ神學科ノ一學生タリシナリ、ザレドモ氏ハ茲ニ數學及ヒ物理學ヲ修メ、マタ哲學ニ熱心ナリシナリ。然ルニ氏ハ神學ノ講義ガ其意ニ適セサルヲ發見シ、猶ホ少シク思フ所アリシヲ以テ、遂ニ教會ニ入ルノ念ヲ絶ツニ至レリ。

氏ノ未タ大學ヲ卒ヘサルニ當リ、氏ノ家族ガ大ニ貧困ニ瀕スルニ至リタルヲ以テ、氏ハ己ムコトヲ得ズ、其業ヲ中止シ、私教師トシテ其生ヲ送ラザルヘカラザルニ至レリ。然ルニマタ父ノ死去ニ遭遇シタルヲ以テ、遂ニ大學ニ戻リテ成業セントスルノ念ヲ斷絶セザルベカラザルノ不幸ニ陥リシナリ。是レヨリ千七百五十五年ニ至ルマデ (即チ九九年ノ間) 同市ノ近隣ニ出テ、専ラ私教師トシテ其日ヲ送リタリ。氏ガ上流社會ノ境遇ニ接シテ、一個ノ好紳士トナリシハ、實ニ此事アリシニヨルモノナリト云フ。

倫 理 學

然ルニ其年ニ至リ、氏ハカイゼルリッング伯 (Kaysersling) ノ家ニ於テ私教師トナランガ爲メニ、遂ニコーニヒスベルヒニ歸リタルニ、リョテル (Richter) ト稱スル友人ノ補助ヲ受ケ、遂ニ再ビ大學ニ入校シテ、其年ノ秋ニ至リテ同校卒業ノ學位ヲ受領シ、直チニ助教師ニ任用セラル、ノ榮ヲ得ルニ至レリ。是レヨリ氏ハ此位置ニ止マリシコト、實ニ十五ケ年ナリシナリ。其間氏ガ講シタルモノハ哲學、論理學、物理學、數學、倫理學ヨリ人類學、地質學等ニ至ル種々ノ學科ナリキト云フ。

千七百七十年、即チ氏ノ四十六歳ノ時、始メテ同校ノ講師トナリ、論理學及ヒ哲學ノ二講坐ヲ擔當スルコトナリ、二十七年間其職ニ勉メダリシナリ。其間エナ、エルランゲン (Erlangen) 又ハ、ハレ (Halle) 等ヨリ招聘ヲ受ケシコトアリト雖モ、悉ク之ヲ拒絶シタリト云フ。

氏ハ此間ニ於テ種々ノ著名ナル出版ヲナセリ。千七百八十一年ニ出版セラレタルモノヲ特ニ有名ナル純粹理性批判 (Kritik der Reinen Vernunft) トナス。千七百八十七年其再版ヲナシ、翌年ニ至リ又實踐理性批判 (Kritik der Praktischen Vernunft) ナルモノヲ發行セリ。二年ヲ經テ又斷定批判 (Kritik der Urtheilskraft) ヲ出版セリ。此等ノホ

カ千七百八十五年ヲ以テ「倫理哲學之基礎」(Grundlegung der Metaphysik der Sitten)ヲ出版シ、千七百九十三年ヲ以テ「純粹理性内之宗教」(Religion innerhalb der Grenzen der Reason Vernunft)ヲ發行シ、猶ホ種々ノ著作ヲナセリ。氏ガ宗教上ノ事ニ就キテ暫ク出版及ビ言論ヲ制止セラレタルコトアリシハ、實ニ此書ヲ出版セシニヨレリ。于七百九十七年ニ至リ、氏ハ衰弱ノ故ヲ以テ大學ヲ退キタリ。然ルニ此年ニ至リテハ、既ニ宗教上ノコトニ就キテ自由ノ意見ヲ發表スルヲ得ルニ至リタルヲ以テ、能力之競争」(Der Streit der Fakultäten)ナルモノヲ著シテ、自己ノ所説及ビ非難者ノ意見等ヲ載セ、翌年ヲ以テ之ヲ世ニ公ニシタリ。退職後氏ハ益々老衰ノ狀ヲ呈シ、其智力ノ如キモ大ニ減少ヲ來シ、屢々昏迷轉倒スルコトアリシガ、遂ニ不幸ニシテ盲目トナルニ至レリ。其死去ハ千八百四年ノ二月ニシテ、享年實ニ八十歳ナリシナリ。氏ハ身體短小ニシテ、稟性虛弱ナリシガ非常ノ節制ヲ以テ能ク其天命ヲ保ツコトヲ得タルモノナリ、一生無妻ニシテ、下僕ト共ニ生活セリ。常ニ文學ヲ愛シ、又科學書類ヲ見ルヲ好ミタリ。サレドモ氏ハ天地自然ノ美ヲ愛スルガ如キコトナカリキ。故

ニ己ムナク生地ノ近隣僅ニ十四五里以内ニ出デシコトノホカ、モトヨリ漫遊等ヲナシ、コトコレナシト云ヘリ。此人ニシテ世界ノ學術界ニ勢力ヲ及ボシタルハ、抑モンノ非常ノ大家タルニヨラズンバアラザルナリ。氏ハ從來ノ哲學ガ偏僻ニ流レテ、失敗シタルヲ發見シテ、自ラ批評哲學ヲ創立シタルモノナリ、蘇國ニ於テリード氏ガ常識哲學ヲ興起シタルモノニ對當シタルモノナリ。其倫理說ニ於テハ直覺派ナリト雖モ、非常ニ理性ヲ重ンシタルモノニシテ、嚴肅的倫理說ト稱セラル、コトアルモノトス。著書ハ前述セルモノ、ホカ、猶ホ種々アリト雖モ、悉ク茲ニ紹介スルコト能ハズ。ミナ全集中ニ在リ。

其一一 倫理說

氏ノ倫理說ハ嚴肅的倫理說ニシテ非常ニ理性ヲ重ンヨタル直覺教ナリ。傳記中ニ記載セル「倫理哲學之基礎」及ビ實踐理性批判ノ二書及ビ氏ガ自ラ最後ニ校訂セシ「倫理哲學」(Metaphysik der Sitten)中ニ就キテ、之ヲ見ルヲ得ベシ。茲ニハ主トシテ「倫理哲學之基礎」ニヨリテ其概要ヲ講シ、ソノ論及セザル點ニ就キテハ、他ノ二書ノ所述

ヲ以テ之ヲ補足スルコトアルニ止メントス。
 氏ハ首トシテ倫理ノ普通ノ概念ヨリ哲學的概念ニ移ルベキコトニ就キテ論ジタ
 リ。左ニ其要意ヲ摘述セシ。
 此世界ニ於テ絕對的ニ全然善ト稱シ得ベキモノハ唯ダ善良ナル意志 (Guter Wille)
 ニノミ限ルモノナリ。才智想像、勇氣忍耐等ノ如キモ、多クノ點ヨリ見テ、モトヨリ善
 ナルモノトナスベシト雖モ、若シ之ヲ指導スル意志ニシテ善良ナルコトナカラ
 ニハ、反リテ有害、邪惡ノモノタルコトアルモノナリ。名譽、富貴、權力、健全、其他吾人ノ
 所謂ル幸福ナルモノヲ構成スル成分等ノ如キモ、若シ其人ノ意志ニシテ不良ナル
 ナランニハ、却リテ傲慢、得意ノ精神ヲ養成スルニ至ルモノナリ。是レ善良ナル意志
 ノ決シテ缺クベカラザル極メテ重要ナル所以ナルヲ見ルベキナリ。
 サレドモ茲ニ注意スベキハ善良ナル意志ノ善ナリトシテ賞賛スベキ所以ノモノ
 ハ、決シテ其意志ノ爲メニ生出セラル、結果ガ善良ナルガ爲メニアラズ、又其意志
 カ願望スル目的物ニ達スルニ適切ナルガ爲メニモアラザルナリ。唯ダ意志ガ全ク
 此等ノ事ヲ離レテ其自身ニ於テ善良ナルコトアルガ爲メナルノミ。

斯クノ如ク利害等ト關係ナキ單獨ナル意志ヲ以テ絕對的ナル價值アリトスルガ
 如キハ、頗ル異常ニシテ、殆ンド妄想タルガ如ク見ユベキヲ以テ、予ハ猶コレニ就キ
 テ十分ニ研究スル所ナカラベカラズ。
 若シ天ガ理性ト意志トヲ有シタル生物ヲシテ單ニ其安全、幸福ヲノミ圖ラシメ
 トスルモノナリトセバ、吾人ハ其理性ヲ使用シテ、此目的ヲ達センガ爲メノ方法ヲ
 採ルベシト雖モ、此種ノ目的ハ反リテ本能ニヨリテ達シ得ラルベキモノナルノミ
 ナラズ、猶ホ少シク考慮スルトキハ、吾人ノ生活ニ於テハ、幸福ヨリモ、一層高尚ナル
 目的ノ存スルモノニシテ、理性ノ吾人ニ賦與セラレツ、アル所以ノモノハ、實ニ此
 目的ヲ得セシメンガ爲メナルヲ發見スルモノナリ。即チ理性ナルモノハ、行爲ノ實
 行的能力即チ意志ニ關係ヲ及ボスコトヲ得ルモノトシテ、吾人ニ賦與セラレツ、
 アルモノナリ。理性ノ吾人ニ賦與セラレツ、アル真正ナル目的ハ、實ニ唯ダ他物ノ
 方便タルガ爲メニ善良ナルニアラズシテ、其自身ニ於テ善良ナル意志ヲ生ゼシメ
 シガ爲メニ外ナラザルヲ見ルモノナリ。
 サレバ意志ニシテ苟モ斯クノ如キ情態ヲ有シタランニハ、之ヲ唯一ノ善、又ハ全、
 體

ノ善トイフベカラズト雖モ、モトヨリ最高ナル善ト稱スベキモノトス。而シテ他ノ善ト稱セラル、モノ、如キハ、ミナ之ヲ以テ其事情トナシ、必ズコレニヨリテ種々ノ制限ヲ附與セラレツ、アルモノナリ。故ニ理性ヲ十分ニ修練スルヤ、愈、善良ナル意志ヲ生ズルニ適當スベシト雖モ、幸福等ノ如キ他ノ善ヲ得ルニ益、不適當ナルニ至ルベキヤ、モトヨリ當然ノコトト知ルベキナリ。

予ハ是レヨリ上述ノ如キ善良ナル意志ノ觀念ヲ明確ナラシメンガ爲メニ、之ヲ包含シツ、アル義務ノ觀念ニ就キテ分解論述スル所ナカルベカラズ。サレドモコレニ先キタチテ一言スベキハ、義務ト離隔セルコト、又ハ自然ノ性向ヨリナセル所業ノ如キハ、義務ノ觀念ヨリナサレタルモノニアラサルヲ以テ、其中偶然義務ト合致スルモノアルニモセヨ、茲ニ之ヲ説カザルモノナリ。唯ダ其自身ニ於テ義務ト合致スル所、或ル所業ヲナスヲ以テ、直接ノ意向トナセルモノ、ニノミ就キテ、茲ニ論述スルモノト知ルヘキナリ。

自己ノ生命ヲ維持スルコトガ、吾人ノ義務ナルハ、モトヨリ言フマデモナカルベシ。サレドモコハ義務ノ觀念ヲ離レテ、單ニ天性ノ偏向ニヨリテ、一般人ノ容易ニ行ヒ

得ベキモノナリ。故ニ此種ノ行爲ハ、唯ダ義務ト合致スルコトアリトストモ、モトヨリ義務ナルガ爲メニ行フモノニアラザルヲ以テ、其格律 (Maxime) 即チ主觀的主義ノ如キハ、決シテ倫理上ニ於ケル真正ナル趣味ヲ有セザルモノトス。サレドモ今人アリテ、生活ノ念慮ヲ絶タザルベカラサルガ如キ困難又ハ悲歎ナルコトニ遭遇スルコトアリトストモ、單ニ義務ノ念慮ヨリ、勉メテ其維持ノ方針ヲ取ランコトニノミ盡カスルコトアランニハ、其人ノ格律ノ如キハ、實ニ真正ナル倫理上ノ趣味ヲ有スルモノトイフベキナリ。

サレトモ茲ニ一ノ注意セザルベカラザルモノアリ。ソノ義務ヨリナサレタル行爲ガ倫理上ノ價值ヲ有スルハ、モトヨリソノ得ントスル目的物ニヨルニアラズシテ、單ニ其行爲ガ決定セラレタル格律ニノミヨルモノナリ。從ヒテソノ目的トスル所ノ得ラル、ト否トニ拘ラス、其主義ニシテ同一ナランニハ、モトヨリ倫理上ニ於テ同一ノ價值ヲ有シツ、アルモノナリ。即チ意志ノ主義ニシテ、苟モ善良ナランニハ、ソノ目的トスル所ノ違セラル、ト否トハ、倫理上ニ於テモトヨリ何タル關係ヲモ有セサルモノトス。

以上ノ所述ヨリシテ吾人ハ次キノコトヲイフヲ得ベシ。曰ハク義務トハ或ル法典ニ對シテ感セラレタル尊敬ニ本ツキテ吾人ノ當ニセサルベカラサル所業ノ必然ナルコト是レナリト吾人ハ意志ノ必然的結果トシテ生出スベキモノニ對シテハモトヨリ天性ノ偏向ヲ有スルモノナリ。サレトモ吾人ハ此種ノ事ニ對シテハ單ニ賞賛スルコトアルノホカ自己ニ關スルト他人ニ關スルトヲ問ハズ決シテ尊敬ノ意ヲ表示スルコトコレナキモノトス。吾人ノ尊敬スルモノハ實ニ唯タ意志ノ基礎即チ主義ニ限り決シテ天性ノ偏向ニ服從スルモノニアラスシテ反リテコレニ優絶シタルモノナリ。即チ吾人ノ意志其自身ト連絡セラレタル法典ノミガ吾人が尊敬スル目的物トナルベキモノトイフベシ。

斯クノ如クナルヲ以テ吾人カ若シ一切ノ偏向ヲ離レテ單ニ義務ヲ注意スルコトヨリシテ行爲ヲナシタラズニハ此際ニ於ケル意志ハ客觀的ニハ唯タ法典其自身ノミヲ存シ主觀的ニハ唯ダ其法典ニ對スル純粹ナル尊敬ノミヲ殘スニ止マルベキナリ。此法典又ハ尊敬ナルモノガ實ニ吾人ヲシテ一切ノ刺衝又ハ情慾ヲ排斥シテ不變ノ格律ヲ採用セシムル所以ノモノトス。是レヨリシテ吾人が倫理的ト稱ス

ル最上ノ善ナルモノハ單ニ意志其自身ノミヲ決定スル所ノ法典其自身ノ觀念ニ外ナラザルヲ見ルベキナリ。從ヒテ單ニ理ヲ有スル者(Vernünftiges Wesen)ノミ能ク此觀念ヲ有シ得ベキモノト知ラザルベカラザルナリ。

然ラバ意志ヲシテ絶對無限ニ善タルコトヲ得セシムル所ノ法典ノ性質ハ何如ナルモノゾ。請フ少シク之ヲ究メン。

吾人カ意志ノ唯一ナル主義トシテコレニ行爲ヲ合致セシメザルベカラザルモノハ實ニ一般ノ法典(Allgemeines Gesetz)ナルモノナラザルベカラズ吾人が行爲ヲナスニ當リテハ其格律ガ同時ニ一切ノ合理的ナルモノ、採用シ得ベキ一般ノ法典トナルベキコトヲ望ミ得ルガ如キ主義ニ適當シタルモノナラザルベカラザルナリ之ヲ法式的ニ示セバ。

常ニ一般ノ法典トスルニ適シタル格律ニヨリテ行動スベシ。

トナルベキナリ。若シ吾人が義務ナルモノヲ以テ虛妄非理ニシテ排棄スベキモノトスルコトナキ以上ハ吾人ノ意志ヲ決定スル主義トシテ極メテ有用ナルモノハ實ニ斯クノ如キ一般ノ法典ノホカ決シテコレアルベキニアラザルナリ。吾人が事

實上ニ於テナシツ、アル行爲ノ判斷ナルモノモトヨリ當然ノ事トシテ此主義ヲ採用シツ、アルモノナリ。今一例ヲ舉グテ之ヲ辯ゼン。
 予ハ今吾人ハ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ自ラ格守スルノ念慮ナキ約束ヲ結ブコトヲ得ベキカトノ疑問ヲ發セシ、但シ此疑問ハ此約束ヲナスガ伶俐ナリヤ否ヤヲ問フニアラズシテ、此種ノ事ヲナスガ倫理上ニ於テ善ナリヤ否ヤヲ問フモノナリ。之ニ答ヘント欲セバ、吾人ハ宜シク先ヅ詐僞ノ約束ヲナスハ、單ニ自身ノ格律トスベキノミナラズ、之ヲ一般ノ法典トシテ、他人ニマデ應用シテ猶ホ格律トスベキモノナリヤ否ヤヲ究ムベキナリ。若シ之ヲ究メタランニハ、吾人ハ自ラ詐僞ヲナサンコトヲ望ムコトアルベシト雖モ決シテ之ヲ以テ一般ノ法典トスベシトノコトヲ望マザルコトヲ發見スベキナリ。若シ詐僞ガ一般ナランニハ何人ト雖モ約束ヲ信用スルモノナク、相互ニ他ヲ欺謀スルヲ事トシ、天下遂ニ約束ナルモノ、成立スルコトナキニ至ルベキナリ。故ニ詐僞ヲナスガ如キハ、伶俐ノ點ヨリ見ルモ、必ズシモ上策ナルニアラザルノミナラズ、若シ之ヲ以テ一般ノ法典トシタランニハ反リテ自滅ヲ招クニ外ナラザルコトヲ見ルベキモノトス。是レ詐僞ノ一般ノ法典ト

シテ採用シ難キ所以ニシテ、從ヒテ倫理上ニ於テ之ヲ是認スルコトナキ所以ナルヲ知ルベキナリ。
 斯クノ如クナルヲ以テ、倫理的法典ニ對スル純粹ナル尊敬ニ本ツキテ、爲サマルベカラザルモノトシテ、ナス所ノ所業ノミ實ニ義務ナルモノヲ成立セシムルモノトイフベキナリ。故ニ此種ノ動機ノミ其自身ニ於テ善良ナル意志ノ條件ヲナスモノニシテ、何物ト雖モ決シテ比肩スルコトヲ得ベカラザル絕對的ナル價值ヲ有シタルモノト知ルベシ。
 サレドモ吾人ハ、單ニ理性ニヨリテ、義務ノ命令ノ最モ尊敬スベキモノナルヲ教ヘラル、ノミニアラズシテ、マダ強キ感情ノ爲メニ、此命令ニ反對スルコトナキニアラザルナリ。吾人ハ天性ノ要求又ハ偏向ヲ有スルヲ以テ、又自己ノ幸福ヲ願望スルコトアルヲ免レザルモノナリ。故ニ或ル一種ノ人ニ在リテハ、義務ノ嚴格ナル法典ヲ除去セントシ、又ハ之ニ疑惑ヲ挾マントシ、又ハ若シ爲シ得ベクンバ、此法典ヲシテ反リテ天性ノ要求又ハ偏向ト合致スルモノトナサントスルモノアルニ至ルモノナリ。サレドモ斯クノ如キハ、常ニ理性ノ嚴格不撓ナル命令ニヨリテ輕蔑、非難セ

ラレツ、アルモノナルハ、モトヨリ正確ナル事實ナリトス。
 以上説クガ如クナルヲ以テ、吾人ハ是レヨリ理性ガ普通ニ働ク所ノ狹隘ナル觀念
 ノ限界ヲ超越シテ、實行的基礎ニ於ケル倫理哲學ノ範圍中ニ進入シテ、吾人自身ノ
 先天的ナル機能及ビ働作ノ十分ナル研究ヲ遂ケ、能ク倫理主義ノ起原又ハ基礎ニ
 關スル説ヲ示シ、ソノ天性ノ要求又ハ偏向ニ基キタル格律ニ反シテ、一層重要ナル
 所以ヲ明確ニシ、以テ倫理主義ニ危險ヲ與フルガ如キコトアルヲ防ガザルベカラ
 ザルナリ。

以上ハ氏ガ倫理ノ普通ノ概念ヨリ哲學的概念ニ移ルベキコトニ就キテ論シタル
 モノナリ。是レヨリ氏ガ普通ノ倫理學ヨリ倫理哲學ニ移ルベキコトニ就キテ論シ
 タルモノ、大意ヲノミ紹介セン。

予ハ前節ニ於テ、日々ノ實行ニ表現スル點ヲ本トシテ、義務ノ概念ヲ發明シタリ。サ
 レドモ此事ヨリシテ、義務ノ概念ハ單ニ經驗ヨリ由來スベキ後天的ノモノト想像
 スルコトナカレ。

然リト雖モ、純粹ニ義務ヲ注意スルコトニ本ツキタル行爲ニシテ、倫理上真正ノ價

値ヲ有スルモノニ至リテハ、吾人ハ殆ドソノ確實ナル例證アルヲ見ザルモノナリ。
 是レヨリシテ利己説ヲ唱フルガ如キモノアルニ至ルモノ、マタ一應ノ理由ナキニ
 アラザルナリ。サレトモ吾人ハ、決シテ如何ナル現象ガ此世ニ存在シツ、アルカヲ
 研究スルニアラズシテ、唯ダ理性ガ實際ト離レテ、其自身ヲ支配シ、如何ナル所業ヲ
 以テ當ニセザルベカラザルモノトシテ命令スルコトアリヤ、否アヲ研究セントス
 ルモノナリ。例ヘバ友誼ニ於ケル完全ナル公平、無私ノ如キハ、縱令ヒ此世ニ於テハ
 之ヲ發見スルコト容易ナラザルニモセヨ、各人ニヨリテ等シク希望セラレツ、ア
 ルモノナリ。是レ實ニ純粹ナル友誼ハ、一切ノ經驗ヲ離レテ、先天的ニ理性ノ基礎ニ
 於テ決定セラレタル意志ニヨリテ指示セラレタル義務ナルニヨルガ爲メナルヤ、
 極メテ明白ナルベシ。

コレニ加フルニ、若シ倫理ナルモノガ全然否定スルコト能ハザルモノナル以上ハ、
 其法典ハ單ニ吾人ニノミ應用スベキモノニアラズシテ、マタ一切ノ合理的ナルモ
 ノニ應用スベキナリ。印チ偶然的ニシテ有限ナルモノニ正當ナルト同時ニ、必然的
 ニシテ無限ナルモノ(即チ神ノ如キモノ)ニモ、マタ正當タルベキナリ。倫理ノ法典ハ

斯クノ如キ一般ト必然トノ確固タル性質ヲ有シタルモノナルガ故ニ、決シテ吾人ノ經驗又ハ觀察ヨリ來ルモノニアラザルヤ、勿論ナリ。何トナレバ特殊又ハ偶然ノ事ヲ本トシタル法典ナランニハ、モトヨリ一切ノ合理的ナルモノ、尊敬スベキ法典トスルニ足ラズシテ、又吾人ノ意志ノミヲ決定スベキ法典ハ、一切ノ意志ヲ決定スベキ法典トナスコト能ハザレバナリ。

斯クノ如クナルヲ以テ、倫理的概念ハ等シクミナ先天的ニ各人一般ノ理性中ニ存在スルモノナルヲ見ルベキノミナラズ、若シ倫理上ノ理論ヲ立テ、及ビ實際上ニ於ケル行爲ニ關スル重要ナルコトヲ知ラント欲セバ、宜シク先ゾ純粹ナル理性ヨリ倫理ノ概念及ビ法典ヲ押出シテ、之ヲ明示シ、理性ノ先天的ナル機能及ビ作用ト行爲上ニ於ケル實際的ナル能力トヲ發明スベキノ必要ナルヲ見ルモノトス。斯クノ如クシタランニハ、倫理學ガ如メテ哲學的ノ科學トナルコトヲ得ベキモノト知ルベキナリ。請フ是レヨリ此等ノ研究ニ進入セン。

宇宙間ノ森羅万象ハミナ各種ノ法典ニ服從シテ、其動作ヲナシツ、アルモノナリ。唯ダ合理的ナルノミ法典ノ觀念ニ從ヒテ、動作スベキ能力ヲ有シタルモノナリ。即

チ合理的ナルモノ、ノ意志ヲ有スルモノトス。斯ク行爲ガ法典ヨリ抽出セラレンガ爲メニハ、理性ノ必要ナルコト、モトヨリナルヲ以テ、意志ナルモノハ之ヲ實踐的理性 (Praktische Vernunft) ニ外ナラザルモノトイヒテ、不可ナカルベシト信ズ。若シ意志ガ常ニ理性ニヨリテ決定セラル、コトアランニハ、合理的ナルモノ、所業ハ客觀的及ヒ主觀的ニ必然ナルモノトシテ、是認セラルベキナリ。サレドモ若シ意志ガ必ズシモ常ニ理性ニヨリテ決定セラル、コトナク、即チ客觀的ナル法典ト一致セズシテ、或ル主觀的ナル刺衝等ニ從屬スルガ如キコトアランニハ、其所業ハ必ズシモ客觀的ニ必然タルコト能ハズシテ、單ニ主觀的隨意タルモノニ過ギザルモノトナルベキナリ。サレバ若シ合理的ナルモノ、意志ガ絶對的ニ善ナルコトヲ得ザルモノナランニハ、吾人ハ客觀的ナル理性ノ法典ニヨリテ、之ヲ決定スルコトヲ得ベシト考フルコトヲ得ルモノニシテ、吾人ノ所謂ル義務ナルモノハ、實ニ此種ノ事ヲナスヲ指セルモノト知ルベシ。

客觀的主義ノ觀念ハ、意志ヲ決定シテ義務的トスルノ點ニ於テ、理性ノ命令ト稱スベキモノニシテ、法式ヲ以テ之ヲ示ストキハ、即チ太法 (Imperativ) トナレルモノナ

リ。而シテ一切ノ太法ハ當ニ斯クアルベシ。(Sollen)ナル語ニヨリテ表示セラル、モ
 ノナリ。是レ即チ意志ガ其主觀的造構ニ於テハ、必然的ニ理性ノ客觀的法典ニヨリ
 テ決定セラレツ、アルモノニアラザルコトヲ指示スルモノナリ。サレバ吾人が善
 ト稱スルモノハ、主觀的ナル刺衝物ノ勢力ニヨリテ意志ヲ決定スルニアラズシテ、
 客觀的ナル主義、即チ一切ノ合理的ナルモノニ應用シテ正確ナル基礎ニヨリテ之
 ヲ決定スルモノヲイフニアリ。故ニ善ト快樂トハ、モトヨリ異同セルモノナリ。快樂
 トハ、主觀的感觸ノ勢力ニヨリテ、主觀ノ意志ヲ動かカスヨリ生スルモノナルヲ以テ。
 人ニヨリテ其感動ニ差等アルモノナリト雖モ、理性ノ主義ニ至リテハコレト異ナ
 リ、一切ノ人ニ取リテ全般ニ正當ナルコトノ性質ヲ有シツ、アルモノナリ。
 完全ニ善良ナル意志モ、缺點アル意志ノ如ク、等シク客觀的ナル法典ノ下ニ立ツハ、
 勿論ナリ。サレドモ此種ノ意志ハ、其主觀的造構ニ於テ、善ノミノ觀念ニヨリテ支配
 セラル、ガ故ニ決シテ其法典ニ對シテ義務的ナルモノニアラズ。故ニ神又ハ其他
 ノ神聖ナルモノ、意志ノ如キハ、モトヨリ何如ナル太法モコレニ應用セラルベキ
 モノニアラザルナリ。サレバ太法ナルモノハ、歸スル所一般ナル意志ノ客觀的、法典

ト特殊ノ不完全ナル意志トノ關係ヲ指示スル所ノ法式ニ外ナラザルモノトス、
 今太法ナルモノ、性質ヲ見ルニコレニ設若的ニ命令スルモノ及ヒ絶對的ニ命令
 スルモノ、二種アリ、前者ハ即チ設若太法 (Hypothetische Imperativ) ニシテ他ニ得、
 トスル目的アリテコレニ達センガ爲メノ方法トシテ必然的ニ或ル所業ノナサバ
 ルベカラザルコトヲ示スモノ、是レナリ。後者ハ即チ無上太法 (Kategorische Imperativ)
 ニシテ或ル所業ガ更ニ他事ニ關係ナク其自身ニ於テ客觀的ニ必然ナルガ故ニ之
 ヲセザルベカラザルモノトシテ示スモノ實ニ是レナリ。故ニ太法トハ、苟モ善ナリ
 ト稱シ得ベキ意志ニヨリテ義務的ト考ヘラルベキ所業ヲ決定スル所ノ法式ナリ
 トシテ説明スルコトヲ得ベキモノニシテ、單ニ或ル所業ガ善ナリトノコトヨリ常
 ニ之ヲ撰取スルコトヲ得ザルガ如キ意志ノ爲メニ實踐的ナル規則ヲ表示スルモ
 ノトス。

設若太法ハ單ニ或ル所業ノ相對的ニ善ナルコトヲ示スモノナリ。即チ或ル發生シ
 得ベキ他ノ目的、又ハ實存セル他ノ目的ヲ得ノガ爲メニ或ル所業ヲナスガ善ナリ
 トノコトヲ示スモノナリ。總テ何如ナルモノヲ問ハズ、理性ヲ有スルモノ、權能内

(三四〇)

ニ於テ成就スルコトヲ得ベキモノハ、ミナ其者ノ可成的目的トシテ考ヘラルベキモノナリ。從ヒテコレニ必要ナル所業ヲ決定スベキ主義ハ、モトヨリ夥多ナルベキヤ論ナシ。是レ即チ蓋然的 (Problematisch) ナル設若太法ニシテ、專ラ種々ノ技能ニ關シタルモノナリ。吾人ハ、マタ、其性質上必然的ナルモノトシテ、一般ニ追求シツ、アル所ノ目的ヲ有セリ。即チ幸福ナルモノ、是レナリ。サレバ吾人が自ラ其幸福ヲ得ンガ爲メノ方法トシテ、セザルベカラザル所ノ所業ヲ肯定スルモノ、如キハ是レマタ一種ノ設若太法ニシテ、專ラ自愛ニ關シタルモノナリ。サレドモコハ其目的トスル所、前者ヨリモ確定セルモノナルガ故ニ、之ヲ斷定的 (Assertivisch) ナルモノトイフベキナリ。然ルニ茲ニマタ此等二種ノモノト相異セル他ノ太法アリ。全ク他ノ目的ヲ離レテ、單ニ其自身ニ於テ命令スルモノ、即チ是レナリ。是レ實ニ予ガ無上太法ト稱シツ、アル確實的 (Apodiktisch) ナル太法ニシテ、所業ノ材料又ハ結果等ニ關係ナクシテ、單ニ其形式又ハ主義ニ、ノミ關係スルモノナリ。此太法ナルモノガ所謂倫理上ノ太法トシテ、吾人ノ尊敬シツ、アルベキモノトス。

然ラバ以上ノ諸太法ハ何如ニシテ成立スルヲ得ベキモノゾ、吾人ハ何如ニ此等ノ

太法ニヨリテ義務的トセラル、モノゾ。少シク之ヲ辯ゼン。

技能ノ太法ガ成立スベキ所以ハ、茲ニ説クノ必要ナカラシ。何トナレバ或ル目的ヲ得ンコトヲ望ムモノハ、之ヲ得ンガ爲メニ必要ナル方法ニシテ、自己ノ權能内ニ存スルモノハ、モトヨリマタ之ヲ願望セザルコトヲ得ザルベクレバナリ。自愛ノ太法モ、若シ吾人が幸福ナルモノニ關シテ、正確ナル概念ヲ構成スルコトニ容易ナリシナラシニハ、マタ技能ノ太法ト全ク同一ナル位置ニ立ツベキモノナリ。サレドモ幸福ナル概念ハ、甚ダ漠然トシテ精確ニ之ヲ説述スルコトヲ得ザルモノナリ。故ニ此太法ニ於テハ、客觀的ニ必然的ナルモノトシテ、所業ヲ指示スルコトコレナキモノニシテ、嚴格ナル意義ニ於テハ、真正ナル太法トイフノ價值ナキモノトス。即チ此太法ハ理性ノ命令ト見ガタクシテ、寧ロ其勸告ト見ルベキモノナリ。サレドモ兎モ角モ已ニ其目的ヲ達センコトヲ望ム以上ハ、コレニ達センガ爲メノ方法ヲ望ムコトアルハ、モトヨリマタ當然ノコトナルヲ以テ、此種ノ太法ノ成立シ得ベキコトモ、マタモトヨリ詳述スルノ要ナカルベシ。

サレドモ倫理ノ太法ガ如何ニシテ成立スベキカヲ説明スルハ、此等ノ太法ニ異ナ

リ、大ニ困難ナル問題ナリ。此太法ハ設若的ノモノニアラザルヲ以テ、ソノ客觀的ニシテ絶對的ニ必然ナルコトニ至リテハ、決シテ或ル假定又ハ經驗ヨリ得タル例證ヨリシテ説明スルコトヲ許サザルモノナリ。故ニ吾人ハ全ク先天的ニ説明ヲ下シ、以テ此太法ノ成立シ得ベキコトヲ發見シ、決シテ例證ニヨリテ之ヲ説明セザランコトヲ企テザルベカラザルナリ。

吾人が首トシテ此太法ニ就キテ發見シ得ルモノハ、此太法ノミ吾人ノ實行的法典トシテ宣言スルコトヲ得ベキコト是レナリ。他ノ太法ノ如キモ、意志ノ主義トスルヲ得ベキニ相違ナシトストモ、到底之ヲ法典トスルノ價值ナキモノナリ。單ニ隨意ノ目的ヲ達センガ爲メノ方法トシテ必要ナル所業ノ如キハ、其自身ニ於テハ全ク偶然的タルコトアルモノナリ。故ニ其目的ヲ棄テ、顧ミザルコトアランニハ、其所業ヲ規定シタル太法ノ如キハ、直チニ其人ヨリ離レテ、其命令力ヲ失フニ至ルモノトス、サレドモ無條件ノ命令ニ至リテハ、モトヨリ意志ヲシテ隨意ノ撰擇ヲナサシメザルモノナリ。從ヒテ無上太法ノミ法典タルモノ、實性タルベキ必然ナルコトヲ獨占シツ、アルモノトイフベシ。

サレドモ何故ニ無上太法即チ倫理ノ太法ガ成立スベキモノナルカヲ發見スルハ、甚ダ難事ナルモノナリ。此問題ヲ説明セシコトヲ企ツルニ當リ、吾人ハ先ツ無上太法ノ概念ガ無上太法トシテ正當タルコトヲ示ス所ノ一般ノ法式ナルモノヲ其中ニ包含スルコトヲ得ルモノナリヤ否ヤヲ研究スベシ。ソノ絶對的ナル命令ガ如何ニシテ成立スベキカトイヘル困難ナル問題ノ如キハ、尙ホ一層ノ研究ヲ要スルヲ以テ、次節ニ至リテ之ヲ論究セシ。

無上太法ハ格律即チ行爲ノ主觀的主義ガ無條件ニ必然的ナルモノトシテ、法典即チ客觀的主義ト一致セザルベカラザルコトヲ命令スル所ノ規律ノミヲ包含スルモノナリ。故ニ此世ニ於テハ左ノ如キ唯タ一個ノ無上太法ノ存スベキナリ。

汝ノ格律ガ一般ノ法典トナルコトヲ望ミ得ルトキニ、其格律ニヨリテ行動スベシ。

トノコト即チ是レナリ。然ルニ宇宙間ノ一切ノ事變ヲ支配スル法典ノ一般不易ナルコトハ、吾人ノ之ヲ天然(Nature)ト稱シツ、アルモノナリ。故ニ此考察ヲ以テ倫理上ノ太法ヲ記述スルトキハ、マタ次ノ如クナルベキナリ。即チ

(三四四)
汝ノ格律ガ之ヲ採用スレバ一般ノ天然法 (Allgemeines Naturgesetz) トナリ得ベキ
ガ如ク行動スベシ

是レナリ。

サレドモ吾人ハ必ズシモ自己ノ格律ガ一般ノ法典トナラザルベカラズトノコト
ヲ望ムモノニアラザルナリ。吾人ハ其生來ノ偏向ヨリシテ、特別ナル場合ニ於テハ、
其例外ヲモ許シ得ベシト考ヘツ、アルモノナリ。故ニ吾人ノナス所ヲ見レバ、一時
ニ於テハ、其理性ガヨク意志ノ撰擇ヲ教示スルコトアリト雖モ、他時ニ於テハ、情慾
ノ勢力ニヨリテ爲メニ偏執ヲ生スルコトアルモノトス。斯クノ如クナルヲ以テ、理
性ガ半バ格律ト一致センガ爲メニ、法典ノ一般 (Allgemeinheit) ナルコトガ、唯タ大體
(Gemeingültigkeit) ナルコトニ變セラルベキナリ。即チ此偏向ノ如キハ、公平無私ノ判
斷ニヨリテ痛ク非難セラル、モノナルガ故ニ、吾人ハ實際上ニ於テ無上太法ニヨ
リテノミ其意志ヲ義務的トスル所ノ倫理的ノコトヲ有スルモノナルコトヲ認識
スルヲ得テ、一般ニ之ヲ崇尊シツ、アルモノナリト雖モ、時ニ或ハ境遇ノ何如ニヨ
リテ、唯タ僅小ナル例外ノミヲ許スコトアルモノト知ルベキナリ。

以上ハ吾人ガ義務ノ觀念ガ或ル意義ヲ有シ、且ツ所業ノ法典ヲ包含スルモノトシ
タラシニハ、此等ノ法典ハ無上太法ヲ以テ示サレザルベカラズトノコトヲ説キ、其
法式ハ何如ナルモノナルカノ明確ナル觀念ヲ觀タルモノナリ。サレドモ吾人ハ斯
カル太法ガ實際上ニ於テ確存スベキモノナリトノコトニ至リテハ、モトヨリ先天
的ニ之ヲ證明スルコト能ハザルモノト知ルベキナリ。

是レヨリ予ハ太法ト聯關セル意志ノコトニ就キテ、少シク研究スル所アルベシ。意
志ハ所業ヲナスニ當リテ、或ル法典ノ觀念ト一致シテ、其自身ヲ決定スル所ノ能力
ナリトイフヲ得ベキナリ。今斯カル意志ノ自ラ決定スルコトニ對シテ、客觀的主義
トシテ存在スルモノハ、吾人ノ稱シテ目的トナスモノ、實ニ是レナリ。サレドモ、コレ
ニ反シテ、主觀ガ自ラ或ル所業ヲ成就センガ爲メニ必要ナル條件トシテ存在スル
ニ外ナラザルトキハ、吾人ハ之ヲ稱スルニ方法ナル語ヲ以テスルモノトス。即チ此
種ノ場合ニ於ケル目的ハソノ求ムルト求メザルトハ、全ク其人ノ隨意ニシテ、單ニ
相對的ナル價值ヲ有スルニ過ギザルモノナリ。彼ノ設若太法ノ基礎ハ、實ニ此種ノ
目的ニヨリテ成立スルモノトス。

サレドモ茲ニ一物アリテ其自身ニ絶對的價值ヲ有シ其自身ニ目的ヲ有スルモノ
 アリトセバ其物ハ必ズ其自身ノ法典ノ基礎タルコトヲ得ベキモノニシテ唯ダ此
 物ニ於テノミ無上太法即チ實踐的法典ノ成立スベキ基礎ノ存スルモノナラン。是
 レヨリシテ予ハ次ギノコトヲイフヲ得ベキナリ。曰ハク、人又ハコレト等シキ合理
 的ナルモノハ其自身ニ於テ目的トシテ存在スルモノナリ。即チ吾人ハ單ニ意志ニ
 ヨリテ方法又ハ器械トシテ使用セラルベキニアラズシテ自身ノ所業ニ於テハ自
 身ノ存在モ他人ノ存在モ其自身ニ於テ目的ナリトシテ注意セラレザルベカラザ
 ルモノナリト。

サレバ單ニ情慾又ハ偏向ノ目的物トナルモノ、如キハ唯ダ相對的ナル價值ヲ有
 スルニ過ギズシテ其情慾偏向ヲ離レタランニハ毫モ其價值ナキニ至ルベキナリ。
 又縱令ヒ吾人ノ意志ニヨリテノミ始メテ存在スルニアラズシテ天然ヨリ存在ス
 ルモノト雖モ若シ其者ニシテ理性ヲ闕如スルコトアラニハ、マタ唯ダ相對的ナ
 ル價值ヲ有スルノミニ過ギズシテ單ニ方法又ハ器械トシテ用ヒラルベク從ヒテ
 之ヲ物(Objekt)ト稱スベキモノトス。サレドモ若シ然ラズシテ其者ニシテ合理的ナ

ルモノナランニハ之ヲ人(Personen)ト稱スベキモノナリ。何トナレバ此種ノモノハ
 其造構上其自身ニ於テ目的タルコトヲ示シ單ニ方法トシテノミ用ヒラル、コト
 ナク他人ノ隨意ナル意志ニ或ル制限ヲ置キ爲メニ尊敬ノ目的物タルコトヲ得ル
 ヲ以テナリ。サレバ人ハ單純ニ主觀的、目的ナルニアラズシテ其自身ニ於テモ目的
 タル性質ヲ有スルモノナルガ故ニ客觀的、目的トシテ非常ニ秀絶シタル價值ヲ有
 シタルモノトイフベキナリ。斯ノ如クナルヲ以テ吾人ハ一切ノ合理的ナルモノハ
 其自身ニ於テ目的トシテ存在ストイヘルコトヲ以テ其行爲ノ主義トセザルベカ
 ラザルモノト知ルベシ。

今單ニ吾人が自身ノ存在ニ就キテ以上ノ如ク考ヘツ、アルノ點ノミヲ見タラン
 ニハ、コハ唯ダ行爲ノ主觀的主義トイフベキガ如クナルベシ。サレドモ他ノ合理的
 ナルモノモ彼自身ノ存在ニ就キテミナ同一ニ考ヘツ、アルモノナルガ故ニ此事
 ハ單ニ主觀的ナルニアラズシテ實ニ客觀的ナル主義ヲナシツ、アルモノトイフ
 ベキナリ。從ヒテ意志ノ主義ハミナコレヨリ抽出セラルベキモノニシテ實踐的主
 義ノ最モ高尚ナルモノト知ルベキナリ。之ヲ法式的ニ示セバ則チ左ノ如シ。

(三四八)
吾人ハ自身又ハ他人ニ關スルヲ問ハズ常ニ其人ヲ目的トナシ決シテ方法トシ
テノミ之ヲ用ヒザランヤウ行動スベシ。

以上ノ如ク人又ハ他ノ合理的ナルモノガ其自身ニ於テ目的ナリトノ主義ハ、一般
ナルコトノ性質ヲ有シ、又實際ニ關セズシテ主觀的目的ノ最上ナル制限的條件ヲ
示スモノナルヲ以テ、マタ觀察又ハ實驗上ニ於テ成立スルモノニアラザルヤ、勿論
ノコトナリト知ルベキナリ。

是レマテ予ガ研究シタル所ニ在リテハ、吾人ハ義務ノ觀念ヨリ或ル法典ノ下ニ羈
縛セラルベキモノニシテ、斯クスルコトヲ以テ、之ヲ倫理ナリトシタルモノナリ。サ
レドモ已ニ吾人ガ服從スベキ法典トシイヘバ吾人ノ意志ガ服從セザルベカラズ
トスル意志以外ニ存在スルモノナルベキヲ以テ、兎モ角モコレニ服從スベシト考
フル間ニ在リテハ、其法典ノ何タルニ致セ、吾人ハコレニ對シテ或ル興味ヲ有シッ
ハアルモノタルヤ、モトヨリ明白ナルベシ。若シ斯クノ如キ興味アルガ爲メニ、或ル
法典ニ服從スルモノナリトセバ、義務ナルコトハ遂ニ成立セザルニ至ルベキナリ。
從ヒテ予ガ無條件ノ太法トイヒタルガ如キモ、茲ニ至リテミナ設若的ノモノタル

ニ過ギザルヲ見クヘクシテ、真正ナル倫理的法典トシテハ到底正當ナルコトヲ得
ザルニ至ルベキナリ。是故ニ予ハ倫理上ニ於テ最上ナル主義トナセルモノヲ呼ビ
テ、之ヲ意志ノ自治力(Autonomie)ノ主義トイフヲ適當ナリト考ヘザルベカラザルニ
至レリ。

一切ノ合理的ナルモノガ自己ノ格律ヲ以テ一般ノ法典ヲ制定スルコトヲ得ルモ
ノトシテ彼自身ヲ考フルコトハ、目的界(Reich der Zwecke)ナルモノ、觀念ニ導クモ
ノナリ。此目的界トハ、一般ニ正當ナル目的即チ曩キニ法式的トシテ示シタル主義
ト一致スル所ノ目的ノミノ完全ナル統一ヲナセル世界ヲ指スモノナリ。サレドモ
此世界ノ單ニ理想的ノモノタルハ、モトヨリ言フマデモナキモノトス。

今此考察ヲ以テ倫理ノコトヲ論スルトキハ倫理トハ一切ノ所業ヲシテ目的界ノ
成立スルヲ得ルガ如キ法典ノ系統ニ關係セシムルコト即チ是レナリトイフベシ。
而シテ此等ノ法典ハ各合理的ナルモノ、性質中ニ從屬セザルベカラズシテ且ツ
自己ノ意思ヨリ起ラザルベカラザルナリ。而シテ其意志ノ主義トスベキハ、一般ノ
法典タルコトヲ願ハザル或ル格律ニヨリテハ、決シテ何事ヲモナスベカラズトイ

フコト、即チ是レナリ。之ヲ換言スレバ、意志ハ其格律ニテ、一般ノ法典ヲ制定スルコトヲ得ルモノトシテ、其自身ヲ考フルコトヲ得ルガ如ク行動スベシトナルベキナリ。而シテ今合理的ナルモノガ有意的ニ此主義ト一致シテ働カザルベカラズトノコトアレバ、是レ即チ義務ナルコトノ存在スルモノニシテ從ヒテ目的界ノ意思ハ、ミナ悉ク(唯ダ自然的ニ此客觀的主義ト一致シツ、アル所ノ最上ノ意志ヲ除キ)此義務アルコトアルヲ免レザルモノト知ルベキナリ。

以上ノ如クナルヲ以テ、歸スル所ハ意志ノ自治力ガ一切ノ合理的ナルモノ、倫理的價值ノ基礎ナリトイフベキナリ。サレハ是レマデ倫理ノ主義ヲ種々ノ法式ヲ以テ示シタリト雖モ、コハ唯ダ同一ナル法典ヲ異様ニ説述シタルモノト見ルベキナリ。故ニ各自ミナ他ノ法典ヲ包含シツ、アルモノニシテ、其差違ハ唯ダ主觀的ニ在リテ、決シテ客觀的ニコレナキモノト知ルベシ。

茲ニ至リテ、予ハ本書ノ初ニ論述セル善良ナル意志ノ概念ニ就キテ、猶ホ一言スル所アラントス。

絶對的ニ善良ナル意志トハ、其主義ガ一般ノ法典トナルコトヲ望ミ得ルモノニシ

テ、無上太法トシテ存立スルモノトイフニアリ。故ニ倫理トハ所業ト意志ノ自治力トノ間ニ存スル關係ナリ。自治力ト調和スルモノハ、合法的ニシテ、許容セラレ、コレト調和セザルモノハ、不法的ニシテ、許容セラレザルモノナリ。而シテ若シ必然的ニ調和シツ、アルモノナラゾニハ、モトヨリ義務ナルコトナシト雖モ、若シ然ラザラゾニハ必ズ義務ナルコトノ實存スルモノナリ。

吾人ノ吾人タル所以ハ、實ニ自己ノ意志ヲ以テ一般ノ法典タルコトヲ得ベキ格律ヲ撰ブベキ能力アルニヨルモノナリ。故ニ意志ノ自治力ハ實ニ倫理ナルコトノ最上ナル主義ヲナセルモノニシテ、ソノ與フル所ノ法典ハ、吾人ノ是非トモコレニ服從、固着セザルベカラザルガ如キ命令ナリトス。然リト雖モ此種ノ先天的ナル實踐的主義ガ如何ニシテ成立シ、又何ガ故ニ必要ナリヤトイヘルガ如キ問題ニ至リテハコレヲ解明スルハ倫理哲學ノ築園外ナリト知ルベキナリ。サレドモ此等ノ點ニ就キテ、猶ホ明確ナル智識ヲ有センガ爲メニハ、實踐的理性即チ意志ノ性質ニ就キテ猶ホ深く研究スルノ必要アルベキナリ。故ニ次節ニ於テ、唯ダ必要ナル點ニノミ就キテ、聊カ論述スル所アラントス。

是レヨリ氏ハ倫理哲學ヨリ意志ノ先天的作用ノ研究ニ移リテ、左ノ六項ニ就キテ
論述シタリ。今ハ單ニ其要所ノミヲ摘出セン。

(一) 自由ノ觀念ハ意志ノ自治力ノ觀念ヲ説明ス。意志ハ理性ヲ有シタル生物ニ
從屬シタル原因力トナリツ、アルモノナリ。而シテ意志ノ自由ナルコトハ、自身以
外ノ決定力ヲ離レテ、自ラ働作スルコトヲ得ベキ性質アルヲイフモノナルガ已ニ
原因力トシイヘバ、コレニ法典ノ概念ヲ有シツ、アルモノナリ。故ニ自由ヲ以テ無
法(Gesetzes)ノコトトシテ考フルガ如キハ、モトヨリ非ナリ。唯ダ天然ノ法典ト其種
類ヲ異ニシタル原因力ニシテ、其自身ノ特別ナル性質ニ適シタル法典ヲ有シツ、
アルモノナルノミ。若シ全然法典ヲ離レタラニハ、自由意志ナルコトモ、何タル意
義ヲモ有セザルニ至ルベキナリ。意志ノ自由ナルコトハ、其自身ノ原因力ヲ決定シ、
且ツ其自身ノ法典ヲ自身ニ與フル所ノ自治力ヲイフモノナリ。故ニ自由意志トハ
倫理的、法典ト、全然、一致シタル意志トモトヨリ同一物ナルヲ見ルベキナリ。
斯ク意志ノ自由ナルコトヲ許ストキハ、吾人ハ容易ニ倫理及ヒ其法式ヲ抽出シ來
スコトヲ得ルモノナリ、予ハ曩キニ善良ナル意志トハ、其格律ガ常ニ一般ノ法典ト

シテ採用セラル、モノナリトノコトヲ説クリト雖モ、縱令ヒ單ニ善良ナル意志ノ
概念ヲ分解スルニモセヨ、容易ニ此種ノコトヲ抽出シ得ルコト能ハザルナリ。然ル
ニ若シ此間ニ自由ナルコトノ概念ヲ挾マンカ、容易ニ之ヲ抽出スルヲ得ルニ至ル
ベシトス。サレドモソノ自由ナル觀念ノ來ル所以ヲ明確ニシ、無上太法ノ成立スベ
キ基礎ヲ判明スルガ如キハ、猶ホ少シク研究ヲ要スベキモノアルヲ以テ、以下コレ
ニ就キテ、聊カ論述スル所アラントス。

(二) 自由ハ一切ノ合理的ナルモノハ、意志ノ性質ナリトノ公準ヲ立テサル、ミカラ
ス。倫理ハ吾人が合理的ノモノナルガ爲メニ、吾人ニ對スル法典トナリツ、
アルモノナルガ故ニ、一切ノ合理的ナルモノ、意志ガ自由ナリトノ明確ナル基礎
ナキ以上ハ、吾人ノ意志ニ自由ナルコトヲ歸スルモ、マタモトヨリ不十分ノコトナ
リ。予ハ今言フ、單ニ自由ノ觀念ノ上ニ於テノミ所業ヲナス人ハ、其理由ニヨリテ、一
切ノ實踐的目的ニ對シテ自由ナルモノト見ルベキナリト。換言スレバ、彼ノ意志ガ
自由ナリト哲學ニヨリテ證明セラレタルガ如ク、自由ナル觀念ト密着シタル一切
ノ法典ガ彼ヲ束縛スルモノナランニハ、之ヲ自由ナリト見ルベキナリト。予ハマタ

言フ、吾人ハ意志ヲ有シタル合理的ナルモノニハ、必然的ニ自由ナル觀念ヲ歸セザルベカラズ、何トナレバ此種ノモノハ、ミナ常ニ此觀念ノ下ニ動作スルモノナレバナリト。要スルニ、合理的ナルモノハ、其意志ニ自由ナルコトアリテ、其自身ノ主義ヲ作ルコトヲ得ルニヨリ始メテ其意志タルコトヲ得ルモノナリ、從ヒテ一切ノ合理的ナルモノ、意志ニハ、ミナ自由ナルコトノ觀念ヲ歸セサルベカラサルナリ。

(三) 倫理的觀念ト連絡シタル興味ニ就キテ。吾人ハ是レマデ倫理上ノ真正ナル觀念ヲ意志ノ自由ナルコトノ觀念ニ歸シタリ。サレドモ斯カル自由ナルコトガ果シテ吾人ノ性質中ニ實存スルノコトヲ明證シタルモノニアラズ、唯ダ吾人ガ有意的所業ニ關シテ、自ラ其原因力タルコトヲ得ルモノト考フルトキニ、自由ナルコトヲ許サルベカラサルコトヲ見タルモノノミ。

斯ク自由ナル觀念ヲ豫想スルトキハ、吾人ハマタ所業ノ法典即チ客觀的ニ一般的ニ正當ナル法典トイヘルコトヲモ知り得ベキナリ。之ヲ許ストキハ、茲ニ次ギノ如キ疑問ヲ生ゼザルヲ得ザルニ至ルモノトス。曰ハク、吾人ハ何故ニ自身ヲシテ此主義ニ服從セシメサルベカラザルカ。又理性ヲ附與セラレタルモノハ、何カ故ニミナ

同一ナル位置ニ立タザルベカラザルカト予ハ、此服從ヲナスヲ以テ、決シテ或ル興味ノ爲メニ獎勵セラル、モノニアラザルコトヲ許スモノナリ、然ラズンハ無上太法ナルモノガ全ク廢弛スルニ至ルベクレバナリ。サレドモ予ハ、吾人ガ此服從ヲナサントスル興味ヲモ有スルコトナシトスルヲ得ザルナリ。又吾人ガ斯カル興味ノ基タルモノヲ得ントスル興味ヲモ有スルコトナシトスルヲ得ザルモノトス。何トナレバ、當ニ斯クアルベシナル語ハ、理性ノミガ能働者トナルトキニ、單ニ合理的ナルモノノミガ有シ得ベキ意志ノ情態ヲ指示スルモノナレバナリ。

(四) 何如ニ無上太法ガ成立スルカ。若シ吾人ガ單ニ智識界(Verstandes-welt)ノ一員ナリシナランニハ、其所業ハ單ニ自然界ノ法則ニ服從セザルヲ得ザルベキナリ。サレドモ智識界ハ唯ダ感覺界ノ終局ナル基礎ヲナスノミナラズ、マタ其法典ノ基礎ヲナスモノナルヲ注意セザルベカラズ。故ニ吾人ハ、一方ヨリ見レハ感覺界ノモノナリト雖モ、マタ智識界ノ一員ナルヲ以テ、是非トモ理性ノ智識的法典ニ服從スベキモノトシテ、其自身ヲ認識セザルベカ

ラザルナリ。

(三五六)

此理性ナルモノハ、自由ノ觀念ニヨリテ吾人ノ意志ニ法典ヲ與ヘ、意志ノ自治力ヲ調整スルモノナリ。故ニ予ハ智識界ノ法典ヲ以テ之ヲ無上太法ナリト考ヘサルヲ得ズシテ、コレニ一致スル所ノ所業ハ、實ニ吾人ヲシテ義務ナリト判セシムルモノトス。若シ吾人ニシテ單ニ智識界ノモノナランニハ、其所業ハ常ニ意志ノ自治力ト調和シツ、アランハ、勿論ナリト雖モ、マタコレト異ナリタル世界ト連絡シツ、アルガ故ニ、吾人ノ所業ハ意志ノ自治力ト當ニ一致スベキモノナラサルベカラザルナリ。即チ情慾ニヨリテ動カサルベキ意志ノ上ニ智識界ニ從屬セル意志ノ附着スルコトヲ理會スルトキハ、吾人ハ直チニ無上太法ノ成立スベキコトヲ知了スルヲ得ベキモノトス。

(五) 實際哲學ノ限界。自由ナルコトハ、唯ダ理性ノ觀念ナルヲ以テ、ソノ客觀的ニ實在スルヤ否ヤハ、モトヨリ明證シ難キモノナリ。自由ナルコトハ其實消極的ナル觀念ナリト雖モ、所業ノ格律ヲシテ一般ニ確實ナル法典ノ性質ヲ有セシムルガ如ク働ク所ノ意志ト稱セラレタル理性ノ積極的作用即チ原因力ト連絡シツ、アル

倫 理 學

倫

理

學

モノナルカ故ニ、之ヲ積極的ナリト考フルコトヲ得ベキナリ。サリナガラ何如ニシテ純粹ナル理性ガ實踐的ノモノトナリ。又何如ニソレガ斯カル自由ナルコトヲ得ルカトノコトヲ説明セントスルニ至リテハ、モトヨリ理性ノ限界ヲ超越シタルモノナリ。何トナレバ吾人ハ何如ナルモノト雖モ、或ル實驗又ハ觀察ニヨリテ與ヘラレベキ法典ニ還元スルコトヲ得ルニアラザルヨリハ、決シテ之ヲ説明シ盡スコトヲ得ザルモノナレバナリ。然ルニ自由ナルコトハ唯ダ單純ナル理想ナリ。ソノ客觀的實在ハ決シテ自然界ノ法則ト一致スルト否トニヨリテ明示セラルベキモノニアラズ。從ヒテ實驗觀察ニヨリテ知り得カタキハ、勿論ノコトト知ルベシ。

吾人ガ斯ク意志ノ自由ヲ主觀的ニ説明シ能ハザルハ、猶ホ彼ノ倫理的法典ニ對シテ吾人ノ有シツ、アル興味ヲ説明シ難キト全ク同一ナリトス。此興味ノ如キハ、唯ダ倫理的感覺ト稱スベキモノニシテ、別ニ他ノ説明ヲ下シ難キモノナリ。此感覺ガ通常倫理的判斷ノ標準ヲナシツ、アリト雖モ其實ハ意志ノ上ニ法典ノ作用アルガ爲メニ、此事アルモノナルヲ以テ、其客觀的基礎ハモトヨリ理性中ニ存スルモノナリ。サレトモ其法典ニ服從スルコトガ吾人ニ興味ヲ與フル所以ニ至リテハ、モト

(三五七)

ヨリ明知シ難キモノナリ。唯ダ興味ヲ與フルガ爲メニ正當ナルニアラズシテ、正當ナルガ爲メニ興味ヲ與フモノナルハ、其法典ガ吾人ノ智識的ノモノナルガ爲メニ生ヲタルモノナルニヨリテ明白ナルベキノミ。自由ナルコトモ、マタ此興味ト等シク、モトヨリ十分ニ説明シ難キモノナリ。從ヒテ唯ダ斯ク假定スルニ過ギザルモノトス。サレドモ己ニ之ヲ假定スレバ、意志ニ自治力アリトスルヲ得ベキモノニシテ、又此自治力アリトスレバ、モトヨリ自由ナルコトアリトセザルベカラザルナリ。茲ニ至リテ、吾人ハ倫理的研究ノ際限ヲ附セザルベカラズ。吾人ハ智識界ナルモノアリテ、合理的ナルモノ、ミ合理的ナルコトヲナスモノアリト考フルコトヲ得ルモノナリ。是レ即チ目的界ナルモノトス。而シテ吾人が其一員タルコトヲ得ベキハ、唯ダ自由ノ太法ニ從ヒテ、始メテ然ルモノナルガ故ニ、此目的界ナルモノコソ、實ニ吾人ヲシテ倫理的法典ニ對シテ活潑ナル興味ヲ有セシムルモノナレトイフベキナリ。

(六) 結論。純粹的ナル理性ガ絶對的必然ニ至リテ止マルニ對シテ、實踐的ナル理性ハ其必然即チ自由ナルコトニ至リテ止マルモノナリ。サレドモソノ必然ナルコト

トノ實存スベキヤ否ヤヲ理解セントスルニハ、コレニ條件ヲ附セザルベカラズ。而シテ其條件ヲ要スル間ニ在リテハ、到底十分ニ理性ノ満足ヲ得ルコト能ハザルモノナリ。サレドモコハ必ズシモ研究ノ過度ニアラズシテ、吾人ノ理性ヲ以テハ容易ニ無條件ニ必然ナルコトヲ捉住スルコト能ハザルノ困難アルニヨルノミ。既ニ斯クノ如キモノナリトセバ、吾人ノ倫理的太法ガ無條件ニ實行の必然ノモノナリトノコトニ至リテモ、モトヨリ十分ニ理解シ難キモノナリト知ルベキナリ。サレトモ吾人ハコレト同時ニソノ何が故ニ理解シ難キモノナルカヲ理解スルコトヲ得タルモノナリ。理性ノ能力ニ關スル限界ヲ發見セントスルヲ以テ目的トスル所ノ哲學ニ於テ合理的ニ要求セラル、範圍内ニ於テハ、實ニ斯クノ如キモノト知ラザルベカラザルナリ。

以上ハ氏ガ倫理哲學之基礎中ニ於テ論述シタルモノ、大要トス。猶ホ氏ハ他ノ書中ニ於テ靈魂ノ不滅及ヒ神ノ存在ヲ以テ倫理上ノ公準トシ、之ヲ曩キニ論述セル意志ノ自由ナル公準ト併立セシメタルモノナリ。故ニ今其要意ノミヲ示サン。靈魂ノ不滅。吾人ハ現時ノ情態ニ在リテハ、感性的生物ニシテ理性ニ制限ヲ與フ

ルコト多キヲ以テ容易ニ倫理上完全ニシテ神聖ナルモノタルコト能ハザルナリ。サレドモ漸時能ク倫理的法典ト一致スルコトノ進歩シタラシニハ、未來、永遠、ノ後ニ至リテハ、遂ニ完全ナルコトニ達スベシト考フルコトヲ得ベキナリ。此進歩ハ、吾人が現世ノミナラズ、來世ニマテ存在スルコトアリテノミ、始メテ見ルコトヲ得ベキモノナリ。故ニ倫理上ニ於テ完全ナルコト即チ至善ナルモノガ現實スルコトヲ得ベキコトニシテ、決シテ不條理ノモノニアラズトセハ、靈魂ノ不滅ハ、モトヨリ之ヲ公準トシテ豫想セザルベカラザルナリ。

神ノ存在 幸福ナルモノハ、合理的ナルモノガ此世ニ存在スル條件ヲナセルモノナリ。故ニ正義ノ觀念ガ善ナルモノハ必ズ幸福ヲ享クベク、不善ナルモノハ必ズ不幸福ヲ享クベキモノトノコトヲ要求スルモノナリ。此反對ヲ考フルガ如キハ、モトヨリ不條理ノコトトス。サレドモコハ唯ダ吾人ノ希望ノミ。現實界ニ在リテハ、往々此希望ニ反對セルコトナキニアラザルナリ。善良ナル人ニシテ不幸福ニ陥リ、不良ナル人ニシテ幸福ヲ得ルモノアルコト、吾人ノ實ニ見聞シツ、アル所ナリ。

斯クテハ功過ト賞罰トガ其宜ヲ得ザルカ故ニ、正義ノ觀念ハ、現實ノ情態ヲ以テハ、

其行爲ニ關スル一切ノ事件ノ完結シタルモノト考アルコト能ハザルモノナリ。從ヒテ未來ニ於テ正當ナル賞罰ヲ行フモノアルベシトノコトヲ考ヘザルヲ得ザルニ至ルモノトス。サレドモ正當ニ斯カル賞罰ヲ行フコトヲ得ベキハ、能ク各個人ノナセル行爲ヲ考ヘテ、如何ナル賞罰ガコレニ該當スベキモノカヲ精確ニ計算シ得ベキ完全ナルモノナラザルベカラズ。即チ絶對的ニ公平無私ニシテ、神聖のニ且ツ智識的ノモノナラザルベカラザルナリ。斯クノ如キモノハ、之ヲ稱シテ神トイフベシ。故ニ神ノ存在モ、マタ之ヲ公準トシテ許サマルベカラザルナリ。

斯クノ如クナルヲ以テ、氏ハ自由意志ト同ク、此等二種ノ公準ヲ立テ、之ヲ倫理上ニ於ケル三公準トシタルモノニシテソノ十分ニ説明スルコトヲ得ベカラザルニモセヨ、是非トモ之ヲ許容セザルベカラザルモノトシタルモノトス。

以上ヲ以テ氏ノ倫理說ノ根幹トス。其詳細ノ如キハ、茲ニ講述スベキ餘地ナキヲ以テ、モトヨリコレニ及ハザルモノト知ルヘシ』

概説 氏ハ吾人が意志ノ唯一ナル主義トシテ、コレニ行爲ヲ合致セシメザルヘカラザルモノハ、實ニ一般ノ法典ナラザルベカラズトシ、之ヲ法式的ニ示シテ、常ニ

一般ノ法典トスルニ適シタル格律ニヨリテ行動スベシトノコト即チ是レナリトシ吾人ノ所謂ル義務ナルモノハ實ニ此法典ニ對シテ感セラレタル尊敬ニ本ツキテ吾人ノ當ニセザルベカラザル所業ノ必然ナルコト即チ是レナリトシ毫モ他事即チ結果等ノ考察ナクシテ單ニ此義務ノ念慮ノミヨリ所業ヲナス所ノ意志ヲ以テ之ヲ善良ナル意志トシ絶對的ニ全然善ト稱シ得ベキモノハ實ニコレノミナリトシタルモノナリ氏ハ猶ホ進ミテ倫理ナルコトハ合理的ナルモノニノミ存在スルモノトシ其主義ノ觀念ハ吾人ノ意志ヲ決定シテ義務的トナスノ點ニ於テ之ヲ理性ノ命令ト稱スベキモノトシ法式ヲ以テ之ヲ示ストキハ太法トナリテミナ當ニ斯克アルベシナル性質ヲ有スルモノトシタリサレドモ其太法ニハ或ル目的ヲ達センガ爲メノ方法トシテ必要ナルコトヲ命令スルモノアリ設若太法是レナリ又絶對的ニ或ル所業ノセザルベカラザルコトヲ命令スルモノアリ無上太法是レナリ而シテ倫理ノ太法ナルモノハ實ニ此後者ニ限りタルモノニシテ一切ノ他事ヲ離レテ其自身ニ於テ當ニセザルベカラザルコトヲ嚴命スルモノナリトシ此太法ナルモノハ即チ汝ノ格律ガ一般ノ法典トナルコトヲ望ミ得ルトキニノミ其格

律ニヨリテ行動スベシ若シクハ汝ノ格律ガ之ヲ採用スレバ一般ノ天然法トナリ得ベキガ如ク行動スベシナル法式ヲ以テ示シ得ベキモノトシタルナリサレドモ氏ハマタ人又ハコレト等シキ合理的ナルモノハ其自身ニ於テ目的ナルヲ以テ決シテ單ニ方法トシテノミ用ヒラルベキモノニアラズトシ吾人ハ自身又ハ他人ニ關スルヲ問ハズ常ニ其人ヲ目的トナシ決シテ方法トシテノミ之ヲ用ヒザラソヤウ行動スベシトノ法式ヲ以テ前ノ法式ト全ク同意義ナルモノトシタリ是レヨリ氏ハ論法ヲ轉シテ吾人が或ル法典ニ對シテ服從ストイヘル以上ハコレニ服從セントスル興味アルモノナルヲ以テ斯克テハ倫理ノ主義モ無條件ノ太法ナリトナシ難シトシ從ヒテ倫理主義ハ之ヲ意志ノ自治力ノ主義トイフヲ適當ナリトシ倫理トハ意志ガ其自治力ニヨリテ彼自身ノ法典ヲ制定シテ吾人ヲシテコレニ準據セシムルコトナリトシ是レヨリ意志ノ自由ナルコトニ關シテ理論ヲ以テ十分ニ説明シ盡シ難キニモセヨ是非トモ之ヲ許容セザルベカラザルコトヲ論フ之ヲ許ストキハマタ自治力アルコトヲモ説明シ得ベキモノトシ從ヒテ意志ノ自由ヲ以テ倫理上ニ於ケル最要ナル公準ナリトセザルベカラズトシ倫理的法典ノ觀念ニ

附着スル或ル興味ノ如キハ、モトヨリコレナキヲ得ザルモノトスルノホカ、別ニ何タル説明ヲモ施シ難キモノトシタル者ナリ。氏ハ猶ホ靈魂ノ不滅及ヒ神ノ存在ノ如キモ、道德ノ完全ナル者及ヒ幸福ノ最高ナル者ヲ考フルニ當リテ己ニコレアルベシト豫想セザルヲ得ザルモノトシ、從ヒテマタ之ヲ倫理上ニ於ケル公準ナリトシ、以テ意志ノ自由ナルコトト併立セシムベキモノトシタリ。之ヲ要スルニ、氏ハ意志ノ自由ナルコトヲ許シテ、始メテ倫理的の法典ノ成立スルヲ得ルモノトシ之ヲ無上大法ト稱スル、絶對的ナル命令ヲナスモノトシ、コレニ服從スルヲ以テ、吾人ノ義務ナリトシ、其念慮ノミヨリ所業ヲナサントスル意志ヲ善良ナル意志トシ、所業ハ單ニ其意志ノ主義ニノミヨリテ倫理的の價值ニ異同アルモノトシタルナリ。

其三 批評

氏ハ倫理的の法典ノ成立スル所以ヲ以テ、之ヲ意志ノ自由ナルコトニ歸シタルモノナリ、故ニ氏ノ倫理說ニ在リテハ、ソノ自由ナルコトノ極メテ重要ナル問題ナルヤ、モトヨリ辨ズルヲ要セザルベシ、然ルニ氏ガ之ヲ説明セルヤ、必ズシモ未ダ十分ナリトイフベカラザルモノアリ。吾人ガ自由ナリト考フルガ爲メニ自由ナリトスベ

シトイヘルガ如キ、又ハ一切ノ合理的ナルモノ、意志ハミナ自由ナリトセザルベカラズトノ立論ヨリ、吾人ノ現實ナル情態ハ暫ク措キ、兎モ角モ之ヲ自由ナリト許サ、ルヲ得ズトシタルガ如キ、必ズシモ完全ナル説明ナリトイフヲ得ザルベシ、何トナレバ吾人ニシテ、氏ノ所謂他ノ合理的ナルモノト全然同一ナルモノナランニハ、此等ノモノト全然一樣ナル論辯ヲ施シ得ベキモノナルニモセヨ、吾人ハ現ニ吾人トシテ、他ノ合理的ナルモノト異ナリタル性質ヲ有シツ、アルモノナルヲ以テ、此者ノ意志ヲ以テ、マタ此等ノモノト等シク、是非トモ自由ナラザルベカラズトイフガ如ク推論シ去ルヲ得ベキモノニアラザレバナリ。且ツ倫理ハ、氏ノ所說ノ如ク、一切ノ合理的ナルモノニ應用スベキガ爲メニ、吾人ニ取リテモマタ正當ナルモノナリトストモ、兎モ角モ吾人ノコトニ就キテ辯論セントコト、實ニ斯學ノ主要トスベキモノナルヲヤ、サレバ氏ノ自由論ハ縱令ヒ其實ニ於テ誤謬ナルニアラズトストモ、其倫理說ノ根據ヲナセルモノナルニモ拘ラズ、斯カル説明ニ放任シ去リタルガ如キハ、反リテ人ヲシテ倫理的の法典ノ眞ニ成立スベキモノナリヤ否ヤヲ疑ハシムルニ過ギザルニ至ルベキナリ。豈ニ不本意ノ至ナラズヤ。

氏ノ倫理説ガ屢、嚴肅的ナリト稱セラル、ハ、倫理ヲ以テ全ク理性ノ命令ニ出ヅルモノトシ、生來ノ偏向等ニヨリテ感動セラレタル所業ノ如キハ、何如ニ義務ト合致スルコトアルニモセヨ、決シテコレニ倫理的價值ヲ許スコト能ハズトシ、倫理上ニ於テ全ク感性ヲ否拒シタルノ點ニ存スルモノナリ。然リ、此點ノ如キハ、實ニ嚴肅ニ失シタルノ非難ヲ免レザルモノナリ、何トナレバ吾人ハ理性的ナルト同時ニ、マタ感性的ノモノナルコトハ、何人ト雖モ之ヲ許容セザルベカラザルモノナルヲ以テ、何如ニ理性ナルモノガ高尙ニシテ正確ナルモノナルニモセヨ單ニコレノミニヨルベクシテ、毫モ感性ニヨルベカラズトスルノ確乎タル理由ノ存スベキモノニアラザレバナリ。

氏ノ無上太法ナルモノハ、一般ノ法典トスルニ適シタル格律ニヨリテ行動スベシトノコトヲ命令スルモノナリトイフニアリト雖モ、何如ナル格律ガ果シテ一般ノ法典トスルニ適シタルモノナリヤ。吾人ハ何ニヨリテ之ヲ明知スルヲ得ベキモノゾ。此點ノ如キハ、單ニ此法式ノミニ決シテ教示シ得ルモノニアラザルナリ。若シ、或ル格律ナラシニハ、或ル結果ニ導キ、他ノ格律ナラシニハ、他ノ或ル結果ニ導クノ故

倫 理 學

倫

理

學

ヲ以テ、一般ノ法典トスルニ適シ、他ハコレニ適セズトスルニ在リトモ、(氏ノ倫理説中詐僞ノ例證ヲ舉ゲタル所ヲ參考セヨ)格律ノ良否ハ、一般ノ法典トスルニ適スルト否トニヨリテ始メテ決定セラル、モノト言ハシヨリハ、寧ロ他ノ標準即チ結果ノ如何ニヨリテ始メテ決定セラル、モノトシツ、アルモノナルヲ見ルベキナリ。果シテ然ラハ氏ノ所謂ル無上太法ノ如キモ、其實ハ氏ガ勉メテ排斥セントシタル幸福ナル觀念ヲ默許シテ、始メテ其法式ノ成立スルコトヲ得ツ、アルニアラザルカ。若シ決シテ然ラズシテ、毫モ幸福ナル結果ノ觀念ナシトセンカ、如何ナル格律ト雖モ、之ヲ一般ノ法典トスルコト能ハザルノ理由ナカルベキヲ以テ、何ヲ標準トシテ彼此ノ格律ヲ取捨セザルベカラザルモノトスルカ。吾人ハ之ヲ解スルニ非常ノ困難ヲ感スルモノナリ。斯クノ如クナルヲ以テ、氏ハ、無上太法ハ、毫モ他事ニ關係ナク、其自身ニ於テ絶對的ナル價值アルモノトシタルモノト雖モ、其實ハ、暗々裏ニ於テ幸福ナル結果ノ觀念ヲ許容シツ、アルモノナルヲ見ルモノトス。

氏ノ所説ハ、其表面上ニ於テハ嚴肅的ナルニモ拘ラズ、神ノ存在ヲ許シテ、完全ニ善良ナル人ハ最高ナル幸福ヲ享クベキモノニシテ、神アリテ、未來ニ於テ此處置ヲナ

スベシト考ヘタルガ如キモ、マタ幸福ナルコトヲ以テ善良ナルモノトシ、所業ナルモノハ必ス當ニ斯カル善果ヲ生スルカ如クアルベキモノナリトノコトヲ許シタルモノナルヲ見ルベキナリ。氏カ後日ロツソエ氏等ニヨリ自家撞着ノ點トシテ批評セラレタルモノ、實ニ此等ノコトアルニヨレリ。

第四節 ロツソエ氏

其一 傳記

氏ハ名タルドルフ、ヘルマン (Rudolf Hermann) ト呼ビ、千八百十七年五月ヲ以テ獨逸ザクセン國 (Saxen) ノバウツェム (Bautzen) ニ生レタリ。氏ハ始メ或ル中學ニ於テ豫修ヲナシ、千八百三十四年ニ至リテ遂ニライプツヒノ大學ニ進入シテ、専ラ醫學ノ研究ニ從事シタリ。サレドモ氏ハ當時ノ哲學教授ワイセ (Weisse) ノ爲メニ獎勵セラレ、マタ哲學ヲモ研究スルコトトナリシナリ。卒業後、氏ハ直チニ同校ノ醫學教授トナリ、後ニマタ同校ノ哲學教授トナリ、千八百四十四年ニ至ルマデ、専ラ其職ニ精勵シタリ。

然ルニ其年ニ至リ、生理學者ワグネル (Wagner) ノ推舉スル所トナリ、氏ハ遂ニゴッテンゲンノ大學ニ轉シテ、哲學ノ教授トナリ、ヘルバルト氏ノ後ヲ承ケテ、其職ニ在リシコト、實ニ三十有七年ナリシナリ。

千八百八十一年ニ至リ、氏ハ同大學ヲ辭シテ、ベルリン大學ニ轉シ、殆ド一學期ノ講題ヲ終ヘズシテ、遂ニ此世ヲ去ルニ至レリ。實ニ其年ノ七月ナリシナリ。年ヲ閱セシコト六十有四回ナリ。

氏ハ多クノ著書ヲ遺セリ。醫學ニ關セル著述モマタ少カラズト雖モ、茲ニハ唯ダ哲學ニ關セルモノノミヲ紹介セン。小宇宙論 (Mikrokosmos) 哲學 (System der Philosophie) 等有名ナルモノナリ。特ニ倫理學ニ關シタルモノニ「倫理學大意 (Grundzüge der Praktischen Philosophie)」アリ。其他宗教、美學、心理、論理等ニ關シタルモノアリ。此等ハミナ大學ニ於テ講述シタルモノヲ出版シタルナリ。

氏ハ哲學者トシテハ、近時希有ノ大家ニシテ勉メテ不偏不黨ノ折衷主義ヲ採用シタルモノナリ。而シテ其倫理說ハ哲學的ナル直覺說ヲ唱ヘタルモノトス。

其二 倫理說

氏ノ倫理説ハ其著倫理學大意中ニ在リ。左ニ唯ダ其要點ノミヲ摘述セン。
 此書別チテ二部トナセリ。第一篇ニ於テハ「倫理主義」ノ探究「單純ナル倫理的觀念」及
 「意志」ノ「自由」ノ三事ヲ論シ。第二篇ニ於テハ「專ラ實際上ノ倫理」ニ就キテ論シタル
 モノナリ。故ニ茲ニハ其前者ニノミ就キテ、其要意ヲ紹介スルモノト知ルベシ。
 氏ハ倫理主義ニ關シテハ次ギノ如ク辯ゼリ。最モ高尚ナル倫理的法典ノ内包ハ、智
 カノ著大ナル作用ヲ要シテ、始メテ發見シ得ベキモノナリ。サレドモ倫理ノ根本的
 ナル法典ニ至リテハ、若シ此等ハモノハニシテ相當ハ價值アルモノハトセバ、ミナ個人
 ニ直接的ニ明亮ニシテ、且ツ確實ナルモノナリ。換言スレバ「良心ノ聲」(Stimme des Ge-
 wisSENS)ナルモノアリテ、特殊ノ場合ニ應ヨテ、自身ノ前ニ現出セル所業ニ就キテソ
 ノ賞スベキカ、將タ難ズベキカニ關スル指導ヲナス、モノナリ。
 吾人ハ、マタコノ良心ノ聲ニヨリテ、快樂ニ種々ノ異類アルコトヲ告示セラル、モ
 ノナリ。絶對的ナル快樂ハモトヨリ實存セルモノニアラサルヲ以テ、既ニ快樂アリ
 トセバ、モトヨリ千差萬別ナルモノナラザルベカラズ。即チ情慾的ナル快樂ニ比シ
 テ、一層高尚ナル倫理的快樂ナルモノモ、マタ實存セザルベカラザルナリ。人或ハ此

種ノ智識ヲ以テ斯カル原因ヨリ得ベシトスルヲ好マズシテ、之ヲ一層深遠ナル攻
 究ニヨリテ始メテ知り得ベキモノト考フルモノアリト雖モ、斯クノ如キハ單ニ博
 學ヲ術ヲニ外ナラザルモノナリ。
 サレバ倫理ニ關シテモ、快樂ナルコトノ存在スルハ、モトヨリノコトナリ。或ル行爲
 ハ幸福或ハ快樂ヲ増進スルコトアルベク他ノ行爲ハ不幸又ハ苦痛ヲ生起スルコ
 トアルベキナリ。故ニ倫理的法典ト「快苦」トノ間ニハ、決シテ離去スベカラザル關係
 ノ存在スルモノナリ。毫モ結果ニ關係ナキモノニシテ、絶對的ニ義務的ナル行爲ア
 リト説クガ如キハ、其意見ノ高尚、優美ナルハ暫ク措キ、モトヨリ誤認タルヲ免レザ
 ルナリ。
 サレドモ如何ニ快樂ナルモノガ倫理主義ト重要ナル關係ヲ有スルニモセヨ、之ヲ
 以テ倫理上ノ主要ナル主義トナサントスルガ如キハ、モトヨリ不十分ノコト、知
 ラザルベカラズ。何トナレバ此主義ニ基キタル行爲ノ規律ハ良心カ倫理的格律ニ
 歸スル所ノ絶對的價值ト一致スルモノニアラザレバナリ。良心ハ快樂ヲ得ント勤
 ムルコトヲ以テ其自身ニ於テハ、自然ニシテ決シテ難スベキモノニアラストナス

モノナリ。サレドモ之ヲ以テ決シテ功勳アルモノト認メザルナリ。良心ナルモノハ、個人ノ快樂ヲ得ンガ爲メノ目的ニヨリテ決定セラレザル他ノ行爲ヲ以テ、反リテ價值アルモノトナシツ、アルモノナリ。

彼ノカントノ倫理説ヲ見ズヤ、頗ル嚴肅的ナル法式ヲ以テ倫理的の法典ナリトナシツ、アリト睚モ幸福ナル觀念ヲ離レテハ、モトヨリ何タル意義ヲモ有セザルモノニシテ知ラズ、識ラズ、之ヲ許容シテ始メテ其法式ノ成立シツ、アルモノナリ。サレバ如何ニ嚴肅ナル意思ノ倫理ニモセヨ、全然快樂ト關係ヲ絶ツガ如キハ、モトヨリナシ能ハザルコトヲ示スモノトイフベキナリ。

氏ハ是レヨリ良心ガ吾人ニ指示スル所ノ單純ナル倫理的の觀念ニ就キテ、コレニ左ノ四種アルコトヲ辯シタリ。

(第一)動機ヲ生スル感性。吾人ハ、他人ノ幸、不幸ニ對シテハ、同情的ニ相當ノ熱心ナル感情ヲ表示セザルベカラズ。此感性ハ三種ノ情態トナリテ現ルベキナリ。

- 一 感性ノ微弱ナラザルベキコト。
- 二 感性ノ偏僻ナラザルベキコト。

三 感情ノ事件ノ大小ニ比例的ナルベキコト。

(第二)動機ノ効力。動機ハ單ニ心内ニ於ケル動機トシテ止マルベキニアラズ、是非トモ其影響ヲ外界ニ及ボシ、以テ行爲ナルモノヲ生セシムベキナリ。コレニ就キテマタ三種ノ注意スベキコトアリ。即チ左ノ如シ

- 一 退讓 到底成就シ得ベキモノニ對シテハ、其進歩ヲ禁制スベシ。
- 二 勢力 成就シ得ベキモノニ對シテハ、勢力ト熱心トヲ以テ勇進スベシ。
- 三 自信 前二者ノ場合ニ於テ共ニ倫理上ノ確信ヲ以テ其身ヲ處スベシ。

(第三)行爲ノ内包。行爲ハモトヨリ其内包ナカルベカラズ。而シテ倫理的の行爲ニ於テハ、其内包ニ三種ノ別アリ。即チ左ノ如シ。

- 一 仁愛 吾人ハ不必要ノ場合ニ於テ、一事件又ハ一結果ノ發達ヲ妨害スルガ如キコトアルベカラザルナリ。
- 二 正義 若シ吾人ノ意志ガ他人ノ意志ト衝突スルコトアルトキハ、是非トモ自己ノ願望ヲ制限セザルベカラザルナリ。
- 三 返報 喜悅又ハ憂苦ヲ生セシメタル意志ニ對シテハ、コレニ相當セル賞罰

ヲ與ヘザルベカラザルナリ。

(第四)人格。行爲ニ就キテ其主タルベキモノハ、實ニ眞實ノ人格(Personlichkeit)ニアリ。コレニ要スルモノニ次ギノ三種ノコトアリ。

- 一 行爲ノ整合 行爲ハ常ニ前後不合ナルガ如キコトアルベカラズ。
- 二 倫理ノ習慣 行爲ハ倫理的習慣トナリテ神聖トナラサルベカラズ。
- 三 特性ノ發達 各個人ハ社會ノ貴重スベキ一員ノ責任トシテ其特性ヲ發達セシメザルベカラズ。

以上四種ノ觀念中、第一第二及ヒ第四ハ倫理的行爲タルコトヲ得ルニハ必然的ニ表示スル所ノ條件ナリト雖モ、倫理的行爲ノ實性ヲ構成スルモノニアラズ。故ニ單ニ此等ノ條件ヲ有スルノミテ以テハ、必ズシモ倫理的行爲タルニアラザルナリ。第三ノ觀念ノミ、眞ニ倫理的行爲ヲシテ倫理的行爲タラシムル實性ニシテ、特ニ仁愛ノ觀念ヲ以テ吾人ヲシテ無條件ナル賞賛ヲ喚起セシムルモノトス。此者ヤ自己ノ安全幸福ヲ追求スルニアラズシテ、他人ノ安全幸福ヲ生出センコトヲ勉ムルモノナリ。故ニ倫理上ニ於テ最モ功勳アルモノニシテ倫理學ニ於ケル根本的ナル觀念

ヲナセルモノトイフベシ。

此等ノ倫理的觀念ハ、決シテ經驗風習等ノ結果トシテ、生出セラレタルモノニアラズシテ、ミナ倫理的能力即チ良心ノ吾人ニ告示スル所ノモノトス。縱令ヒ此等ノ諸勢力ハ倫理的能力ニ多少ノ變更ヲ與フルコトアルベシトストモ、決シテ其原因タルコト能ハザルモノナリ。吾人ニ倫理上ノ判斷ナルコトヲナスコトアルハ、實ニ良心ノ本來ヨリ存スルコトアルニヨルナリ。

氏ハマタ意志ノ自由ニ關シテハ、次ギノ如ク論ヲタリ。若シ吾人ニシテ無條件ニ倫理的觀念ノ權威ニ從屬セザルベカラザルモノトセバ、吾人ハ是非トモ斯クナスコトヲ得ベキ能力ナカルベカラズ。即チ意志ノ自由ナルコトヲ許サマルベカラザルナリ。若シ之ヲ許サマランカ義務ノ觀念ノ如キハ全ク不條理ノコトトナリ果テソノミ、責任及ヒ懺悔ノ感情ノ如キハ實ニ能ク意志ニ自由アルコトヲ示シツ、アルモノナリ。

然ルニ自由ナルコトハ因果ノ定律ト一致セザルモノナルヲ以テコレニ對シテ必至論ヲ唱フルモノナキニアラザルナリ。サレドモ予ハ問ハシ因果律ナルモノハ萬

事萬物ニ通シテ果シテ何タル、例外ヲモ許サザルモノトイフベキカト。吾人ハ、世界又ハ運動等ニ就キテハ、決シテコレニ其原因、起原等ヲ歸スルコト能ハザルモノニアラズ、予ハ吾人ノ意志ニ就キテモ、マダコレト同一ナルコトヲイヒ得ベシト考フ。總テ事物ノ説明ナルモノハ、之ヲ其原因ニ還元スルヲイフニ在リ、然ルニ意志ヲ自由ナリトイフハ、已ニ其原因ナキコトヲ許スモノナリ。故ニソノ自由ナルコトノ十分ニ説明スベカラザルハ、モトヨリ當然ノコトトイフベシ。サレドモ自由ナルコトハ、決シテ考ヘ得ベカラザルモノニアラズ、又決シテ許容スベカラザルモノトイフベカラサルナリ。故ニ之ヲ以テ倫理上ニ於ケル公準トシテ毫モ不可ナルコトナカルベキナリ。

以上ハ、唯ダ倫理學大意ノ第一篇ニノミ就キテ其趣意ノ要所ヲ摘述シタルモノナリ。猶ホ氏ハ「小宇宙論」ニ於テ、以上ノ倫理說ヲ世界ノ哲學的見解ト連絡セシメタルモノアリト雖モ、茲ニハ唯ダコレニヨリテ、ソノ關係セシメタル點ノミニ就キテ、一言スルニ止ントス。

氏ハ倫理學ヲ以テ世界ノ三要素(原理、事實及ビ品性)中ノ二ナル品性ニ就キテ研究

スルモノトシ、之ヲ以テ一切ノ哲學ノ中點ヲナスモノトシタリ。又氏ハ純正哲學ニ於テ、絕對的ナル實體トナス所ノモノハ、倫理學ニ在リテハ神ナル絕對的ニ神聖ニシテ、仁愛的ナルモノトナルベシトシタルモノナリ。即チ吾人ノ理論的要求ガ、世界ハ一個ノ絕對的ナル實體ヨリ成ルコトヲ說キテ、始メテ満足シ得ルト等シク、吾人ノ倫理的要求ハ、目的ト方法トノ關係ニ於ケル終局ナル基礎ヲ以テ、絕對的ニ完全ナル神ナルモノニ歸シテ、始メテ満足スルコトヲ得ルモノナリトナシ、ナリ、以上ヲ以テ氏ノ倫理說ノ簡ノ簡ナルモノトス。

概説 氏ハ倫理的、法典ヲ以テ吾人ノ良心ニヨリテ直接的ニ明亮ニ且ツ確實ニ知得セラル、モノトナシ、コレト同時ニ、其良心ナルモノハ、吾人ニ示スニ快樂ニ種々ノ異類アルコトヲ以テスルモノトシ、是レヨリ倫理的、法典ト快樂、苦痛トノ間ニハ、決シテ離去スベカラザル、密着ノ關係アルモノトシテ、快樂教ト嚴肅ナル直覺教トノ調和ヲ試ミタリサレドモ、氏ハ決シテ快樂ナルモノヲ以テ倫理主義ニ於ケル主要ナルモノトナサズシテ、ミナ之ヲ良心ノ下ニ從屬セシメタルモノナリ。次ギニ氏ハ單純ナル倫理的觀念ニ關シテ、動機ヲ生スル感性、動機ノ効力、行爲ハ、内包、及ビ

人格ノ四種アリトシ、ミナ之ヲ小別シテ、コレニ説明ヲ施シタリ。而シテ此等ノ中特ニ第三ノ觀念ヲ以テ倫理上ニ於テ極メテ重要ナルモノトナセリ。且ツ氏ハ此等一切ノ觀念ヲ以テ之ヲ經驗、風習等ニ基クトスルノ說ニ反シテ、斯カル諸勢力ハ單ニ倫理的能力即チ良心ニ對シテ多少ノ變更ヲ與ヘ得ルノミニ過ギズトナセリ。次ギニ自由意志ノコトニ關シテハ之ヲ許サズンハ、義務ノ觀念ノ如キモノハ、全ク不條理ナルモノトナリ果ツベシトシ、因果ノ定律ト違反スルガ如クアルニモセヨ、萬物ノ終局ナル原因ノ歸シ難キモノアルト同一ニ意志ニ就キテ考ヘ能ハザルノ理ナキモノトシテ之ヲ倫理上ニ於ケル公準ナリトナセリ。又氏ハ以上ノ倫理說ヲ世界ノ哲學的見解ト連絡セシメ倫理學ヲ以テ世界ノ三要素ノ一ナル品性ニ就キテ研究スルモノトシ、之ヲ以テ一切ノ哲學ノ中點ヲナスモノトシ、且ツ純正哲學ニ於テ絕對的ノ實體トナス所ノモノハ斯學ニ於テハ之ヲ神ナリトシ、始メテ吾人ノ倫理的要求ガ満足シ得ルモノトシタルモノナリ、要スルニ氏ノ倫理說ハ、從來ノ功利、直覺二說ノ偏僻ナルヲ折衷シタル一種ノ直覺說ニシテ且ツ之ヲ世界ノ哲學的見解ト連絡セシメタルモノナルヲ以テ、之ヲ哲學的直覺說ト稱スベキモノトス。

其三 批評

氏ガ從來ノ極端說ヲ調和センコトヲ試ミタルノ點ハ、予ノ大ニ贊同スル所ナリ。予ハモトヨリ功利教ノ一方ニ僻シタルヲ知ルト同時ニ、カント氏ノ所說ガマダ他ノ一方ニ偏シタルモノナルヲ知ル。サレドモマダ驕リテ熟察スルトキハ、功利論者モミル氏ニ至リテハ大ニ良心ノ作用又ハ勢力ヲ是認シタル所アルヲ見ルノミナラズ、カント氏モマダ一般ニ採用スベキ法典ヲ説明スルニ當リテ、知ラズ識ラズ、功利ナルコトノ觀念ヲ許容シツ、アルヲ見ルモノナリ。是レ共ニ極端說ノ十分ニ維持シ難キコトヲ明示シツ、アルモノニアラザランヤ。ロツツエ氏ノ明、茲ニ見ルアリ。遂ニ兩者ヲ折衷シテ自家ノ倫理說ヲ創立シタルモノ、其意誠ニ嘉スベシトイフノ外アルヲ知ラガルナリ。

サレドモ予ハ茲ニ一言ノ洩スベキモノアリ。氏ハ唯ダ快樂若シクハ幸福ノ倫理主義ト離去スベカラザル現象アルコトヲ說キシモノニ過ギズシテ、如何ニ密着ナル關係アルニモセヨ、倫理上ニ於テ重要ナルモノハ單ニ良心ノ聲ノミナリト論斷シ去リタルニ至リテハ、近時ノ學說トシテハ少シク不満足ナル所ナシトスルヲ得ザ

ルナリ。何トナレバ倫理主義ヲ以テ快樂若シクハ幸福トハ全然無關係ノモノナリト極論シタルモノハ、單ニカント氏ノ如キ嚴肅論者ニノミ限リタルモノニシテ、其他一般ノ倫理學者ニ至リテハ必ズシモミナ此關係アルコトヲ許容セザリシモノニアラザレバナリ。且ツカント氏ト雖モ、氏モ自ラ知レルガ如ク、知ラズ識ラズノ間ニ此關係アルコトヲ否定シ去ルコト能ハザリシモノアルニ於テヤサレバ苟モロツツ氏ニシテ此等二者ノ間ニ密着ナル關係アルコトヲ認識セル以上ハ、猶ホ深ク其關係ニ就キテ奇拔ナル意見ヲ附與セラレタランコト、吾人ノ大ニ囑望スル所ナリシナリ。然ルニ氏ハ、仁愛ナルモノハ他人ノ安全、幸福ニ關係スルモノニシテ、倫理上ノ根本主義トナレルモノナリトイヘル萬人一般ニ認識シツ、アルモノヲ執ヘテ、倫理主義ト安全、幸福トノ間ニ密着ナル關係アルコトヲ明示シタルノホカ、其關係ノ情態、相互ノ影響何如等ノコトニ至リテハ特ニ新奇ナル意見ヲ與ヘタルモノニアラザリシナリ。予輩ハ此等ノ點ニ就キテ大家ロツツ氏等ノ如キモノ、意見ニ接セシコトヲ望ミツ、アルモノナリ。而モ猶ホ未ダ其希望ヲ満足セシムルコト能ハザルナリ、予輩ノ遺憾トスル所、實ニ此點ニ在リ。

氏が自家ノ哲學組織ニ基キ、倫理上ノ觀念ヲ以テ世界ノ哲學的解見ト連絡セシメ、倫理學ガ一個ノ哲學トシテ確實ナル位置ヲ有セルコトヲ明ナラシメンガ爲メニ、吾人ノ倫理的要求ガ絕對的ナル實體ナルモノヲ説キテ、満足スルト等シク、吾人ノ倫理的要求ガ神ナル絕對的ニ神聖ニシテ、且ツ仁愛的ナルモノヲ説キテ、始メテ満足スルヲ得ベキモノトシタルガ如キハ、或ル點ヨリ見タランニハ、モトヨリ不可ナリトスベキモノナシト雖モ、之ヲ他ノ點ヨリ見タランニハ必ズシモ吾人ノ首肯スヘキモノニアラザルヲ見ルベシ。何トナレバ吾人ハ、倫理上ノ要求ニ於テ、實體ナルモノヲ説カザルコトヲ得ザルニモ、セヨ、倫理上ノ要求ニ於テハ必ズシモ神ナルモノアリト考ヘザルヲ得ザルカ如クナリツ、アルモノニアラザレバナリ。迷信家ノ神ノ如キハモトヨリ評論外ナリト雖モ、彼ノ哲學者流ノ神ナルモノニ至リテハ、若シ眞ニ彼等ノ所謂、實體ナルモノト同一ナルガ如キモノナリトセバ、コハ必ズシモ倫理上ノ要求ニ於テ成立スベキモノニアラズシテ、全ク純粹ナル理論上ノ要求ニ於テノミ始メテ成立スルヲ得ベキ觀念ナルニハアラザルカ。果シテ然ランニハコハ萬人一般ナル倫理上ノ要求ニアラザルヲ以テ、氏ノ所説ノ如キハ、マダ必ズシ

モ萬人一般ニ之ヲ承認セザルヲ得ザルモノトスル能ハザルヘシ。
予ハ大體ニ於テ氏ノ所説ノ穩當ナルコトヲ認ム故ニ今其細評ニ及パス。

第七章 結論

予ハ前數章ニ於テ倫理學ニ關スル諸大家ノ所説ヲ紹介シ、コレニ批評ヲ附シテ、其説ノ適否ヲ吟味センコトヲ試ミタリ。是レヨリ聊カコレガ結論ヲ附シ、以テ本講義ヲ完了スル所アラソ。予ハ先ヅ以上講述シ來リタルモノニ就キテ、其概説ヲ與ヘ、然ル後ニコレガ結論ニ及バントス。

予ハ倫理學ノ定義及ヒ範圍中ニ於テ、諸氏ノ與ヘタル定義ヲ批評シ、倫理學ヲ以テ吾人ノ行爲ニ關シテ單ニ其正邪、善惡ナルコトノミヲ研究スルモノトスルノ適當ナルモノトシ、此定義ノ許容スル所ニ直接ナル關係ヲ有スルコトニ限リテ、之ヲ斯學ノ範圍ナリトシ、妄ニ他ノ學科ト關係アルノ點ヲ理由トシテ、其範圍ヲ超越スベキモノニアラストシ、世ノ學者ガ往々他ノ學科ノ範圍内ニマテ進入シテ、斯學ノ精密ナル研究ヲナセリトシテ、得々タルガ如キモノアルハ、全ク科學ニ分化アルコトヲ忘却シタルモノナルコトヲ辯サタリ。

次ギニ予ハ進ミテ、倫理學説ノ分類ニ就キテ、次ギノ如クニ論ゼリ。
正邪、善惡ナルコトニ關シテハ、古來ノ學者必ズシモミナ其標準ヲ一ニセズ。コヽニ於テカ種々ノ異説アルニ至ル。今其小異ヲ捨テ大同ヲ取リテ、之ヲ分類スルトキハ實ニ左ノ四種トスベキナリ。即チ

- (一) 哲學的倫理説
 - (二) 功利的倫理説
 - (三) 科學的倫理説
 - (四) 直覺的倫理説
- 是レナリ。

哲學的倫理説トハ其説ノ基礎ヲ世界ニ關スル自己ノ哲學的見解ヨリ抽出センコトヲ試ムルモノニシテ、彼ノ神意ヨリ正邪善惡ノ觀念ヲ抽出セントスル神學的倫理説ノ如キモ、マタ茲ニ附説トシテ論スベキモノトス。功利的倫理説トハ幸福、利益等ヲ主トシテ、正邪善惡ヲ判別センコトヲ試ムルモノニシテ、コレニ自己ヲ主トスル私人的功利、救及ビ、一般人ヲ主トスル公共的功利、救ヲ包含スルモノナリ。科學的倫理説トハ實驗科學ノ教示スル所ニ基キ、重ニ生物生存ノ理ニヨリテ行爲ヲ判斷センコトヲ勉ムルモノ、即チ是レナリ。直覺的倫理説トハ更ニ外界ノ標準ヲ求ムルコトナクシテ、吾人ガ直接ニ正邪、善惡ヲ覺知シ得ベキ能力アルモノトスルモノニ

シテ、コレニ獨斷的ナルモノ及ヒ理論的ナルモノ、二種アリ猶ホ小別スルトキハ、
 瑣々ナル點ニ於テ種々ニ異同セル諸説ヲ包含シツ、アルモノナリ。
 此等ノ諸説ハミナモトヨリ有名ナル大家ニヨリテ主張、辯護セラル、モノナリト
 雖モ、必ズシモミナ正確ナリトシテ、許容スベキモノニアラザルヤ、萬々ナリトス。故
 ニ予ハ是レヨリ進ミテコレカ比較、評論ヲナサンコトヲ以テ、本講義ノ目的トシタ
 ルモノナリ。
 予ハ首トシテ哲學的倫理説及ヒ其批評ノ章ニ於テ、先ヅ此派ノ大家ヲ紹介シ、其代
 表者トシテスピノザ、シヨ、ベンハウエル、ハルトマン三氏ノ所説ヲ講述シテ、歸スル
 所、哲學ニ於テ唱道セル實験論ノ如キハ、極メテ空漠ニシテ不安定ノモノナルヲ以
 テ、之ヲ根據トシテ實際的ナル倫理上ノコトヲ説明、論下セントスルガ如キハ、危險
 モマタ甚シトシ、適當ナル研究法ハ反リテ其正反對ニアルベキ旨ヲ論シ、其他猶ホ
 三氏ニ特殊ナル點ニ關シテ、ワノ不可ナル所アルヲ難シタリ。マタ附説トシテ、神學
 的倫理説ニ關シテ、神意ニ服從スルヲ以テ正又ハ善ナリトナスハ、吾人カコレニ先
 キダチテ既ニ正邪善惡ノ觀念ヲ有シツ、アラザルベカチザルヲ以テ、此種ノ觀念

ハ、決シテ神意ヨリシテ始メテ抽出シ來サルベキモノニアラザルコトヲ明示シツ
 、アルモノナル所以等ヲ辯シタリ。
 功利的倫理説及ヒ其批評ノ章ニ於テハ、前章ト同ク、此派ノ諸大家ヲ紹介シ、私
 人的功利説トシテ、ホッブズ氏ノ所説ヲ講述シテ、ソノ採用シ難キ所以ヲ辯シ、公
 共的功利説トシテ、ベンザム、ミル二氏ノ所説ヲ紹介シテ、最大數ノ最大幸福ナル意義ノ漠
 然タル所以、快事ト善事ト同一視シ難キ所以、倫理上ニ於テハ、現實ノ結果ニ重キヲ
 置クノ不可ナル所以等ヲ述ベテ、此説ノマタ採用スルニ困難ナル所以ヲ明示シタ
 リ。
 科學的倫理説及ヒ其批評ニ於テハ、先ヅ此説ノ近時ノ出現ニ係ル所以ヲ述ベスベ
 シセル氏ノ所説ヲ以テ其代表者トナシ、コレニ批評ヲ與ヘテ、一方ヨリ論スレバ、功
 利説ト同一ナルモノト見ルヲ得ベク、他方ヨリ評スレバ、倫理上ノ善惡ニ關スル十
 分ノ説明ヲナシタルモノトナシ難シトノ所以ヲ辯シ、唯ダ其所説ノ斬新ニシテ、大
 ニ參考トスベキモノナキニアラザルヲ以テ、倫理學者ノ注意スベキ所説ナリトノ
 コトヲモ一言シタリ。

直覺的倫理說ニ就キテハ、先ヅ此派ノ零碎ヲ陳述シテ、次ギニ獨斷的ナルモノ、代表者トシテカント、ロツツエ二氏ノ所説ヲ述ベ、コレニ短評ヲ附シテ、大體ニ於テハ別ニ非難スベキコトナキ所以ヲ辯シ、唯ダ瑣末ナル點ニ於ケル一二ノ缺點等ヲ指摘スルニ止メ、此派ノ倫理說ヲ以テ適當ナル修正ノ上、最上ナル倫理說トシテ成立セシメ得ベキ所以ヲ示シタリ。

以上ヲ以テ予ガ本講義ニ於テ講述シ來リタルモノ、概要トス。是レヨリ予ガ意見ノ所々ニ散在セルモノ、重要ナルモノヲ一括シ、コレニ多少ノ増補ヲ與ヘ、以テ本講義ヲ完了セント欲ス。サレドモ予ハ徒ニ冗長ニ失センコトヲ恐ル、ヲ以テ、唯ダ左ノ八項ニ就キテ爲シ得ベキ限リ要點ヲノミ説述スルニ止メントス。

- (一)善惡ノ標準
 - (二)良心
 - (三)義務
 - (四)德行ノ主義
 - (五)善事及ヒ快事
 - (六)意思及ヒ結果
 - (七)意志ノ自由
 - (八)餘論
- 予ハ茲ニ附言ス。此等ノ八項ハ、予ガ諸氏ノ倫理說ヲ批許スルニ當リテ、一二言ヲ附シタルモノヲ掲ケタルニ過ギザルガ故ニ、必ズシモ之ヲ以テ完全ナル倫理學ヲ組

續シ得ベシトイフニアラズ。又其順序ノ如キモ、斯クノ如クナラザルベカラズトイフニアラザルナリ。請フ、是レヨリ順次コレガ零碎ヲ與ヘン。

(一)善惡ノ標準 倫理學ハ吾人ノ行爲ニ關シテ其正邪、善惡ヲ研究スルモノナリトセバ、主トシテ其正邪、善惡ヲ判斷スベキ標準如何ヲ考フルノ必要アルヤ、モトヨリ論ズルヲ要セザルベシ。サレドモ之ヲ研究セントスルニ當リテハ、モトヨリ吾人ノ行爲ニ關スル實際上ノ事實ヲ調査スルコトナカルベカラザルナリ。即チ吾人ガ事實上ニ於テ何如ニシテ所業ノ正邪、善惡ナルコトヲ判斷シ、何如ナル行爲ヲ正又ハ善トシ、何如ナル行爲ヲ邪又ハ惡トスルカヲ調査セザルベカラザルナリ。已ニ然リトセバ、彼ノ徒ニ空漠タル世界ノ實証論等ヨリ理論ノミヲ以テ、之ヲ推斷、想定シ得ベキモノニアラザルハ、モトヨリ論外ノコトトイフベシ。哲學的倫理說ノ標準ガ採用シ難キハ實ニ此點ニ在リ。

マタ吾人カ實際上ニ於ケル行爲ノ正邪、善惡ナルコトヲ考究スルトキハ、快樂等ヲ與フル行爲ガ、必ズシモ正若シクハ善ト稱セラル、コトナク、苦痛等ヲ與フル行爲ガ、必ズシモ邪若シクハ惡ト稱セラル、コトナキヲ發見スルモノニシテ、此事ノ決

シテ迷信又ハ誤見ニ出ザルモノニアラザルコトヲ確認スルコトヲ得ルモノナリ。茲ニ於テカ、吾人ハ行爲ノ正邪、善惡ハ功利主義ニヨリテ判斷シ得ベキモノニアラストノコトノマタ許容セザルベカラザルコトヲ見ルモノナリ。吾人ハマタ生物ノ生物タル所以ヲ全ウスルコトノ如キハ、モトヨリ善ナリト稱スベキコトノ多々ナルヲ知ル。サレドモコハ必ズシモミナ善ナリト稱スベキモノニアラズ。生物ガ生物タル所以ヲ全ウスル行爲中ニ於テハ、單ニ自然的ナル行爲ニ過キズシテ、毫モ倫理的價值ヲ有セザルモノ、無數ナルモノナリ。コハモトヨリ正確ナル事實ニシテ、此點ニ就キテハカント氏ノ言ノ大ニ肯綮ニ中ルモノアルヲ見ルモノナリ。已ニ此事アリ、吾人豈ニ妄ニスベンセル氏ノ標準說ニ左祖スルコトヲ得ベキモノナランヤ。

正邪、善惡ナル語ニシテ、世人ノ常用スル所ガ悉クミナ誤認ナリトスルコトナキ以上ハ、予ハ此事ノ標準ヲ徒ニ一ニ外物ニ求メントスルノ謬見ナルコトヲ信ズルモノナリ。吾人ハ實ニ正邪、善惡ナルコトヲ直覺シ得ベキ能力ヲ有シツ、アルモノナリ。嘗ニ今日ノ世人ガ之ヲ直覺シツ、アルノミナランヤ。歴史ノ明示スル限り、推

論ノ及ビ得ル範圍内ニ於テハ、世人ガミナ此能力ニヨリテ正邪、善惡ナルコトヲ判斷シ來リタルモノナルヲ確認スルヲ得ルモノナリ。決シテ外界ナル一ニノ標準ニヨリテ之ヲ判斷シ來リタルガ如キ事實アルヲ發見セザルモノナリ。此言ニシテ誤ラズトセバ、此點ニ於テハ、直覺派ノ唱フル所、遙ニ他ノ諸派ノ所說ニ超越シタルモノナルヤ、モトヨリ一ノ疑フベキモノナシトイフベシ。但シソノ茲ニ直覺ト云ヘルコトノ意義何如ソノ如キハ、漸時述アル所ニヨリテ自ラ明白タルヘシ。

論者アリ、曰ハク直覺論者ハ標準ト能力トヲ混同セリト。然リ、標準ハ標準ニシテ、能力ハ能力ナリ。モトヨリ之ヲ混スルヲ許サルナリ。サレドモ論者ヨ、能力ナルモノハ異ナリタル行爲ニ對シテハ、其情態ニ相當ノ變化アルコトアルヲ看過スルコトナカレ。吾人ハ實ニ外界ノ標準ヲ離レテ、單ニ其情態ノ如何ニヨリテ自ラ能ク行爲ハ正邪、善惡ヲ直覺スルコトヲ得ルモノナリ。是レ即チ其能力内ニ之ヲ判斷スベキ標準ナルモノ、存シツ、アルニアラザランヤ。サレバ此ノ能力ハ一方ヨリ見レバ理

理ノコトニ關スル能力ナリト雖モ、他方ヨリ見レバ、其自身ニ於テ善惡ノ標準トナリツ、アルモノナルヤ、モトヨリ判然タリトイフベシ。能力トイヒ、標準トイフ、モト